令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事
C 工 区

目 次

A-01	特記仕様書-1		A-21	矩計図-5	1/30	B-01	木造特記仕様書-1	-	C-01	外構配置図	1/100
A-02	特記仕様書-2		A-22	準耐火リ スト ・ 詳細図	1/10	B-02	木造特記仕様書-2	-	C-02	外構【 宅内】詳細図	1/30
A-03	特記仕様書-3		A-23	平面詳細図	1/30	B-03	木造特記仕様書-3	-	C-03	外構【 付帯】詳細図	1/20
A-04	特記仕様書-4		A-24	展開図-1	1/30	B-04	木造特記仕様書-4	-	C-04	外構解体図	1/150
A-05	特記仕様書-5		A-25	展開図-2	1/30	B-05	木造特記仕様書-5	-			
A-06	特記仕様書-6		A-26	天井伏図・ 小屋裏換気計算	1/50	B-06	木造特記仕様書-6	-			
A-07	特記仕様書-7		A-27	建具表-1	1/50	B-07	木造特記仕様書-7	-			
A-08	特記仕様書-8		A-28	建具表-2	1/50	B-08	木造特記仕様書-8	-			
A-09	付近見取・ 敷地求積・ 工区全体配置図		A-29	家具図	1/10	B-09	基礎伏図	1/50			
A-10	（C-1 ）計画概要・ 建物面積表・ 配置図		A-30	ｷｯﾁﾝ詳細図	1/20	B-10	土台伏図・ 桁伏図	1/50			
A-11	仕上表	-	A-31	物干場詳細図	1/30	B-11	小屋伏図	1/50			
A-12	性能評価項目表	-	A-32	部分詳細図	1/5	B-12	軸組図-1	1/50			
A-13	平面図	1/50	A-33	LVSチェック 図		B-13	軸組図-2	1/50			
A-14	立面図-1	1/50	A-34			B-14	壁量計算表	-			
A-15	立面図-2	1/50	A-35								
A-16	屋根伏図	1/50	A-36								
A-17	矩計図-1	1/30	A-37								
A-18	矩計図-2	1/30	A-36								
A-19	矩計図-3	1/30									
A-20	矩計図-4	1/30									

図面リ スト	SCALE -	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE R4. 03. 24	A －00
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBM TTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

特記仕様書（建築工事編）

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　高知県幡多郡黒潮町入野318番地　（都市計画区域　㊥・外）

2．敷地面積　C－1　169.15㎡

3．構造・規模　木造平屋建て

4．建築面積　C－1　62.61㎡　　5．延床面積　C－1　50.95㎡

6．主要用途　町営住宅

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。

（2）　電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　）図、機械設備工事の工事仕様書は（　）図による。

（3）　受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

2．特記仕様

（1）　項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）　特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）　特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）　特記事項に記載の(別図－　．　)は、標準仕様書の「別図　各部配筋」の当該項目を示す。

（5）　G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（6）　標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

①各章共通事項

①適用基準及び区分

※　建築工事監理指針（上下巻）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和元年版）
※　建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版）
・　鉄骨設計標準図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・　鉄骨工事技術指針　工場製作編　工事現場施工編　日本建築学会
※　建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
※　建設副産物適正処理推進要綱
※　建築材料等評価名簿　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※　工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　国土交通大臣官房官庁営繕部監修

・　建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等　基準風速　Vo=（　　）m/s　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
積雪区分　建設省告示第1455号　別表（　）

②電気保安技術者　⊙適用する　・適用しない　（1．3．3）

③施工条件　施工時間帯　※指定なし　・指定有り（　　）　（1．3．5）
部位別の施工順序　※指定なし　・指定有り（　　）

④工事安全計画書　建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。（1．3．7）

⑤発生材の処理　（1．3．11）
・引き渡しを要するもの（　　）
・特定管理産業廃棄物（種類：　　処理方法：　　）
・現場において再利用を図るもの（　　）
⊙再生資源化を図るもの（・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材）
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

6 アスベスト成形板の処理等
処理を行うアスベスト成形板の仕様
・石綿スレート　・石綿セメント板　・けい酸カルシウム板
・ロックウール化粧吸音板　・ビニル床タイル　・その他
施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
（1）アスベスト成形板使用部位の確認
図面に記載されている使用範囲のみならず、広く確認を行う。
（2）アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認
（3）アスベスト成形板使用数量の確認
（4）施工範囲と工事管理区分の確認

⑦室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策
※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。

対象建築材料等	使用制限
①合板、木質ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層板、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする
②塗料	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有していない水性系のものとする
③木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞを含有しない、非有機ﾘﾝ系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する
④内装用接着剤、木工事用接着剤	１）ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有してないものとする ２）ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する

室内に関わる材料は（上記②～④及び建具、ｼｰﾙ材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

⑧材料の品質等
本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 又は JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。
１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
３）安定的な供給が可能であること。
４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。
製材等，フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は，グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い，あらかじめ，平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を，監督職員に提出する。

⑨技能士

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業
	とび	・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ﾌﾞﾛｯｸ建築	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工	・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	防水施工	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	・大工工事作業
	枠組壁建築	・枠組壁工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業
	かわらぶき	・かわらぶき作業
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	・左官作業
建具工事	サッシ施工	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ガラス施工	・ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ドア施工	・自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工	・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業
	サッシ施工	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ガラス施工	・ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	塗装	・建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・化粧ﾌｨﾙﾑ工事作業
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
	表装	・壁装作業
排水工事	配管	・建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・溶解ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

10 見本施工　・行う（内容　　）　※行わない

⑪室内空気中の化学物質の濃度測定
施工完了時に室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し、報告すること
測定対象室及び測定箇所数　※図示（仕上表備考欄）　・（　　）か所

⑫特別な材料の工法　標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑬完成時の提出図書
※完成図（作成範囲　※配置図　※各階平面図　※各立面図　※断面図　※仕上表）
※完成図（ＣＡＤデータの提出　※する（ＣＤ－Ｒ）　・しない）
※記入内容は標準仕様書（表１．７．１）による。仕上表には、ﾒｰｶｰ名及び品番、色番号等を記入する。
※施工計画書　（A4ファイル綴じ　提出部数：１部）
※施工図　（CADデータ　提出部数：１部）
※保全に関する資料　（提出部数　※１部　・　部）

⑭工事写真・完成写真
※下記のものを監督員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て写すこと。

区　分	分類規格	提出部数	部　数
着工前及び工事中	カラー　※サービス版	工程毎	１部
完成時	カラー　※キャビネ版	枚	部
	カラー　・全紙版（ｱﾙﾐ額縁入）	枚	部
	・	枚	部

ﾃﾞｼﾞﾀﾙ写真も可とし、その仕様も含め1 適用基準及び区分の工事写真撮影ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸを参照すること。
・デジタルカメラで撮影された工事写真（CD-R共提出）
※上記の他、完成写真内外６面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に１部提出する。

⑮施工図及び施工計画書　提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

⑯設備工事との取り合い　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

施工範囲		区　分
梁貫通部の補強		※本工事　・別途工事
梁貫通部のスリーブ		・本工事　※別途工事
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びﾄﾞｱｰﾁｪｯｸ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ		※本工事　・別途工事
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事　・別途工事
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事　※別途工事
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事　※別途工事
	補強	※本工事　・別途工事
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事　※別途工事
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事　・別途工事

⑰設計GL　※ 図 示

②仮設工事

①足場その他
足場を設ける場合、標準仕様書２．２．４によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙１（手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。（２．２．４）
外部足場に設ける防護シート等
・養生シート※JISA8952のⅠ類に適合するもの
（建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの）
・防音シート　・採光防音シート　・養生ネット

②監督職員事務所
・設ける　規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書（施工条件明示）による。
※設けない　（２．３．１）

③工事用水　構内既存の施設　⊙利用できる（　※有償　・無償）　※利用できない
④工事用電力　構内既存の施設　⊙利用できる（　※有償　・無償）　※利用できない
※敷地北西側に工事用水として利用可能な給水管有（他工区との共用）

⑤工事ヤード等　⊙資材置場等の工事ヤードは駐車場予定地（Ｃ工区）とし、他工区との共用使用とする。
なお、万行第1団地跡地（黒潮町入野222-6）の使用も可とする。

③土工事

1 埋戻し及び盛土　材料及び工法　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G
Ｃ種の場合の受入量、発生場所は現場説明書（施工条件明示）による。
Ｄ種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。(３．２．３)(表３．２．１)

②建設発生土の処理　※構外搬出適切処理　（３．２．５）
構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
なお、処理にあたっては、「建設発生土情報交換システム」を活用する。
⊙構内指定場所に敷き均し
・構内指定場所に堆積

3 山留めの撤去　山留め壁等の存置　・行う　・行わない　（３．３．３）

④騒音振動の防止　低騒音型　低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。

④地業工事

①支持地盤及び試験
支持層の位置及び土質　（４．３．４）(４．３．５)(４．５．５)(４．５．６)
・（　　）　・図示
試験杭の位置、本数及び寸法　（４．２．２）
・（　　）　・図示
杭の載荷試験　（４．２．３）
・鉛直載荷試験　・水平載荷試験
試験杭の位置、本数及び載荷荷重　・（　　）　・図示
報告書の記載事項　・標準仕様書4.2.5による　・図示
地盤の載荷試験　（４．２．４）
・平板載荷試験
試験位置及び載荷荷重　・（　　）　・図示
報告書の記載事項　・標準仕様書4.2.5による　・図示
⊙直接基礎

特記仕様書（建築工事編）Ａ-01　平成３１年度版　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
令和 4 年 4 月

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史

令和　２年　７月改正

3 鋼杭地業

寸法、継手、性能等（種別：種類、性能）　※図示　（４．４．３）
杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形
工　法
・特定埋込杭工法　（４．４．４）
杭の根入れ深さ　※図示
杭の精度　（４．３．５）（４．４．４）
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100㎜以下　・（　　）
杭の傾斜　・1/100以内　・（　　）
杭継手工法　（４．３．６）（４．４．５）
・溶接継手
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※審査（評定又は大臣認定）を受けた工法　・（　　）
検査　※審査（評定又は大臣認定）により定められた項目　・（　　）
施工　※審査（評定又は大臣認定）された施工管理基準による　・（　　）
杭頭の処理　・処理しない　・処理する　（４．３．８）（４．４．６）
処理方法（切断にともなう補強方法含む）　・（　　）　・図示
杭頭の中詰め材料　・基礎のコンクリートと同調合のもの　・（　　）

4 場所打ちコンクリート杭地業

工　法　（４．５．１）
・アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　・拡底杭工法
鉄筋の種類、加工及び組立（帯筋、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手工法）　※図示
コンクリート　（４．５．４）
セメントの種類　・高炉セメントＢ種 G　・（　　）
設計基準強度（　　）N/mm²　スランプ　・18cm　・（　）cm
鋼管の材料　・（　　）　・図示
杭の支持層への根入れ深さ　※図示　（４．５．５）（４．５．６）
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100㎜以下　・（　　）
杭の傾斜　・1/100以内　・（　　）
孔壁測定　・行う（内容：　　）　・行わない

⑤砂利及び砂地業

材　料　（４．６．２）
砂利　※再生クラッシャラン G　⊙切込砂利又は切込砕石
砂　・シルト　・山砂、川砂又は砕砂
厚　さ　・60㎜　⊙（100）㎜　（４．６．３）
適用箇所
・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下　⊙図示

⑥捨コンクリート

捨コンクリートの厚さ　（４．６．４）
⊙50㎜　・（　）㎜
適用箇所　（６．１４．１）
・基礎梁下、土に接するスラブ下
⊙図示（　　）
コンクリートの種類　（６．１４．１）
・普通コンクリート　・（　　）
設計基準強度　（６．１４．１）
⊙18N/㎟　・（　）N/㎟
スランプ　（６．１４．１）
⊙15cm　・18cm　・（　）cm

⑦床下防湿層

施工範囲　（４．６．５）
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　・図示
防湿工法　（４．６．２）
⊙ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜以上

⑤鉄筋工事

①鉄筋

鉄筋の種類等　（５．２．１）（表５．２．１）

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
⊙SD295A	D10,D13	図示
・SD345		
・		
・		

②溶接金網

形状等　（５．２．２）

種　類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙溶接金網	CD6	150×150φ6	浴室・外構（駐車ｽﾍﾟｰｽ）
・鉄筋格子			

③鉄筋の継手

継手方法等　（５．３．４）（５．５．２）（５．６．３）

部　位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	※ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手	
耐力壁の鉄筋	※重ね継手	
その他の鉄筋（　　）	※重ね継手	D10,D13

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ　（５．３．４）
・構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2) による
⊙構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3)による
・図示

継手位置図
⊙構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による
・図示

④鉄筋の定着長さ

⊙構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による　（５．３．４）
・図示

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　（５．３．５）
⊙構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による
・図示
・（　　）
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
⊙無し
・有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・（　　）
軽量コンクリートで土に接する部分
⊙無し
・有り　適用箇所（　　）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ　（　　）㎜
・（　　）

耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
⊙無し
・有り　適用箇所（　　）
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ　（　　）㎜
・（　　）
鉄筋相互のあき（機械式継手・溶接継手を除く）　（５．３．５）（図５．３．６）
⊙構造関係共通図（配筋標準図）4.1による
・図示
・（　　）

⑥各部配筋

各部配筋　（５．３．７）
・構造関係共通図（配筋標準図）による
⊙図示
・（　　）

7 圧接完了後の試験

外観試験　（５．４．１０）
※行う　（全数）
抜取試験
※超音波探傷試験
試験の箇所数等
・標準仕様書 5.4.10、5.4.11による　・（　　）
・引張試験
試験片の採取数は、１ロットに対して（※３本・　）とする
試験ロット：１組の作業班が１日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする
試験片を採取した箇所の処置：ガス圧接

⑥コンクリート工事

①ｺﾝｸﾘｰﾄの気乾単位容積質量による種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度　（６．２．１～４）（表６．２．２）

設計基準強度（N/mm²）	スランプ	適用箇所
⊙21	⊙18	図示
・	・	
・	・	

軽量コンクリートの設計基準強度　（６．２．１～４）（６．１０．１～２）（表６．２．２）

設計基準強度（N/mm²）	スランプ	適用箇所
・	・	
・	・	

②ｺﾝｸﾘｰﾄの類別

類　別　（６．２．１）（表６．２．１）
※Ⅰ類　・Ⅱ類

③セメント

種　類　（６．３．１）（６．１３．２）（表６．３．１）
・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　使用部位（　　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ／g 以下、かつ28日目で 402Ｊ／g 以下のものとする。
・高炉セメントＢ種 G　使用部位（　　）
・フライアッシュセメントＢ種 G　使用部位（　　）
・

④骨材

アルカリシリカ反応性による区分　（６．３．１）
※A　・B　・再生骨材H

本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

⑤混和材料

⊙混和剤　（６．３．１）（６．３．２）
混和剤の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・（　　）
・混和材
混和材の種類
・標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・（　　）

6 軽量コンクリート

種　別　（６．１０．２）（表６．１０．１）
・１種　使用部位（　　）　・２種　使用部位（　　）
適用箇所　（６．１０．２）
・（　　）　・図示

7 無筋コンクリート

適用箇所　（６．１４．１）
・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所
・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所
・（　　）　・図示
設計基準強度　（６．１４．１）
・18（N/mm）² ・（　　）
スランプ　（６．１４．１）
・15cm　・18cm　・（　　）

8 ひび割れ誘発目地、打継目地

目地寸法　（６．６．４）（９．７．３）
・標準仕様書 9.7.3による　・（　　）
間隔・位置・形状　（６．８．１）
・（　　）　・図示

⑨ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　（６．２．５）（６．６．６）（６．８．３）（表６．２．４）

種　別	適用箇所
⊙Ａ種	ｽﾛｰﾌﾟ立ち上がり
⊙Ｂ種	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ・柱廻り（外周）
・Ｃ種	

コンクリートの仕上りの平たんさ　（表６．２．５）
・a種　・b種　・c種

10 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）　（６．８．１）
・20㎜　・（　　）
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10㎜　・20㎜　・（　　）

⑪型枠

せき板の材料 G 及び厚さ　（６．８．２）
・合板 ⊙12㎜　・15㎜　）
・（　　）
断熱材の兼用　（６．８．２）
・行わない　・行う
ＭＣＲ工法用シート　（６．８．２）
・用いる
打増し厚さ
・20㎜　・（　　）
打増し範囲
・（　　）　・図示
・用いない
スリーブの材種　（６．８．２）（表６．８．１）
・標準仕様書 6.8.2(9)(ｲ)及び標準仕様書表6.8.1による　・（　　）

13 ｺﾝｸﾘｰﾄの単位水量測定

実施要領
・構造関係共通図（構造関係共通事項）　構－4 施工方法等計画書関連等　コンクリートの単位水量測定による
・（　　）

⑨防水工事

1 アスファルト防水

アスファルトの種類　※3種　（９．２．２）
押え金物の材質及び形状寸法　※アルミニウム製　L-30×15×2.0(mm) 程度　（９．２．２）
・（　　）

屋根保護防水　（９．２．２～３）（９．２．５）（表９．２．３～６）

種　別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ａ－１			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上	※乾式保護材
・Ａ－２			・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・Ａ－３				・れんが（JIS R 1250）
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				
・ＡＩ－１		厚さ　※25mm	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度	
・ＡＩ－２		・50mm	・	
・ＡＩ－３		・		
・ＢＩ－１				
・ＢＩ－２				
・ＢＩ－３				

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。

平場の保護コンクリートの厚さ　こて仕上げ　※水下 80㎜ 以上　（９．２．５）
・（　　）
床タイル張り　※水下 60㎜ 以上
・（　　）

特記仕様書（建築工事編）Ａ-02　　平成３１年度版　　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
令和 4 年 4 月

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第 312929号　上田 博史

令和 2年 7月改正

乾式保護材

窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。

金属複合板　：金属板と樹脂を積層一体化させたもの。

分類・規格		・窯業系パネルⅠ類	・窯業系パネルⅡ類	・金属複合板
寸法（mm）	厚さ			
	幅			
	長さ			
曲げ強さ 曲げﾓｰﾒﾝﾄ（ｽﾊﾟﾝ50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ）	標準時	550 N･cm 以上	450 N･cm 以上	300 N･cm 以上
	凍結融解完了時（試験ｻｲｸﾙ数）	400 N･cm 以上（300）	320 N･cm 以上（200）	250 N･cm 以上（300）
吸水率（%）		20 以下	20 以下	1 以下
吸水による長さ変化率（%）		0.07 以下	0.07 以下	0.01 以下
防火性能		不燃	不燃	表面材は不燃
剛性（E×I）（N･cm²）（スパン 40cm 幅 30cm の中央曲げ時に荷重 720N の時、たわみが 4mm 以下となる剛性）				80000 以上
耐衝撃性	おもり重量	1000g	500g	500g
	残留変形量			1/100 以下
	加圧時の最大変形量			4/100 以下
		高さ 1.0m から試験体の弱点部におもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。		
耐凍結融解性能		上記試験ｻｲｸﾙ後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと		
出荷時の含水率		10% 以下		
寸法の許容差		厚さ：－5% ～ ＋10%　幅：±1%		

屋根露出防水　（9．2．3）(表9．2．7～8)

種　別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種　類	仕上塗料 使用量
・D－1			・	・
・D－2				
・D－3				
・D－4			・製造所の仕様による	・製造所の仕様による
・DI－1		種類　・		
・DI－2		厚さ　・25mm　・50mm　・		

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合　（9．2．4）

ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・（　　）

屋根防水　（9．2．3）(表9．2．9)

種　別	施工箇所	種　別	施工箇所
・E－1		・E－2	

保護層　・設ける（※図示　・　　）　（9．2．3）

防水層の下地のモルタル塗り　・適用する（施工範囲　・図示　・　　）（9．2．4）

防水層の下地立上り　・コンクリート打放しB種　・（　　）（9．2．4）

屋上排水溝　・適用する（　　）（9．2．5）

押え金物の材質及び形状寸法　※アルミニウム製　L-30×15×2.0(mm) 程度　（9．3．2）

・（　　）

屋根露出防水　（9．3．2～3)(表9．3．1～3)

種　別	施工箇所	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ 種類	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ 厚さ（mm）	断熱材 G	防湿層
・AS－T1		下層用 ※非露出複層防水用R種 ・	※2.5以上 ・		
		上層用 ※露出複層防水用R種 ・	※3.0以上 ・		
・AS－T2		※露出単層防水用R種 ・	※4.0以上		
・AS－T3		下層用 ※非露出複層防水用R種 ・	※1.5以上 ・		
		上層用 ※露出複層防水用R種 ・	※3.0以上 ・		
・AS－T4		※露出単層防水用R種 ・	※4.0以上 ・		
・AS－J1		下層用 ※非露出複層防水用R種 ・	※1.5以上 ・		
		上層用 ※露出複層防水用R種 ・	※2.0以上 ・		
・ASI－T1		下層用 ※非露出複層防水用R種 ・	※1.5以上 ・	種類　・	・設ける
		上層用 ※露出複層防水用R種 ・	※3.0以上 ・		・設けない
・ASI－J1		下層用 ※非露出複層防水用R種 ・	※1.5以上 ・	厚さ　・25mm ・50mm ・	
		上層用 ※露出複層防水用R種 ・	※2.0以上 ・		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

防水層の種別　（9．4．2～3)(表9．4．1～3)

種　別	施工箇所	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	断熱材 G	仕上塗料	防湿層
・S－F1		※1.2 ・		・カラー ・シルバー	
・S－F2		※2.0 ・			
・S－M1		※1.5 ・		・カラー ・シルバー	
・S－M2		※1.5 ・			
・S－M3		※1.2 ・			
・SI－F1		※1.2 ・	種類　・	・カラー ・シルバー	・設ける
・SI－F2		※2.0 ・			・設けない
・SI－M1		※1.5 ・	厚さ　・25　・50 ・	・カラー ・シルバー	
・SI－M2		※1.5 ・			
・S－C1		※1.0 ・			

S－F1、SI－F1の場合　（9．4．4）

プレキャストコンクリート部材下地の目地処理　・（　　）　・図示

プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り　・（　　）　・図示

S－C1の保護層　（9．4．4）

平場　・モルタル塗り　塗り厚（・30mm　・　）　・保護コンクリート　厚さ（　）mm

立上り部の保護モルタルの塗厚　※7mm以下　・（　）

4 塗膜防水

防水層の種別　（9．5．3)(表9．5．1～2)

種　別	施工箇所	備　考
・X－1		仕上げ塗料塗り　・カラー ・シルバー
・X－2		
・Y－1	※地下外壁防水　・	
・Y－2	※屋内防水　・	Y－2の保護層　・設ける

5 ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別　（9．6．3)(表9．6．1～2)

種　別	施工箇所	種　別	施工箇所
※C－UI		・C－UP	

6 FRP防水

防水層の種別

種　別	施工箇所	備　考

7 脱気装置　（9．2．3)(9．3．3)(9．4．3)(9．5．3)

防水種別	種　類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1 S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類（又は改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ、ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ）の製造所の仕様による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類（又は改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ、ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ）の製造所の仕様による ・（　　）個／㎡
X-1	※主材料の製造所の仕様による ・	※主材料の製造所の仕様による ・（　　）個／㎡

⑧シーリング

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。　（9．7．2～3）（表9．7．1）

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	MS-2　10×10程度

シーリング面への仕上塗材仕上げ等　・行う　・行わない

接着性試験　※簡易接着性試験　（9．7．5）

・引張接着性試験（部位　　）

9 防水保証期間

期間は（　　）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

⑪タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　・（　　）　・図示　（11．1．3)(表11．1．1)

②タイル

タイルの形状、寸法等　（11．2．2)(11．2．7)

施工箇所	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性	備　考
玄関ﾎﾟｰﾁ	200角	・	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
玄関	200角	・	⊙	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内　装	出隅　天端
外　装	出隅、窓台、マグサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）

見本焼き　※行う　・行わない　（11．2．2）

試験張り　※行う　・行わない　（11．2．2）

3 ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるタイル張り

壁タイル張りの工法　（11．2．7)(表11．2．3）

内装タイル　・改良積上げ張り

外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）

・（　　）

4 有機系接着剤によるタイル張り

壁タイル張りの工法　（11．3．7)(表11．3．2）

内装タイル　・内装タイル接着剤張り

外装タイル　・外装タイル接着剤張り

内装タイル以外のユニットタイル　・外装タイル接着剤張り

下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）

・（　　）

⑫木工事

①表面仕上げ

機械加工　・A種　※B種　・C種　（12．1．4)(表12．1．1～2）

適用箇所（　　）

手加工　・H－A種　・H－B種　・H－C種　適用箇所（　　）

②木　材 G

⊙本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。

⊙設計書に「黒潮町産材」とあるものは原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。

ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）は例外とする。

その他これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。

日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。

・代用樹種　※使用できない　・使用箇所（　　）

間伐材等の適用　・使用する（使用箇所　　）（12．2．1)(表12．2．1）

木材の含水率　※A種　・B種　（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）

ホルムアルデヒド放散量

※「1(各章共通事項). 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。

③製　材 G

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材　（12．2．1）

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	等　級	形　状	保存処理	材面の品質

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材　（12．2．1）

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	等　級	形　状	保存処理	材面の品質

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材　（12．2．1）

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	等　級	形　状	含水率	保存処理	材面の品質
			※1等		※10%以下		
			※1等		※10%以下		
			※1等		※10%以下		

⊙「製材の日本農林規格」以外の製材（下地材）　（12．2．1）

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	等　級	形　状	防虫処理	材面の品質
野物	杉		一等			・造作材の場合　※A種

⊙「製材の日本農林規格」以外の製材（構造材）

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	等　級	形　状	防虫処理	材面の品質
土台・大引	桧		一等		⊙適用する	・造作材の場合　※A種
柱・梁	桧		特一		⊙適用する	
垂木等	杉		特一			

⊙防虫処理（GL+1.0mの範囲内）とする

特記仕様書（建築工事編）A-03　　平成３１年度版　　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区

令和 4 年 4 月

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社　上田建築事務所

SUBMITTED BY　一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

令和 2 年 7月改正

④ 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 （１２．２．１）

施工箇所	樹　種	寸　法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
				※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 （１２．２．１）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法 (mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面数	見付け材面の品質
						※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 （１２．２．１）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法 (mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質

⊙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 （１２．２．１）

施工箇所	樹　種	寸　法 (mm)	含水率	見付け材面の品質
階段(蹴上・踏面)	桧	35・15	※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 （１２．２．１）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法 (mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 （１２．２．１）

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法 (mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

5 造作用単板積層材 G

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 （１２．２．１）

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸　法 (mm)	備　考
	・塗装加工　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	・する ・しない		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 （１２．２．１）

施工箇所	表面の品質	含水率	防虫処理	寸　法 (mm)	備　考
	・塗装加工　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	※14%以下	・する ・しない		

6 CLT(直交集成板) G

（１２．２．１）

施工箇所	品　名	曲げ強度(強度等級)	種　別	接着性能(使用環境)	樹　種	寸　法 (mm)

⑦合板等 G

・「合板の日本農林規格」による普通合板 （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	その他の処理
	※5.5 ・	※1類 ・2類		広葉樹　・1等 ※2等 針葉樹　※C－D　・	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板 （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	有効断面係数比	強度等級
床	28.0	・特類 ※1類	・1級 ※2級		※C－D ・	・する ・しない		
壁	9.0							
屋根	15.0							

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	備　考
		・特類　・1類		・する ・しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.2 ・3.2 ・6.0	・1類 ・2類	・なら ・しおじ	・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理 ・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理
	※4.0 ・	・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW			・する ・しない	・難燃処理 ・防炎処理 ・しない

・パーティクルボード （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性
	※15		※13タイプ	※P又はM	

・構造用パネル （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	等　級	備　考
		・1級　・2級　・3級　・4級	

・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF) （１２．２．１）

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性

8 接着剤

屋内に使用する接着剤のVOC対策は、「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。 （１２．２．２）

⑨防腐、防蟻処理

防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材　適用部位（　　） （１２．３．１）

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
図示	・K２　⊙K３　※K４
	・K２　・K３　※K４

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
土台	薬剤処理
地盤面より1.0m迄の軸組み等	薬剤処理

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　適用部位（　　）

10 合法性証明書

合法的に伐採された木材である証明書を提出する。

⑬屋根及びといエ事

1 長尺金属板葺

（１３．２．２～３）(表１３．２．１)

施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式
・	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（CGCCR-20-Z25）	※0.4 ・	・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺
・	・	・	・

下葺材料　※アスファルトルーフィング 940 （１３．２．２）(表１３．２．２)
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）

雪止め　・設置する（施工箇所　・図示　・　　） （１３．２．３）

2 折板葺

（１３．３．２）(表１３．２．１)

施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板	耐火性能
・	※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（CGCCR-20-Z25）	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高　（　） ・山ﾋﾟｯﾁ（　）	※有り ・なし	※30分 ・なし
・		・	・	・	・	・

JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理（直接外気の影響を受けない屋内の場合）
・Ｅ種　・Ｆ種 （表１４．２．２）

断熱材　※有り　（種別：　　厚さ（mm）：　　防火性能：　　時間）
・無し

3 粘土瓦葺

（１３．４．２）(１３．４．３)

施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類	産　地
	※J型	※ 53A	・軒かわら　・そでかわら ・のしがわら　・かんむりがわら	※高知県産　・
	・S形	・49A　・49B	・半かわら　・そでかわら ・かんむりがわら	
	・F形	・40	・半かわら　・そでかわら ・かんむりがわら	

雪止め瓦　※適用しない　・適用する （１３．４．２）
凍害試験　・行う　・行わない
棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法　※図示
下葺材料　※アスファルトルーフィング 940 （１３．２．２）(表１３．２．２)
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
桟木の留付け工法　※図示 （１３．４．３）
棟の工法　※7寸丸伏せ棟　・F形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟 （１３．４．３）
※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。

④とい

といの材種　・配管用鋼管　・表面処理鋼板 （１３．５．２）(表１３．５．１)
・硬質ポリ塩化ビニル管　（※RF-VP G　・VP ）　⊙ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板

防露材のホルムアルデヒド放散量 （１３．５．２）
※規制対象外　・第三種
鋼管製といの防露巻き （１３．５．２～３）(表１３．５．４)
※行う　（施工箇所　※標準仕様書表13.5.4 による　・　　）

⑤ルート葺き

ルーフドレン

種　別	材　種	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

⑭金属工事

1 ｽﾃﾝﾚｽの表面仕上

（１４．２．１）

種　別	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※HL程度	
・鏡面仕上　程度	
・No.2B　程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

（１４．２．２）(表１４．２．１)

種　別	色合い	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・BB-1種	・標準色 ・特注色	
・BB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		

陽極酸化被膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色 （１４．２．２）

3 鉄鋼の亜鉛めっき

（１４．２．３）(表１４．２．２)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　屋　外　・19形　※25形 （１４．４．２）(表１４．４．１)
屋　内　※19形　・25形
・屋外の軒天井、ピロティ天井等 （１４．４．３～４）
耐風圧性を考慮した補強　※図示　・（　　）
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合　補強箇所　※図示　・（　　）
補強方法　※図示　・（　　）
・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合　補強箇所　※図示　・（　　）
補強方法　※標準仕様書14.4.4(8)による　・図示
・天井のふところが3mを超える場合　補強箇所　※図示　・（　　）
補強方法　※図示　・（　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※図示　・（　　）
補強方法　※図示　・（　　）

5 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　※標準仕様書表14.5.1 による　・図示 （１４．５．３）(表１４．５．１)
スタッドの高さが 5m を超える場合　※図示　・（　　）

6 金属成形板張り

（１４．６．２）(表１４．２．１)

種　別	製　法	形　状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理 種　別	表面処理 色合い
・アルミニウム ・	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形			・BB-1種 ・BB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種	・標準色 ・特注色
	・プレス	ﾊﾟﾈﾙ形				
	・					
・	・				・	

取付け用下地　※標準仕様書14.4 による　・図示 （１４．６．３）
伸縮調整継手　・設ける　（施工箇所　・図示　・　　） （１４．６．３）

7 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

種　類　・250形　・300形　・350形 （１４．７．２）(表１４．７．１)
表面処理　種　別（　　）種
色合い　・標準色　・特注色

8 手すり及びﾀﾗｯﾌﾟ

手すり　・ステンレス製 SUS304　（表面処理　※ＨＬ程度　・No.2B 程度） （１４．８．２）
・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっき（　）種　・　　）
タラップ　・ステンレス製 SUS304（表面処理　※研磨なし　・　　） （１４．８．３）
・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっきＡ種　・　　）

特記仕様書（建築工事編）Ａ-04	平成３１年度版	高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
令和　4年　4月

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上　田　建　築　事　務　所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第 312929号　上田　博史

令和　２年　７月改正

⑮ 左官工事

1 モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料（　　）　（１５．３．２）
既製目地材　・使用する（施工箇所：　　形状：　　）　（１５．３．２）
床の目地　・設ける　（工法　※押し目地　・　　）　（１５．３．５）
目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・（　　）
下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験　・行う

② 床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ

下表以外は表6.2.5及び15.4.2による　（表６．２．５）（１５．４．２）

施工箇所	平たんさ(mm)	備　考
・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（支柱調整式）範囲 ・	・1m につき 10 以下 ・	
・	・	

3 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り

・せっこう系　（１５．５．２）（表１５．５．１）
・セメント系

④ 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量　（１５．６．２）
※規制対象外　・第三種
内壁ＡＬＣパネルの形状　※Ｖ形目地付き　・（　　）　（１５．６．４）
仕上塗材の種類　（１５．６．２）（表１５．６．１）

種　類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	⊙ゆず肌状（⊙吹付け　・ローラー塗り）
	⊙外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性　・適用する
	・内装薄塗材E	・	
	・内装薄塗材W	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	吸放湿性　・適用する
	・内装厚塗材C	・	上塗材　・適用する
	・内装厚塗材L	・	
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・複層塗材Si	・	耐候性　※耐候形3種　・
	・複層塗材E	・	上塗材
	・複層塗材RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・可とう形複層塗材CE	・	樹　脂　アクリル系
	・防水形複層塗材CE	・	外　観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	・砂壁状　・平たん状
	・こて塗用軽量塗材	・	

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

5 ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　（１５．７．２）

6 ﾛｯｸｳｰﾙ吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　（１５．１２．２）
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　（１５．１２．２）
仕上げ吹付け厚さ（mm）　※図示　・25　・（　）　（１５．１２．３）

⑯ 建具工事

1 防火戸

・（　　）　・図示　（１６．１．３）

2 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　（１６．１．４）
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　（１６．１．４）

3 防犯建物部品

・適用する　（　　）　（１６．１．６）

④ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

性能値等　（１６．２．２）（表１６．２．１）
・外部に面する建具の性能等級 ⊙Ａ種（Ｓ－４、Ａ－３、Ｗ－４）（建具符号：　　）
・Ｂ種（Ｓ－５、Ａ－３、Ｗ－４）（建具符号：　　）
・Ｃ種（Ｓ－６、Ａ－４、Ｗ－５）（建具符号：　　）
・屋内の建具の性能等級　（　　）
防音ドアセット・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ Ｇ ・適用する　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：　　）
枠の見込み寸法　・（　　）　・図示
表面処理　（１６．２．４）
外部に面する建具　※BB-1種　・BB-2種（・標準色　・特注色）
屋内の建具　※BC-1種　・BC-2種（・標準色　・特注色）
結露水の処理方法　・（　　）　・図示
水切り板、ぜん板　・（　　）　・図示　（１６．２．５）

⑤ 網戸等

（１６．２．３）

種　類	材　質	線　径	網　目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ⊙ｽﾃﾝﾚｽ（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18ﾒｯｼｭ ・
・防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15mm

6 樹脂製建具

性能値等　（１６．２．２）（１６．３．２～５）（表１６．３．１）
・外部に面する建具の性能等級 ・Ａ種（Ｓ－４、Ａ－４、Ｗ－４）（建具符号：　　）
・Ｂ種（Ｓ－５、Ａ－４、Ｗ－５）（建具符号：　　）
・Ｃ種（Ｓ－６、Ａ－４、Ｗ－５）（建具符号：　　）
・屋内の建具の性能等級　（　　）
防音ドアセット・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
外部に面する建具　・Ｔ－Ａ種　・Ｔ－Ｂ種　（１６．３．２）（表１６．３．３）
断熱ドアセット・断熱サッシ Ｇ ・適用する　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
外部に面する建具　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種　（１６．３．２）（表１６．３．４）
枠の見込み寸法　・（　　）　・図示
ガラス　※複層ガラス　・（　　）　（１６．３．３）
表面色　※標準色　・特注色　（１６．３．４）
水切り板、ぜん板　・（　　）　・図示　（１６．３．５）

7 鋼製建具

性能値等　（１６．２．２）（１６．４．２）
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：　　）
外部に面する建具の耐風圧性　※Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　（表１６．２．１）
防音ドアセット・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ Ｇ ・適用する　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：　　）

8 鋼製軽量建具

性能値等　（１６．２．２）（１６．５．２）
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：　　）
防音ドアセット・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ Ｇ ・適用する　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：　　）
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　（１６．５．３）
召合わせ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム

9 ステンレス製建具

性能値等　（１６．２．２）（１６．４．２）（１６．６．２）
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：　　）
外部に面する建具の耐風圧性　※Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　（表１６．２．１）
防音ドアセット・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドアセット・断熱サッシ Ｇ ・適用する　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：　　）
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・（　　）　（１６．６．４）
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（１６．６．５）

⑩ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※Ｂ種　・（　　）　（１６．７．２）
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　（１６．７．２）
※規制対象外　・第三種
⊙フラッシュ戸　（１６．７．２～４）
・かまち戸　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）　（１６．７．２～４）
・ふすま　種別（・Ｉ型　・Ⅱ型）　（１６．７．２～４）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁　・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま　（１６．７．２～４）
・紙張り障子　（１６．７．２～４）
枠及びくつずりの材料　・（　　）　・図示　（１６．７．２）

⑪ 鍵

マスターキー　・制作する　・制作しない　（１６．８．４）
その他の鍵　※各室３本１組　・（　　）
鍵箱　※有　・無

12 自動ﾄﾞｱ開閉装置

自動ﾄﾞｱ開閉装置の性能値等　（１６．９．２～３）（表１６．９．１～４）

種　類	防　錆	検出装置の種類	凍結防止装置
・引き戸用駆動装置 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する ・適用しない	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置			

13 自閉式上吊り引戸装置

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・（　　）　（１６．１０．３）（表１６．１０．１）

14 重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター　耐風圧強度（　　）N/㎡　（１６．１１．２）
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度（　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　（１６．１１．２）（表１６．１１．１）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない　（１６．１１．２）
スラット及びシャッターケース用鋼板　（１６．１１．３）
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Ｚ12又はＦ12　・（　　）

15 軽量シャッター

開閉方式の種類　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（１６．１２．２）（表１６．１２．１）
耐風圧強度　（　　）N/㎡
スラット　形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形　（１６．１２．３～４）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）　めっきの付着量（※Ｚ06又はＦ06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）　めっきの付着量（※ＡＺ90）

16 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

（１６．１３．２～３）

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

耐風圧性能による区分　（・125　・100　・75　・50）Pa

⑰ ガラス

・合わせガラス　（１６．１４．２）

品　種	構成種類	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-１類　・Ⅱ-２類 ・Ⅲ類

・強化ガラス　（１６．１４．２）

品　種	種　類	特性による種類
※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス　（１６．１４．２）

品　種	特性による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収 網入磨き板ガラス	・１種　・２種	・ブルー　・グレー　・ブロンズ

⊙複層ガラス　（１６．１４．２）

品　種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス	・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３	・Ｇ	・空気
⊙日射熱遮へい複層ガラス	・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６	・Ｓ	・アルゴン

・熱線反射ガラス　（１６．１４．２）

品　種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	色　調
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・１種	Ａ種		・ブルー　・グレー
	・２種	・Ａ種　・Ｂ種		・ブロンズ
	・３種	Ｂ種		・シルバー

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　※行わない　・行う　（１６．１４．４）

・倍強度ガラス　（１６．１４．２）

材料板ガラスによる種類の名称	色　調
※フロート倍強度ガラス	――
・熱線吸収倍強度ガラス	・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ　（１６．１４．２～３）（図１６．１４．１）（９．７．１）

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材 ⊙ガスケット ※グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	
ステンレス製	※シーリング材 ・	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	

18 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率 D1
・			

品質　JIS A5759による

19 ｻｯｼ取合間仕切板

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に合わす）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　めっきの付着量Ｚ12又はＦ12）

特記仕様書（建築工事編）Ａ-05　　平成３１年度版　　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
令和　４　年　４　月

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史

令和　２年　７月改正

⑱ 塗装工事

20 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ

（１６．１４．５）

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに	※無し
	・160×160	・95 ・125	・	・	・15～25	※15以下	幅10～25	・有り
	・200×200	・95 ・125	・	・	・	・	・図示	
	・320×320	95	・	・		内側	・	
長方形	・250×125	80	・	・		※6以下		
	・320×160	95	・	・		・		

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材　・設ける　（形状　※図示　・　　）
化粧目地モルタルの色　（　　）
金属製化粧カバー　材　質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸　法　・図示　・（　　）
形　状　・図示　・（　　）

21 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器附属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。

① 材　料

屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする　（１８．１．３）
・次の箇所を除き防火材料とする　（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

（１８．２．２～７）

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・Ａ種　・Ｂ種
せっこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※Ａ種　・Ｂ種
	継目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

3 錆止め塗料塗り

（１８．３）

塗料の種別
鉄鋼面錆止め塗料　EP-G以外　※Ａ種　鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止めﾍﾟｲﾝﾄ１種
EP-G　※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料　EP-G以外　※Ｂ種
EP-G　※Ｃ種

④ 塗装

・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）　（１８．４）
・クリアラッカー塗り（ＣＬ）　（１８．５）
・アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り（ＮＡＤ）　（１８．６）
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）　鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面　上塗り塗料の等級（　）級　（１８．７）
コンクリート面及び押出成形セメント板面　工程の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）　（１８．８）
・合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　（１８．９）
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）　（１８．１０）
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　（１８．１１）
・オイルステイン塗り（ＯＳ）（・水性　・油性）　（１８．１２）
⊙ 木材保護塗料塗り（ＷＰ）　（１８．１３）

5 床用防じん塗料塗り

材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

⑲ 内装工事

① 接着剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

② ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ G

（１９．２．２～３）

種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)
※FS		・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性 ・耐薬品性	※2.0 ・
⊙CF	洗面・ﾄｲﾚ			⊙1.8

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。
（ＰＦの場合を除く）
目地処理する場合の工法　※熱溶接工法　・（　　）
帯電防止　帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ^{7}～1x10 ^{10} Ω程度

3 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ G

（１９．２．２）

種類の記号	施工箇所	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)
・ＦＴ		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・ＫＴ		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・ＦＯＡ		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・
・		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・

再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。
帯電防止　帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ^{7}～1x10 ^{10} Ω程度

④ ビニル幅木

材質の種類　※軟質　・硬質　（１９．２．２）
高さ（mm）　・60　・75　・100　⊙45
厚さ（mm）　※1.5以上　・（　　）

5 ゴム床タイル

色　柄　（　　）　・フラット　・凹凸　（１９．２．２）
厚さ（mm）　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法（mm）　（　　）

6 ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き G

・織じゅうたん　（１９．３．２～３）(表１９．３．１)

種別	パイル形状	帯電性	織り方	色柄等	備考
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	※人体帯電圧 3kv以下 ・	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・無地 ・柄物 （標準品）	

接合方法　※ヒートボンド工法　・（　　）
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・（　　）

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7　・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	※人体帯電圧 3kv以下 ・	
・ループパイル	※4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・（　　）

・ニードルパンチカーペット
厚さ（mm）（　）
帯電性　※人体帯電圧 3kv 以下　・（　　）

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル					
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用					

帯電性　※人体帯電圧 3kv 以下　・（　　）
タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し
階段部分　※模様流し　・市松敷き

見切り、押え金物　・適用する　（材質、種類、形状等　※図示　・　　）

7 合成樹脂塗床

（１９．４．２）(１９．４．３)(表１９．４．４～８)

種別	施工箇所	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床		※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床		・薄膜流しのべ工法　（※平滑　・防滑） ・厚膜流しのべ工法　（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法　（※平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量　（１９．４．２）
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

⑧ フローリング張り

単層フローリング G　（１９．５．２～６）(表１９．５．１～５)

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
⊙フローリングボード １等	※なら ⊙桧	※15 ・12 ・18	幅　75 長さ　500 以上	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック １等	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・	・接着工法	※塗装品 ・無塗装品

複合フローリング G

種類	樹種	種別	厚さ(mm)	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
・天然木化粧複合 フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法 緩衝材 ※合成樹脂発泡ｼｰﾄ ・	※塗装品 ・無塗装品

ホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

⑨ 畳敷き

種　別　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（畳床：　　）（１９．６．２）(表１９．６．１)
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・（　　）
ホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。
畳表　高知県土佐畳表検査協会の合格品使用（3種表の2等以上）　※適用する　・適用しない
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。

⑩ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

（１９．７．２）(表１９．７．１)

種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 G	ＨＷ	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	ＭＷ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	ＮＷ	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 G	ＨＦ	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	ＮＦ	・３０
・けい酸カルシウム板	0.8 ＦＫ 1.0 ＦＫ	タイプ２（無石綿）　・6　・8
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9（不燃）・12（不燃）・　） （不燃）
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※ 12（不燃）・15　・　）
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32Ｋ	ＧＷ－Ｂ	※25（ガラスクロス包）　・
⊙せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	※12.5（不燃）　⊙15（不燃）　・9.5
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（・不燃　・準不燃）⊙9.5
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ （Ｗ）	12.5（不燃）　幅 440mm 程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	ＧＢ－Ｄ(Ｔ)	9.5（準不燃）
・普通合板 G		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・天然木化粧合板 G		
・特殊加工化粧合板 G		・オーバーレイ　・プリント　・塗装
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　厚さ1.2
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	Ｇ－ＭＤＦ	・3　・7　・9　・12　・無研磨　・研磨
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・塗装 ・10（難燃）　・12（難燃）　・
・ハードボード（素地）G	ＨＢ	・無研磨板（・スタンダード・テンパード） ・研磨板（・スタンダード・テンパード）
・ハードボード（化粧）G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	Ａ－ＩＢ Ｔ－ＩＢ	Ａ級 ・9　・12　・15　・18
・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板 化粧加工K2	密度ＡＩ	・6　・9　・12

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）　（１９．７．２）
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による
合板類の張付け　・Ａ種　※Ｂ種　（表１９．７．３）
せっこうボードの目地工法　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

（１９．８．２）

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	ｶﾞﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種　（１９．８．３）
コンクリート面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種

⑫ 断熱材 G

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)．7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による

・断熱材打込み工法　（１９．９．２）

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材（ｽｷﾝ層なし）		
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		
⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材		図示
・		

・断熱材現場発泡工法　（１９．９．３）
断熱材の種類　※Ａ稀和　・年種１堺
吹付け厚さ（mm）　・25　・30　・（　）
施工箇所　※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・図示

特記仕様書（建築工事編）Ａ-06

平成３１年度版　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
4　4

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第 312929号　上田 博史

令和　２年　７月改正

⑳ ユニット及びその他の工事

1 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

（２０．２．２）

施工箇所	構　法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製　・（　　）
スロープ及びボーダー　※製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30パーセント　・（　　）
　配線取り出し開口　※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上　・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
　※なし
　・有り　（※図定式　・可変式）：　施工箇所（※図示　・　　）
耐荷重性能　変形5.0mm以下　残留変形3.0mm以下
　平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの、又は同等のものとする。
耐衝撃性能　残留変形3.0mm以下および損傷なし
ローリングロード性能　※適用する　・適用しない
　ローリングロード試験
　　耐荷重性能（3,000N）：積載荷重1,000Ｎの際、最大変形量1.5mm以下（使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと）
　　耐荷重性能（5,000N）：積載荷重1,000Ｎ以上の際、最大変形量1.0mm以下（使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと）

2 可動間仕切

（２０．２．３）

構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面材 材質	表面材 厚さ(mm)	表面材 パネル表面仕上げ	遮音性	防火性能
・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式			※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付 又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り	・0　・12 ・20　・28 ・36	・不燃

パネル内に取り付ける建具　・あり（・図示　・　　）　・なし
仕上げの壁紙張りの品質　標準仕様書19章による

3 移動間仕切

（２０．２．４）

走行方向	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚さ (mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		※鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

仕上げの壁紙張りの品質　標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512 に準拠する

4 トイレブース

（２０．２．５）

パネル表面材の材質	脚部 形状	脚部 材質	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 ・ ・	※幅木 ・支柱 ・なし	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

5 視覚障害者用床タイル

（１９．２．２）

施工箇所		種　類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内		・塩化ビニル製	※300×300	※7.0　・
		・磁器又はせっ器質タイル	※300×300	
		・レジンコンクリート製	※300×300	
屋外		・磁器又はせっ器質タイル	・300×300	※30　・
		・レジンコンクリート製	・300×300	

ブロックパターンは JIS T 9251 による

6 階段滑止め

（２０．２．６）

材　種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り ・	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	※有り（※ﾋﾞﾆﾙ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製） ・無し

7 手すり

材　種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所
※集成材	※クリアラッカー	・60　・45	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ		
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ		
・ビニル製ハンドレール			

8 黒板及びホワイトボード

（２０．２．８）

区　分		種　類	寸法(mm)	色　彩	形　式
・黒板	※焼付け ・	・ほうろう ・鋼製		※緑　・黒	※平面　・曲面 ・スクリーン付き引分け
・ホワイトボード	・ほうろう ・	・ほうろう ・鋼製		白	※平面　・曲面 ・スクリーン付き引分け

9 鏡

（２０．２．９）

取付箇所　（　　）
寸　法(mm)　・（　　）　・図示
厚　さ(mm)　※ 5　・（　　）

10 表　示

（２０．２．１０）

区　分	材　質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備　考
・衝突防止表示 （・両面　・片面）	・ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・庁舎案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・	・	・	・	・	

　案内用図記号は JIS Z 8210 による。
誘導標識、非常用進入口表示 ※消防法に適合する市販品

11 煙突ライニング

（２０．２．１１）

煙突用成形ライニング材
　適用安全使用温度　上限温度　・400℃　・650℃
　　下限温度　・（　　）

12 ブラインド

（２０．２．１２）

形　式	操作方法	種　類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ･ﾚｰﾙの材種	寸法・取付箇所
※横形	・電動		※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
	・手動	※ｷﾞﾔ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式				
・縦形	・電動		・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・ 80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※図示 ・
	・手動	・1本操作ｺｰﾄﾞ式 ※2本操作ｺｰﾄﾞ式				

13 ロールスクリーン

（２０．２．１３）

材　種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備　考
※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	※図示	

14 カーテン

（２０．２．１４）

ひだの種類	形　式		開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備　考
・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ・片ひだ	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き		※図示	
・						（暗幕）
・						

⑮ カーテンレール

材　種　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出し成型材　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・（　　）（２０．２．１４）
形　式　・片引き　⊙引分け（暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする）
形　状　・角形　・（　　）

16 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

溝幅×深さ (mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材　質　・集成材（仕上げ：　　）
　　・鋼製　（仕上げ：　　）
　　・アルミニウム製
　　表面処理　※BC-1　・BC-2（色合い　・標準色　・特注色）

⑰ 天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	・額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内

　アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6)（外部についてはB種又は同等品以上）をおこなったものとする。
　内枠、外枠のコーナーピース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理をおこなったものとする。
　内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類とする。

⑱ 床点検口

材　種	寸　法	形　式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内

一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの
密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの
材料の品質及び性能　（表１４．２．１）

使用部位	材　料	屋内外用	屋内用
受枠材 蓋枠材	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種	
	ステンレス	JIS G 4305　SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度（目地ともの場合）	
	鋼材	―	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めﾍﾟｲﾝﾄ（JIS K 5621）、又はﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの

二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501　FC150, FC200	
目地材	黄銅	JIS H 3100　C2600, C2720, C2801P JIS H 3250　C2602, C3604B	
	ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308　SUS304	
底板材 ｺｰﾅｰﾋﾟｰｽ 底板補強材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304	JIS G 4305　SUS430
	ｱﾙﾐﾆｳﾑ板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	―
	鋼材	―	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めﾍﾟｲﾝﾄ（JIS K 5621）、又はﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの
錠 開閉方式		亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする	―
パッキン材	塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｺﾞﾑ 軟質塩化ﾋﾞﾆﾙ クロロプレン ｽﾎﾟﾝｼﾞﾗﾊﾞｰ ｴﾁﾚﾝﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ	枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。	
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの	
取っ手		黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。	
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08%以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。	

19 くつふきマット

材　種	受け枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

20 旗　竿

形　式	材　種	高さ(m)
・テーパー式 ・同一断面式	・アルミニウム合金製 ・	

旗竿受金物　※ステンレス鋼（SUS304）製　・

21 車止めさく

形　式	材　種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	備　考
・上下式鎖内蔵式 （・標準品　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ・	・ステンレス製 ・	・φ76.3　t =2.0 ・	・ＧＬ＋700 ・	

㉒ フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　　・樹脂塗装メッシュフェンス
　　・鋼管フェンス
　　・アルミフェンス
高　さ　・（　　）　⊙図示

23 敷地境界石標

種　類　※コンクリートブロック製（市販品）　・花こう石類（文字記号等入り）
設置方法
　根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。
　建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。
コンクリートの調合　容積比　セメント1：砂2：砂利4 程度

特記仕様書（建築工事編）Ａ-07

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区

令和 4 年 4 月

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

令和 2 年 7月改正

平成３１年度版　高知県土木部建築課

24 耐震スリット

方　向	タ　イ　プ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1）による）

目　地	内　壁	外　壁
目地材	シーリング材（見え掛かり部のみ）	シーリング材（見え掛かり部のみ）
目地寸法（mm）	※幅 20 × 深さ 10	※幅 20 × 深さ 10

25 止水板

形　式　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　※図示

26 エキスパンション
ジョイント金物

材　質　・アルミニウム　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150
耐火性能　・有り（　　）　・無し

㉗ ステンレス流し台　・BL製品（ﾄﾗｯﾌﾟ付）　⊙一般型（水封50mm以上のﾄﾗｯﾌﾟ付）

28 吊り戸棚　・BL製品　・一般型　・公共住宅型

29 水切り棚　・一般型（材種はステンレス鋼又はアルミニウム合金製）

㉚ コンロ台　・BL製品　⊙一般型　・公共住宅型

㉛ ユニットバス　製造所（　　）　型　式（　　）

㉜ ｸｰﾗｰ用ｽﾘｰﾌﾞ蓋　プラスチック製（製造所：　　型式：　　）

33 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ　取付け方法　・（　　）　・図示　（２０．３．４）

34 間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ
間知ﾌﾞﾛｯｸ積み　（２０．４．２～３）

材　種		種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩　・凝灰岩			
・ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ			・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・（　　）　・図示
伸縮調整目地　材種及び厚さ　・（　　）　・図示

22 舗装工事

①路　床

路床の材料　・遮断層　※川砂、海砂又は良質な山砂　厚さは図示による　（２２．２．２）
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン G　・クラッシャラン　・切込み砂利　・砂
厚さは図示による
・ﾌｨﾙﾀｰ層　※砂　厚さは図示による
単位面積質量　60g/㎡ 以上
路床安定処理　・行う　（２２．２．２～３）(表２２．２．１)
※添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/㎥　（目標ＣＢＲ　※ 3 以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量　60g/㎡ 以上
厚さ（mm）　0.5～1.0
引張強さ　98N/5cm（10kgf/5cm）以上
透水係数　1.5×10^{-1}cm/sec 以上

盛土に用いる材料　（２２．２．３）(表３．２．１)
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G

試験　砂の粒度試験　※行う　・行わない　（２２．２．５）
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行う　・行わない
路床の締固め度の試験　※行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　※行う　・行わない

②路　盤

厚　さ　・（　　）　・図示　（２２．３．２～３）(表２２．３．１)
材　料
・砕石（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
※再生材 G（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

③アスファルト舗装

構成及び厚さ　・（　　）　⊙図示　（２２．４．２～３）
材　料
アスファルト　・再生アスファルト G（・60～80　・80～100）　・ストレートアスファルト
骨　材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類　（２２．４．４）(表２２．４．４)

区　分	※一般地域	・寒冷地域
表　層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	密粒度アスファルト混合物(13F)
基　層	粗粒度アスファルト混合物(20)	

シールコート用の乳剤の種別　・PK-1　・PK-2　（２２．４．３）
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない　（２２．４．６）

④コンクリート舗装

構成及び厚さ　・（　　）　⊙図示　（２２．５．２）
寒冷地の縁部立下り寸法等　・（　　）　・図示
早強ポルトランドセメント　・使用する　（２２．５．３）
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ

5 カラー舗装

構成及び厚さ　・（　　）　・図示　（２２．６．２）
舗装の種類　区　分
※加熱系アスファルト混合物　・車道及び駐車場
・石油樹脂系混合物　・歩行者用通路
・常温系ニート工法　・車路及び歩行者用通路
・常温系塗布工法　・車路及び歩行者用通路
加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材　・自然石　（２２．６．３）
配　合　（２２．６．４）
加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　（　　）
ニート工法及び塗布工法の配合等　（　　）
加熱系アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない　（２２．６．６）

6 透水性
アスファルト舗装

構成及び厚さ　・（　　）　・図示　（２２．７．２）
舗装材料　（２２．７．３）
車道部　※改質アスファルトⅠ型　・（　　）
歩道部　※ストレートアスファルト　・（　　）
開粒度アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない　（２２．７．６）

7 ブロック系舗装　（２２．８．２～３）

舗　装	種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備　考
・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材　※砂　・ﾓﾙﾀﾙ ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ 表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し
・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	※普通ﾌﾞﾛｯｸ（N） ・透水性ﾌﾞﾛｯｸ（P） ・保水性ﾌﾞﾛｯｸ（M）		車道部　※80・ 歩道部　※60・	曲げ強度（N/mm²）車道部 ※5.0 ・ 歩道部 ※3.0 ・ 着色及び表面加工 ※標準品　・
・舗石舗装	※小舗石（花崗岩） ・ 形状　・角石 ・板石　・割石		※80～100	施工方法　※うろこ張り　・ ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ 基層及び厚さ ※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装（ ）mm ・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装（ ）mm

コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は、原則再生材料を用いた舗装用ブロック G とする。ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。

8 保水性歩行用
ﾌﾞﾛｯｸ及び床ﾀｲﾙ

製品の許容値

形　状	変　形	長辺寸法（mm） 300 未満	長辺寸法（mm） 300 以上	短辺寸法（mm） 150 以下	短辺寸法（mm） 300 以下	短辺寸法（mm） 500 以下	厚さ（mm）	曲げ強さ（N/cm2）
・ブロック形状	そり	1.5 以内		±1.5	±2.0	－	±2.0	500 以上
	ねじれ	1.5 以内	－					
・タイル形状	そり	1.2 以内	1.5 以内	±1.5	±1.5	±1.5	±1.5	120 以上
	ねじれ	1.2 以内	1.5 以内					

耐凍害性及び耐薬品性
JIS A 5209 の試験において、ひび割れ及びきじ又はうわぐすりにはがれ等の表面の異常の無いこと
耐摩耗性　施ゆう　0.1g 以下
無ゆう　0.5g 以下
保水性（吸水率）　体積比 15% 以上
製品の許容値

⑨ 砂利敷き

種　別　・Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）　（２２．９．２）
・Ｂ種（施工範囲：・図示　・建物周囲　・　　）
・S-13（6号砕石）（施工範囲：⊙図示）

10 路面表示用塗料

（JIS K 5665（路面表示用塗料）による）

種　類	施　工	適　用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 G	常温	液状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・	塗料総質量に対して 5%以下
・2種 G	加熱					
※3種1号	溶融	砕体状				

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

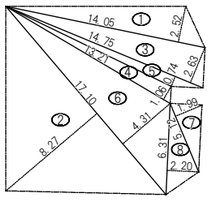
特記仕様書（建築工事編）Ａ-08　平成３１年度版　高知県土木部建築課

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区
令和 4 年 4 月

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第 312929号　上田 博史

令和 2年 7月改正

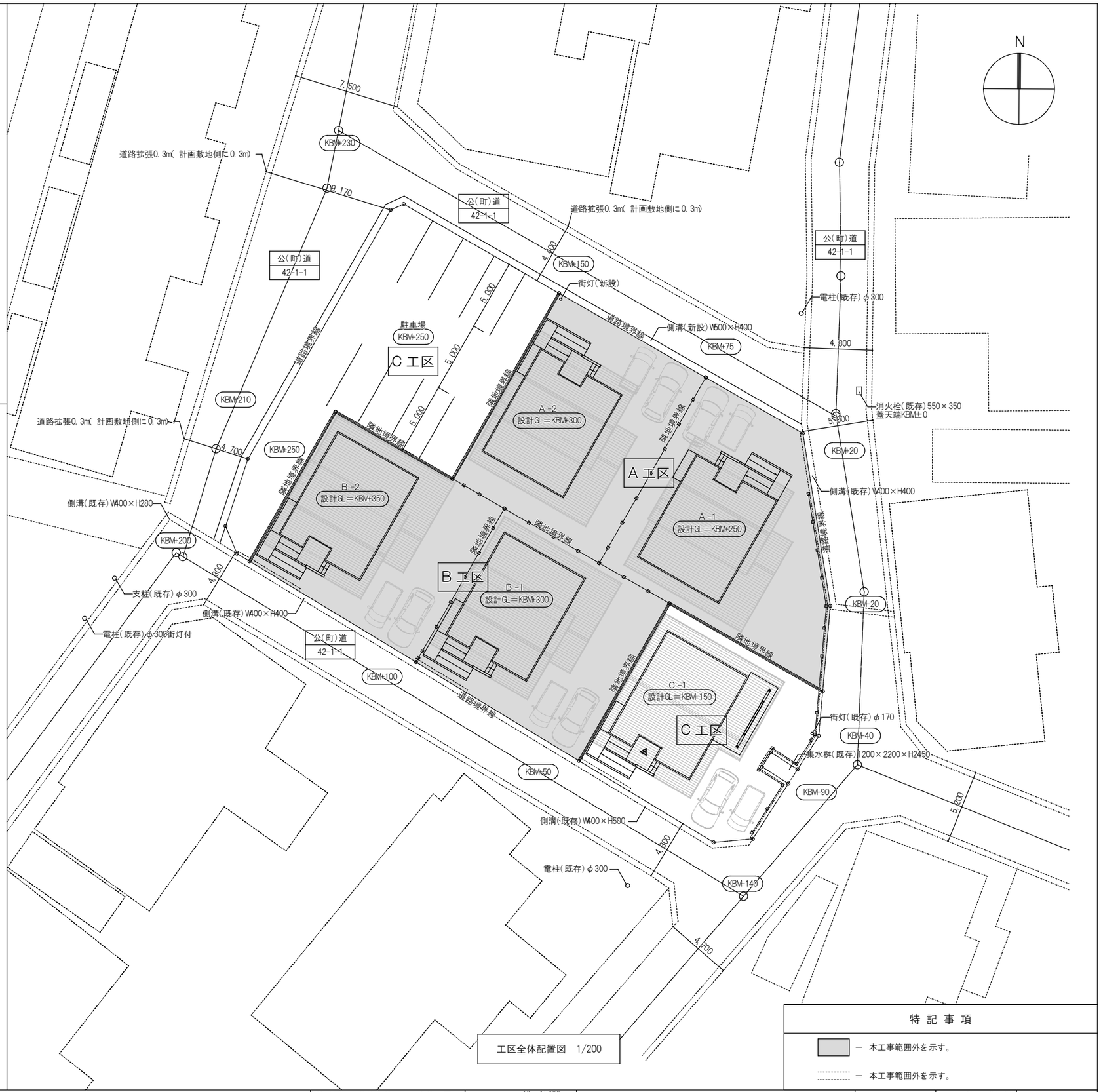
附 近 見 取 図



C-1 敷 地 求 積 図 1/300

C-1 敷地求積表

番 号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	14.05	2.52	35.4060	17.70300
2	17.10	8.27	141.4170	70.70850
3	14.75	2.63	38.7925	19.39625
4	13.21	1.06	14.0026	7.00130
5	14.75	0.74	10.9150	5.45750
6	17.10	4.31	73.7010	36.85050
7	5.12	1.99	10.1888	5.09440
8	6.31	2.20	13.8820	6.94100
合 計				169.15245
敷 地 面 積				169.15 ㎡



工区全体配置図 1/200

特 記 事 項

― 本工事範囲外を示す。

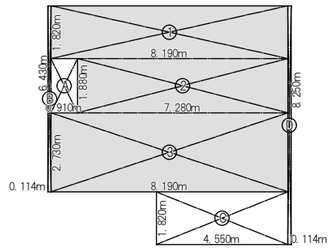
― 本工事範囲外を示す。

付近見取・敷地求積・工区全体配置図	SCALE A2 1:200 A3 1:282	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE R4. 04. 02	A－09
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

計画概要

工事名称	令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C 工区		建築概要	構造	木造在来軸組み工法
建物名称	C 工区 C -1	確認申請名称　（仮称）浜松改良住宅R4-1		階数	平屋建て
建築主	住所	高知県幡多郡黒潮町入野5893		最高の高さ	4. 153m
	氏名	黒潮町長		軒高さ	2. 915m
敷地概要	地名地番	高知県幡多郡黒潮町入野318番地			
	住居表示			建築面積	62. 61㎡
	敷地面積	169. 15㎡		1階床面積	50. 95㎡
	都市計画区域	都市計画区域内		2階床面積	
	用途地域	指定なし		延床面積	50. 95㎡
	防火地域	指定なし		容積対象床面積	50. 95㎡
	指定建ぺい率	70%		建ぺい率	（62. 61/169. 15）×100＝37. 01%
	指定容積率	200%		容積率	（50. 95/169. 15）×100＝30. 12%
	高さ 制限	なし			
	その他の指定	なし			
	道路	道路幅員　4. 3m 4. 5m　　接道長さ　29. 996m			

面積表　1/150



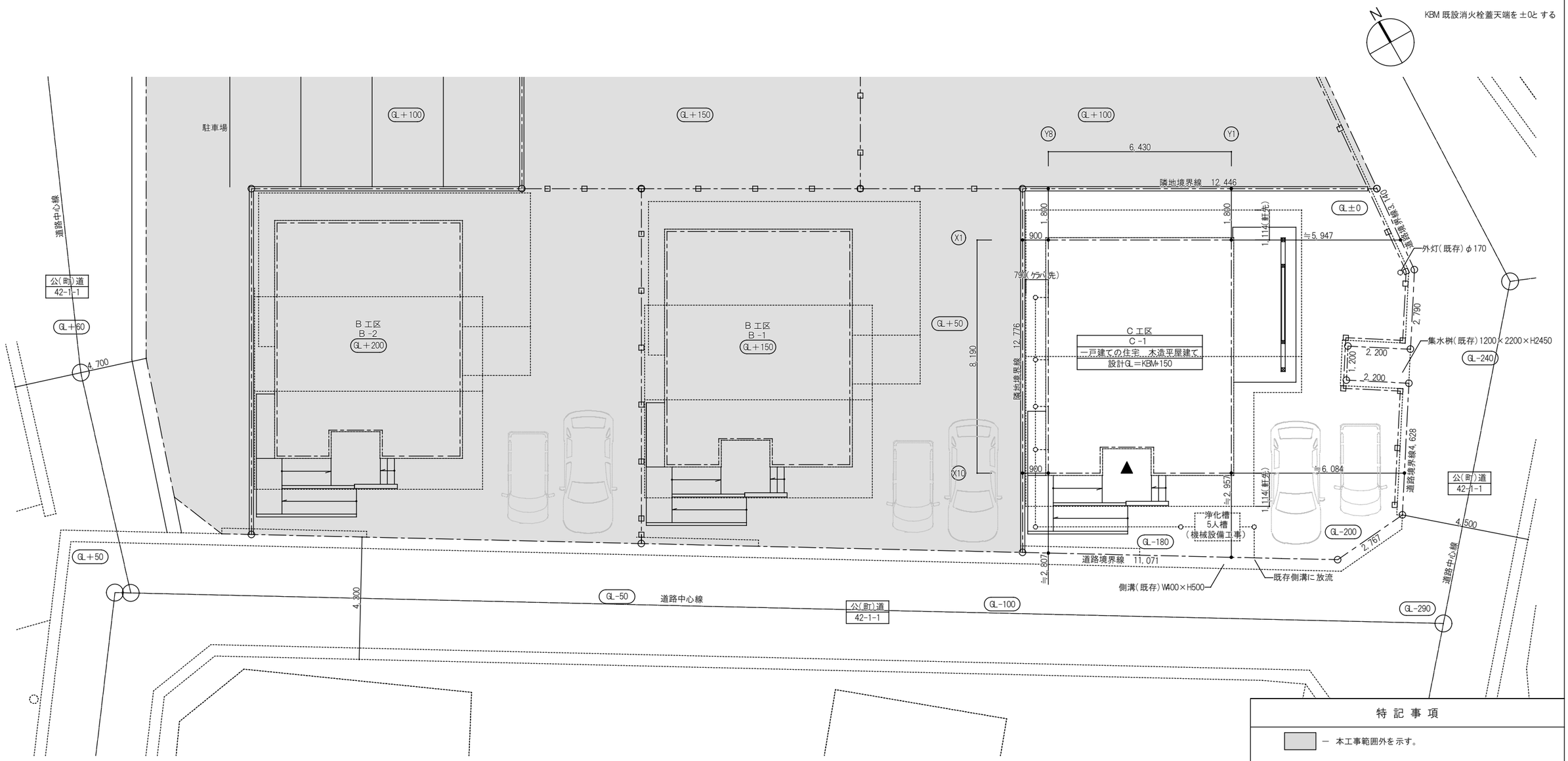
延床面積

記号	計算式	面積
1	1. 820×8. 190	14. 9058
2	1. 880×7. 280	13. 6864
3	2. 730×8. 190	22. 3587
合計(㎡)	計1～3	50. 9509
	延床面積	50. 95㎡

建築面積

記号	計算式	面積
A	1. 880×0. 910	1. 7108
B	6. 430×0. 114	0. 73302
C	1. 820×4. 550	8. 281
D	8. 250×0. 114	0. 9405
	計A～D	11. 66532
	計1～3	50. 9509
合計(㎡)	計A～D, 1～3	62. 61622
	建築面積	62. 61㎡

配置図　1/100



特 記 事 項

― 本工事範囲外を示す。

― 本工事範囲外を示す。

(C -1)計画概要･建物面積表･配置図	SCALE　A2 1: 100　A3 1: 141	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE	DATE R4. 04 02	A －10
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C 工区		株 式 会 社　上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBM TTED BY　一級建築士登録 第 312929号　上田 博史			

外部仕上表

屋根（2.5寸勾配）	Ⓐ	化粧ｽﾚｰﾄ葺き（ 30分準耐火仕様）	通気	Ⓖ	小屋裏換気役物（ 既製品） ※その他雨押え：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t0.4(既製品)	物干場	Ⓠ	床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝押え
		ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940、構造用合板 t15*2二重張り（N75@150以下）		Ⓗ	棟換気役物（ 既製品） ※その他棟包み：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t0.35(既製品)			
			桁鼻	Ⓘ	ｶﾗｰGLt0.35～0.4			
			破風板	Ⓙ	杉t35 巾180（ 防腐処理材） WP 塗			
軒天	Ⓒ	化粧野地板 杉t15雇い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡板	Ⓚ	杉t12縦羽目 働き巾W105 目地押さえt18*30 WP 塗	備考		
外壁	Ⓓ	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 張り t16.0（ 45分準耐火仕様）	竪目地	Ⓛ	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 ｶﾗｰGLt0.35～0.4	【 塗装色：参考品番】 外部WP 塗： 黒（焼杉風） ﾏﾝｾﾙ値：3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗： ｸﾘｱｰ ﾏﾝｾﾙ値：		
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	根廻り	Ⓜ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し（ 補修共）			
樋	Ⓔ	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 半丸120程度・ 竪樋φ75	水切	Ⓝ	土台水切 ｶﾗｰGLt0.35（ 既製品）			
小庇（D=240）	Ⓕ	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t0.35～0.4平葺き	ポーチ	Ⓞ	床 磁器質ﾀｲﾙ150角 ﾓﾙﾀﾙ下地			
		板底：杉（防腐処理材）t35 WP 塗	外部階段・ｽﾛｰﾌﾟ	Ⓟ	床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝押え *外構図参照			

使用材料表

認定番号	化粧ｽﾚｰﾄ葺き （ 30分準耐火仕様）	告示第1358号 第五第1号-ロ（1） NM-9567
	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ 張り t16.0 （ 45分準耐火仕様）	QF045BE-9226
	GB-R（ 石膏ボード ） t12.5 t15.0	NM-8619
	GB-S（ ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ボード ） t9.5	NM-9639
	ビニルクロス	NM認定品

内部仕上表

	室名	床	巾木	壁	廻縁	天井仕上	床高/天井高	備考
1階	玄関	② 磁器質ﾀｲﾙ150角 下地：ﾓﾙﾀﾙ35程度	⑫ 木製桧 H=65 WP 塗	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,220	・下足箱 K1 ・ｱﾝｸﾞﾙ框：ﾒﾀﾙ調Lｱﾝｸﾞﾙ21*21程度 ・手掛兼用見切：桧（小節）45*75R加工、H2,200 WP 塗
	廊下	① 桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15（塗装品） 下地：構造用合板t28	⑪ 木製桧 H=45 WP 塗	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,200	
	台所	① 桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15（塗装品） 下地：構造用合板t28	⑪ 木製桧 H=45 WP 塗	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0 ㉒【 ｷｯﾁﾝ壁廻り 】 居間側： ｼﾅ合板 t5.5 WP 塗 ｷｯﾁﾝ側： ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t3.0張り 下地：GB-S t9.5	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊷ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：≒2,804	・ｷｯﾁﾝ（ 流し 台L=1,800、ｺﾝﾛ台L=700、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ（ﾌﾞｰｽ型）L=750、水切棚）
	居間	① 桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15（塗装品） 下地：構造用合板t28	⑪ 木製桧 H=45 WP 塗	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5		・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W) ・ｸﾛｰｾｯﾄｷｬｯﾌﾟ
	和室	③ ｽﾀｲﾛ畳t55（B種） 下地：構造用合板t28	⑬ 畳寄せ25*50	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉜ 木製廻縁 10*25	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,300	・長押：桧（小節）L=1,500WP 塗、木製フック 計4組（丸喜金属：Jフック MHW-200同等 色ｳｫﾙﾅｯﾄ） ・ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W) ・ｸﾛｰｾｯﾄｷｬｯﾌﾟ
	トイレ	④ CFｼｰﾄt1.8張り 下地：ﾗﾜﾝ合板t12.0捨張、構造用合板t28	⑭ ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=45	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,100	・洋便器（ 機械設備工事） ・L型手摺（ 機械設備工事） ※下地補強は本工事 ・ﾀｵﾙ掛（ 機械設備工事） ・天井換気扇（ 機械設備工事）
	洗面・脱衣室	④ CFｼｰﾄt1.8張り 下地：ﾗﾜﾝ合板t12.0捨張、構造用合板t28	⑭ ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=45	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,100	・床下点検口600角 ・洗面化粧台W-750（ 機械設備工事） ・洗濯機ﾊﾟﾝ（ 機械設備工事） ・ﾀｵﾙ掛け（ 機械設備工事）
	浴室	*1416規格 仕上・下地材共 難燃以上 （ 性能評価「 9.高齢者等への配慮」対応型）		㉓ GB-R t15.0素地		㊷ GB-R t12.5素地	CH：2,100	・ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ1416ﾀｲﾌﾟ（ 機械設備工事）
共通	押入	⑥ ﾗﾜﾝ合板t15.0 下地：構造用合板t28	⑯ 雑巾摺り 10*15	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	CH：2,200	・中段D=750 ・枕棚D=450 ・天井点検口450角
	物入1	⑥ ﾗﾜﾝ合板t15.0 下地：構造用合板t28	⑯ 雑巾摺り 10*15	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊶㊷ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：台所 GB-R t12.5	CH：2,200	・可動棚 K2
	物入2	⑥ ﾗﾜﾝ合板t15.0 下地：構造用合板t28	⑯ 雑巾摺り 10*15	㉑ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t15.0	㉛ ｸﾛｽ見切（ﾌｸﾋﾞ：C-3T同等）	㊷ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張り 下地：GB-R t12.5	CH：2,300	・中段D=750 ・枕棚D=450

2．火災時の安全　感知警報装置（設備工事）

種 類	設置場所	種 別
住宅用火災警報器	居間・和室	光電式煙感住警器（無線式連動型）
住宅用火災警報器	台所	定温式煙感住警器（無線式連動型）

3．劣化の軽減

項 目		内 容
外壁の軸組等の防蟻処理	外壁の構造	外壁通気構造(.通気層巾21mm)
	柱の樹種：小径	桧　120mm、105mm
	GLより 1m以内の軸材	薬剤処理(木材保存協会認定防腐剤又はｼﾛｱﾘ対策境界認定防腐･防蟻剤を現場塗布
	床構造用合板	薬剤処理(木材保存協会認定防腐剤又はｼﾛｱﾘ対策境界認定防腐･防蟻剤を現場塗布
土台の防腐・防蟻		外壁下端の水切を設置(ｶﾞﾗｰGL通気水切り　有効換気面積83.83cm2/m) 桧
地盤の防蟻		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄべた基礎(t150)
浴室･脱衣室の防水	浴室	浴室ﾕﾆｯﾄ1416ﾀｲﾌﾟ
	脱衣室	防水上有効な仕上(床:OFﾌﾛｱ 壁天井:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ)
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
床下防湿･換気	防湿方法 換気方法	ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt150,ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ0.15 基礎ﾊﾟｯｷﾝｸﾞ（有効換気面積101.76cm2/m 高さ20mm）
小屋裏換気	換気方法	

4．維持管理

項 目		内 容		
専用配管	排水･給水･給湯･ｶﾞｽ管	ｺﾝｸﾘｰﾄ内に埋め込まない		
地中埋設管	排水･給水･給湯･ｶﾞｽ管	地中埋設配管上にｺﾝｸﾘｰﾄを打設しない		
専用配管の清掃処置	全体	清掃口･及び清掃可能なﾄﾗｯﾌﾟを設置		
排水管の性状等	全体 たわみ･抜け	VP管を使用し内部は平滑とする 接着固定を行い、支持金物を設置		
配管点検口	主要接合部の点検措置	露出配管及び点検口の設置		
基礎貫通部の配管		さや管方式		
部 位	排水管の清掃措置	接合部の点検措置		
		排水管	給湯管	排水管
ﾄｲﾚ	排水ﾏｽに接続	露出	-	取り外し可能
ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ	清掃可能なﾄﾗｯﾌﾟ	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉
洗面化粧台	清掃可能なﾄﾗｯﾌﾟ	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ扉
洗濯機用水栓･排水	清掃可能なﾄﾗｯﾌﾟ	露出	露出	点検口
浴室	清掃可能なﾄﾗｯﾌﾟ	点検口	点検口	点検口
給湯器	-	露出	露出	-

5．温熱環境

項 目	内 容
地域の区分	6 地域
断熱工法の種別	充填断熱工法

断熱性能の確保

項 目	内 容
断熱材の施工方法	隙間なく充填
外壁上下端部と天井・屋根の取合い部	気流止め枠材
間仕切り 壁と天井・床の取合い部	気流止め枠材

開口部断熱性能

項 目	内 容	熱貫流率
窓	ｱﾙﾐ樹脂製熱遮断構造建具・LOW-E複層ｶﾞﾗｽ・ｶﾞｽ無・中空層16mm	2.17
装飾窓	ｱﾙﾐ樹脂製熱遮断構造建具・LOW-E複層ｶﾞﾗｽ・ｶﾞｽ無・中空層16mm	2.00
勝手口戸(台所)	ｱﾙﾐ樹脂製熱遮断構造建具・LOW-E複層ｶﾞﾗｽ・ｶﾞｽ無・中空層12mm	2.43
玄関引戸	金属製熱遮断構造建具・LOW-E複層ｶﾞﾗｽ・ｶﾞｽ無・中空層12mm	3.22

6.空気環境

項 目	内 容
使用建材	製材等、特定建材、その他の建材
居室の内装の仕上げ材	全てF ☆☆☆☆の建材を使用
天井裏の下地材等	全てF ☆☆☆☆の建材を使用
換気方式	第3種 給気口+排気機
風量	換気階数 0.5回/h 以上の換気量
圧力	機外静圧≧必要静圧
居室出入口の通気措置	換気ﾙｰﾄとなるﾄﾞｱはｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ(10mm以上)
	引き戸・ﾌｽﾏ戸・折れ戸

8.音環境

項 目	内 容
開口部遮音性能	居室の外壁に設ける開口部は全てT-1とする

9.高齢者等配慮

項 目	内 容	項 目	内 容
特定寝室	特定寝室：1階和室（内法面積：10.54㎡）	手摺	便所手摺：有り
特定寝室と同一階の室	玄関 台所 居間 ﾄｲﾚ 洗面・脱衣室 浴室		浴室手摺：有り　（浴室出入口・浴槽出入口）
段差	玄関出入口くつずりと玄関外側：20mm		玄関手摺：有り
	玄関出入口くつずりと玄関土間：0mm		脱衣室手摺：設置可能
	玄関上がりかまち：20mm		
	浴室出入口：20mm以下		

断熱材の種類と厚さ

部 位	材 料	厚 さ	備 考
屋根	該当なし		
天井	高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 密度16kg/㎥	105mm	
壁	高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 密度16kg/㎥	105mm	
床(外気に接する部分)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 密度32kg/㎥	80mm	
床(その他の部分)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 密度32kg/㎥	80mm	
土間床等の外周部	該当なし　※UB床下部は、断熱構造化とする		

内部結露防止対策

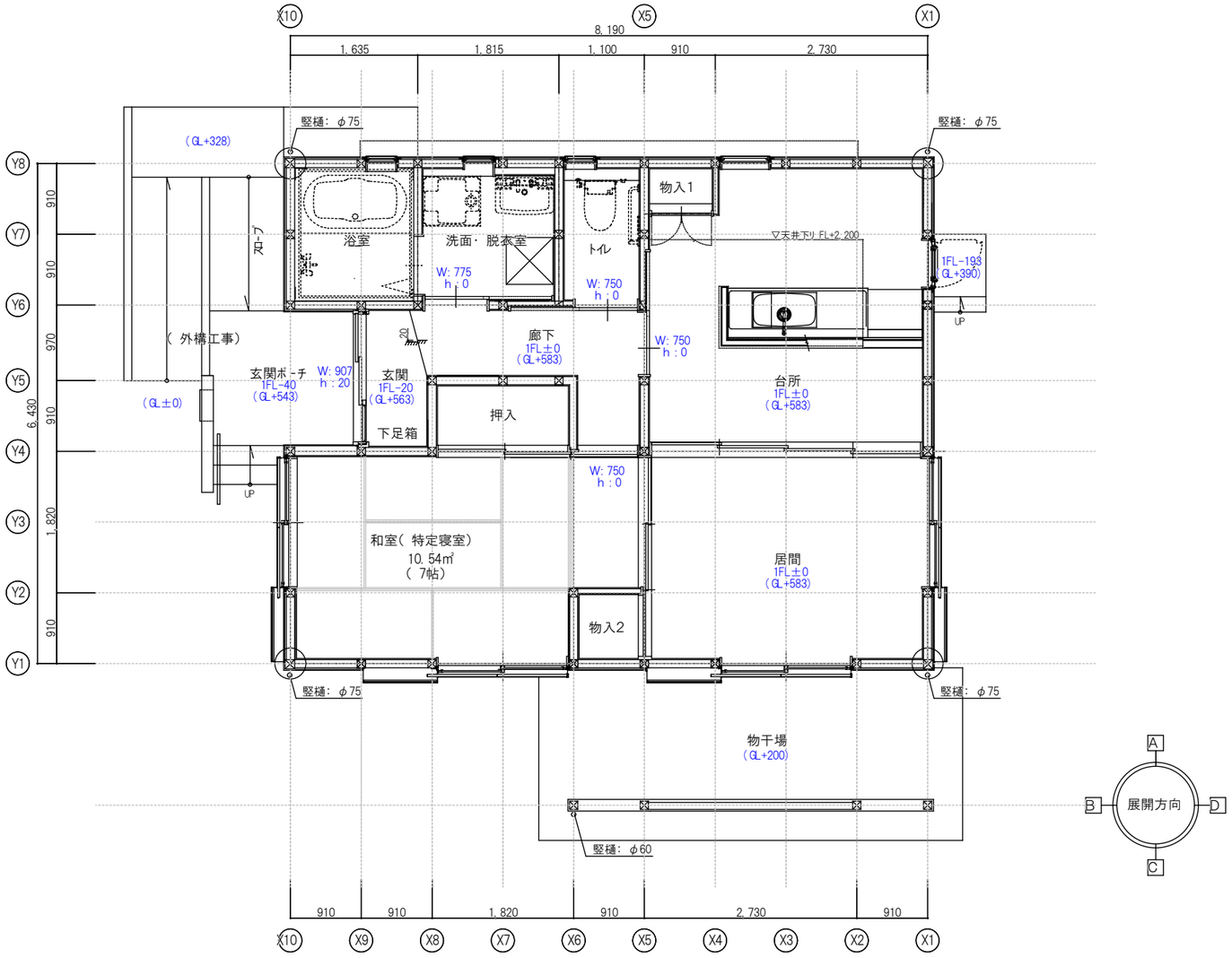
項 目	内 容
防湿層の設置	防湿ﾌｨﾙﾑ JIS A6930 A種 厚0.15
通気層の設置	外壁通気構造
	天井小屋裏換気
	床下に換気口
防風層の設置	透湿防水ｼｰﾄ JIS A6111 厚0.16

日射遮蔽

項 目	内 容
開口部の日射侵入対策	LOW-E複層ｶﾞﾗｽ(日射遮蔽型)
	日射取得率：

局所換気対策

項 目	機械換気	換気窓
台所	有	有
浴室	有	有
ﾄｲﾚ	有	有



1階　平面図　S: 1/50

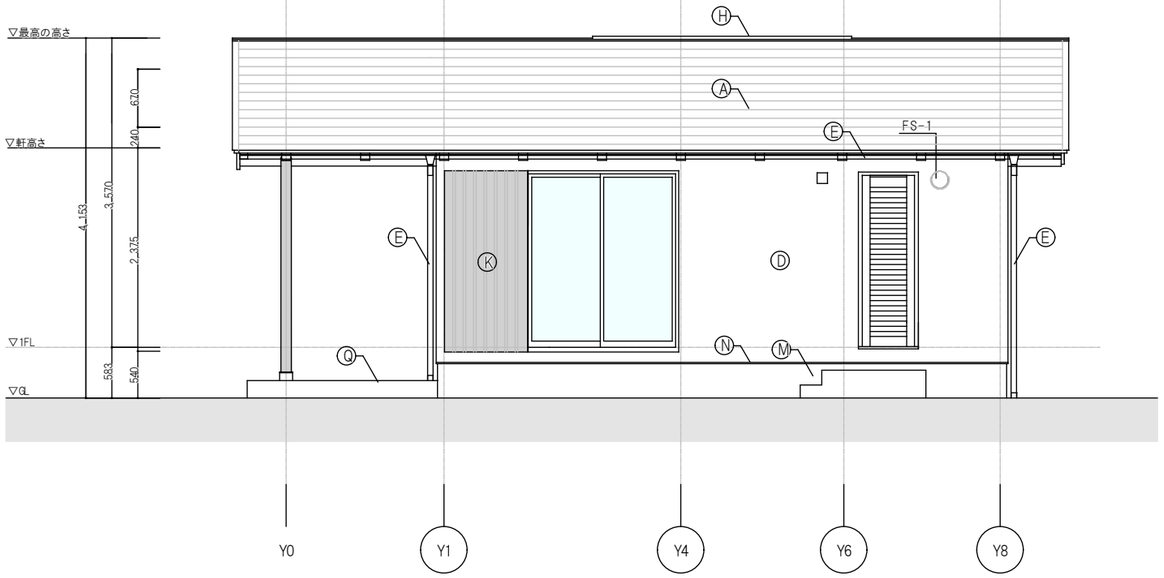
凡　例			面 積 表		
⊗ 通し柱　120*120		⊠ 床下点検口	1階 床面積	50.950㎡	15.41坪
⊠ 管柱　105*105		W: 000 h : 0 出入口有効幅員 出入口段差	延床面積	50.95㎡	15.41坪

左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

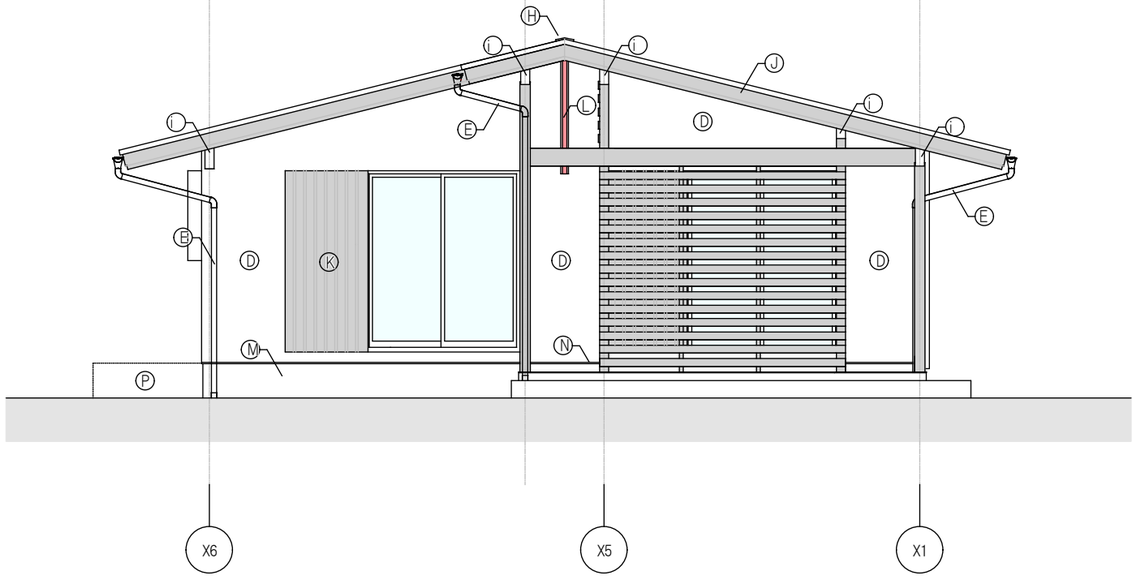
平屋建てタイプ	平面図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE . .	DATE R4. 03. 24	A－13
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区		株式会社　上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY　一級建築士登録　第 312929号　上田 博史			

外 部 仕 上 表

屋 根 （2.5寸勾配）	Ⓐ	化粧ｽﾚｰﾄ葺き（ 30分準耐火仕様）	通 気	Ⓖ	小屋裏換気役物（ 既製品） ※その他雨押え：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｭｳﾑ鋼板t0.4（既製品）	物 干 場	Ⓠ	床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝押え
		ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940、構造用合板 t15*2二重張り（N75@150以下）		Ⓗ	棟換気役物（ 既製品） ※その他棟包み：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｭｳﾑ鋼板t0.35（既製品）			
			桁 鼻	Ⓘ	ｶﾗｰGLt0.35～0.4			
			破 風 板	Ⓙ	杉t35 巾180（ 防腐処理材） WP 塗			
軒 天	Ⓒ	化粧野地板 杉t15雇い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	Ⓚ	杉t12縦羽目 働き巾W105 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考		
外 壁	Ⓓ	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り t16.0（ 45分準耐火仕様）	竪 目 地	Ⓛ	杉90*60（防腐処理材） WP 塗 *底目地 ｶﾗｰGLt0.35～0.4	【 塗装色：参考品番】 外部WP 塗： 黒（焼杉風） ﾏﾝｾﾙ値：3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗： ｸﾘｱｰ ﾏﾝｾﾙ値：		
		通気胴縁21*45@455、透湿防水ｼｰﾄ 張り	根 廻 り	Ⓜ	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し（ 補修共）			
樋	Ⓔ	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｭｳﾑ鋼板 半丸120程度・竪樋φ75	水 切	Ⓝ	土台水切 ｶﾗｰGLt0.35（ 既製品）			
小 庇 （D=240）	Ⓕ	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｭｳﾑ鋼板t0.35～0.4平葺き	ポ ー チ	Ⓞ	床 磁器質ﾀｲﾙ150角 ﾓﾙﾀﾙ下地			
		板底：杉（防腐処理材）t35 WP 塗	外部階段・ｽﾛｰﾌﾟ	Ⓟ	床 ﾓﾙﾀﾙ金鏝押え *外構図参照			



Ⓧ1-立面図 S：1/50



Ⓨ1-立面図 S：1/50

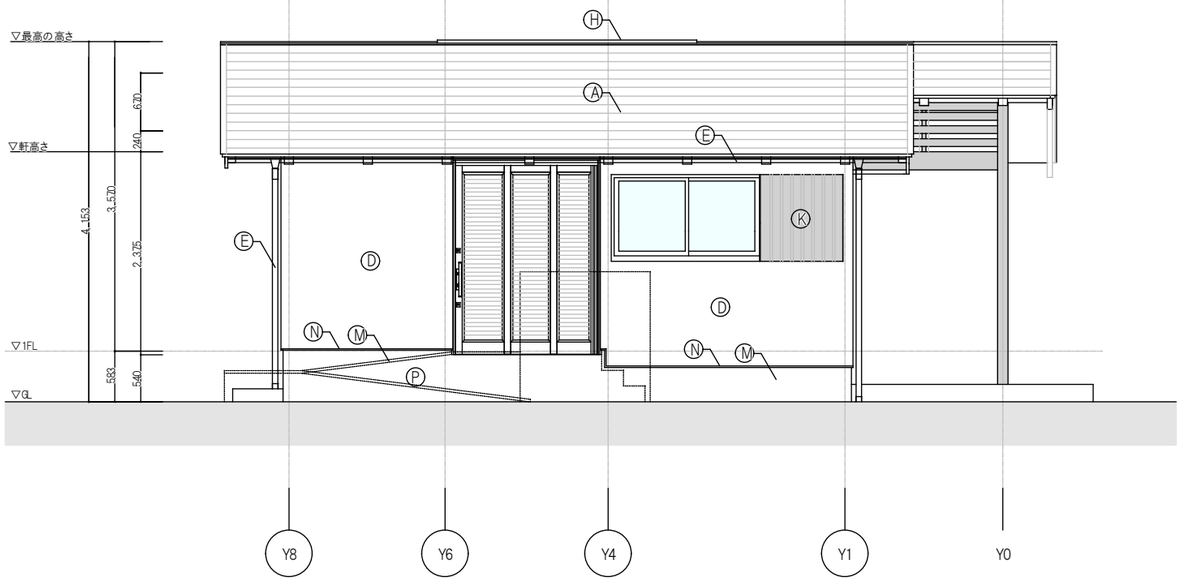
左玄関PLAN（ 右玄関PLANを反転）

平屋建てﾀｲﾌﾟ	立面図-1	SCALE A2 1：50 A3 1：71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上 田 建 築 事 務 所	DATE	DATE R4. 03. 24
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY

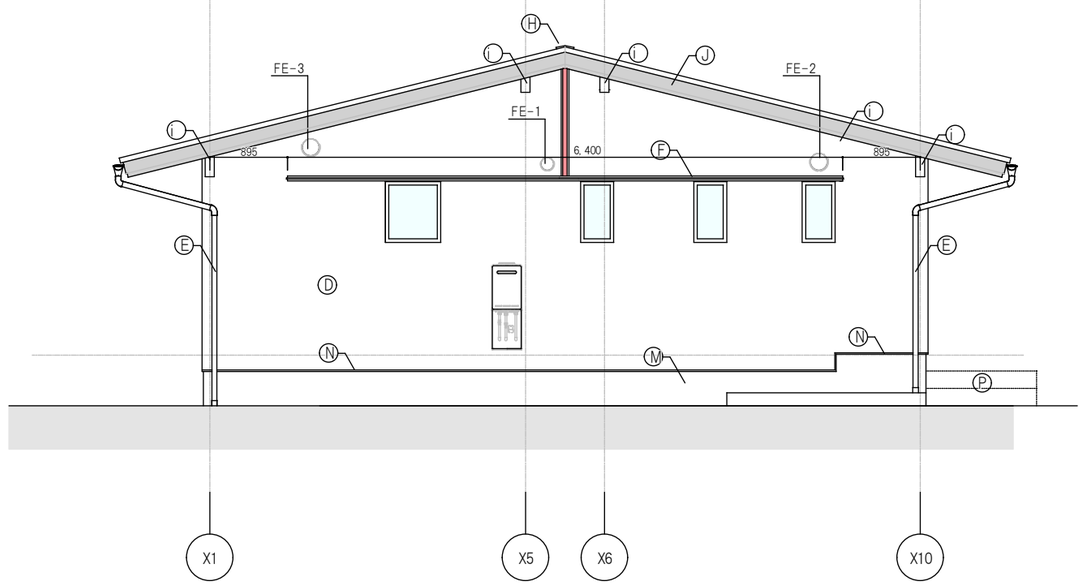
A－14
SHEET NO.

外部仕上表

屋根（2.5寸勾配）	Ⓐ	化粧スレート葺き（30分準耐火仕様）	通気	Ⓖ	小屋裏換気役物（既製品） ※その他雨押え：カラーガルバコウム鋼板t0.4(既製品)	物干場	Ⓠ	床 モルタル金鏝押え
		アスファルトルーフィング940、構造用合板 t15*2二重張り（N75@150以下）		Ⓗ	棟換気役物（既製品） ※その他棟包み：カラーガルバコウム鋼板t0.35(既製品)			
			桁鼻	Ⓘ	カラーGLt0.35～0.4			
			破風板	Ⓙ	杉t35 巾180（防腐処理材） WP塗			
軒天	Ⓒ	化粧野地板 杉t15雇い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡板	Ⓚ	杉t12縦羽目 働き巾W105 目地押さえt18*30 WP塗	備考		
外壁	Ⓓ	窯業系サイディング張り t16.0（45分準耐火仕様）	竪目地	Ⓛ	杉90*60(防腐処理材) WP塗 *底目地 カラーGLt0.35～0.4	【塗装色：参考品番】 外部WP塗： 黒(焼杉風) マンセル値：3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP塗： クリアー マンセル値：		
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート張り	根廻り	Ⓜ	基礎コンクリート打ち放し（補修共）			
樋	Ⓔ	カラーガルバコウム鋼板 半丸120程度・竪樋φ75	水切	Ⓝ	土台水切 カラーGLt0.35（既製品）			
小庇（D=240）	Ⓕ	ガルバコウム鋼板t0.35～0.4平葺き	ポーチ	Ⓞ	床 磁器質タイル150角 モルタル下地			
		板庇：杉(防腐処理材) t35 WP塗	外部階段・スロープ	Ⓟ	床 モルタル金鏝押え *外構図参照			



Ⓧ10-立面図 S：1/50

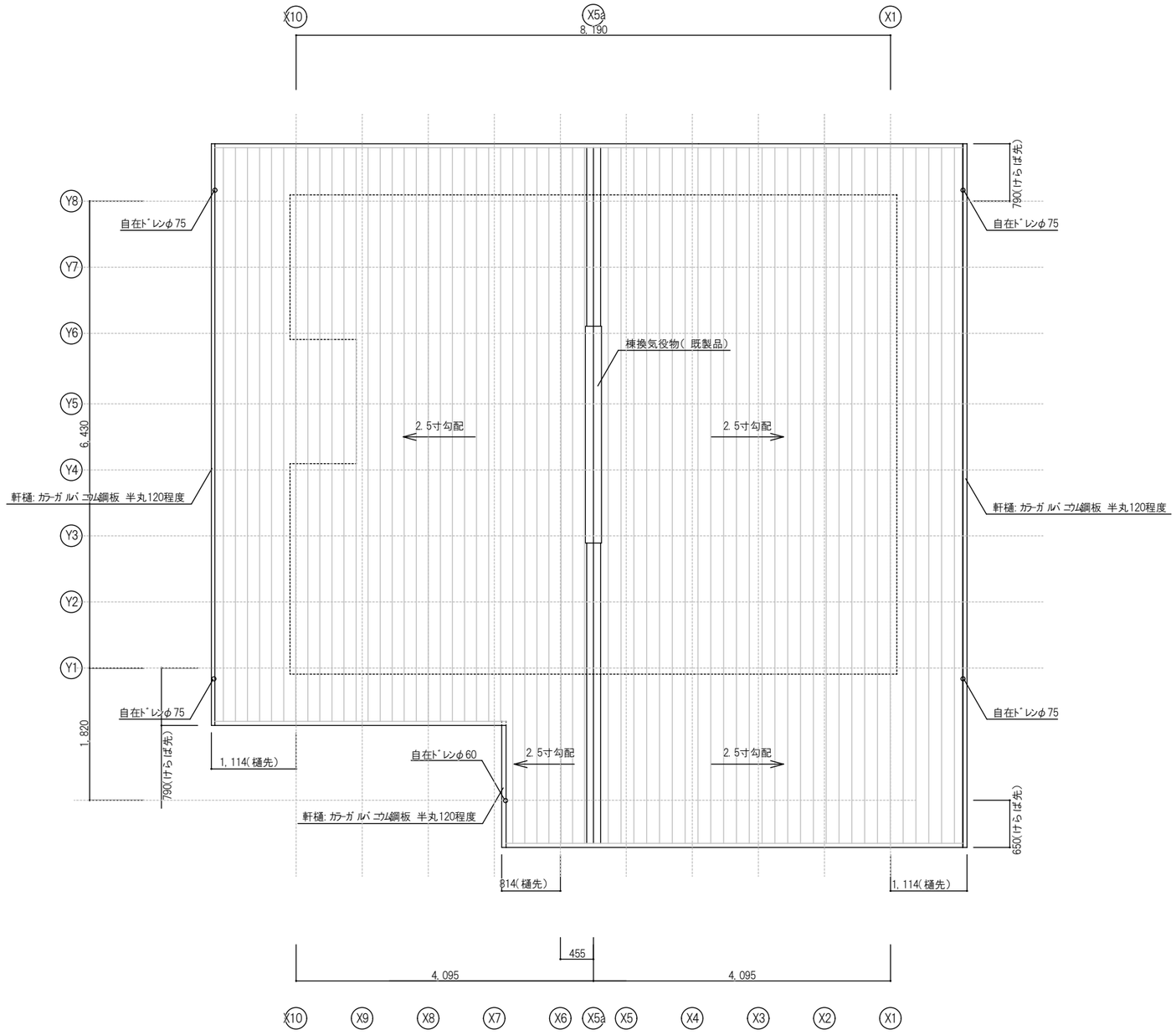


Ⓨ8-立面図 S：1/50

左玄関PLAN（右玄関PLANを反転）

平屋建てタイプ	立面図-2	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . .	DATE R4. 03. 24
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY

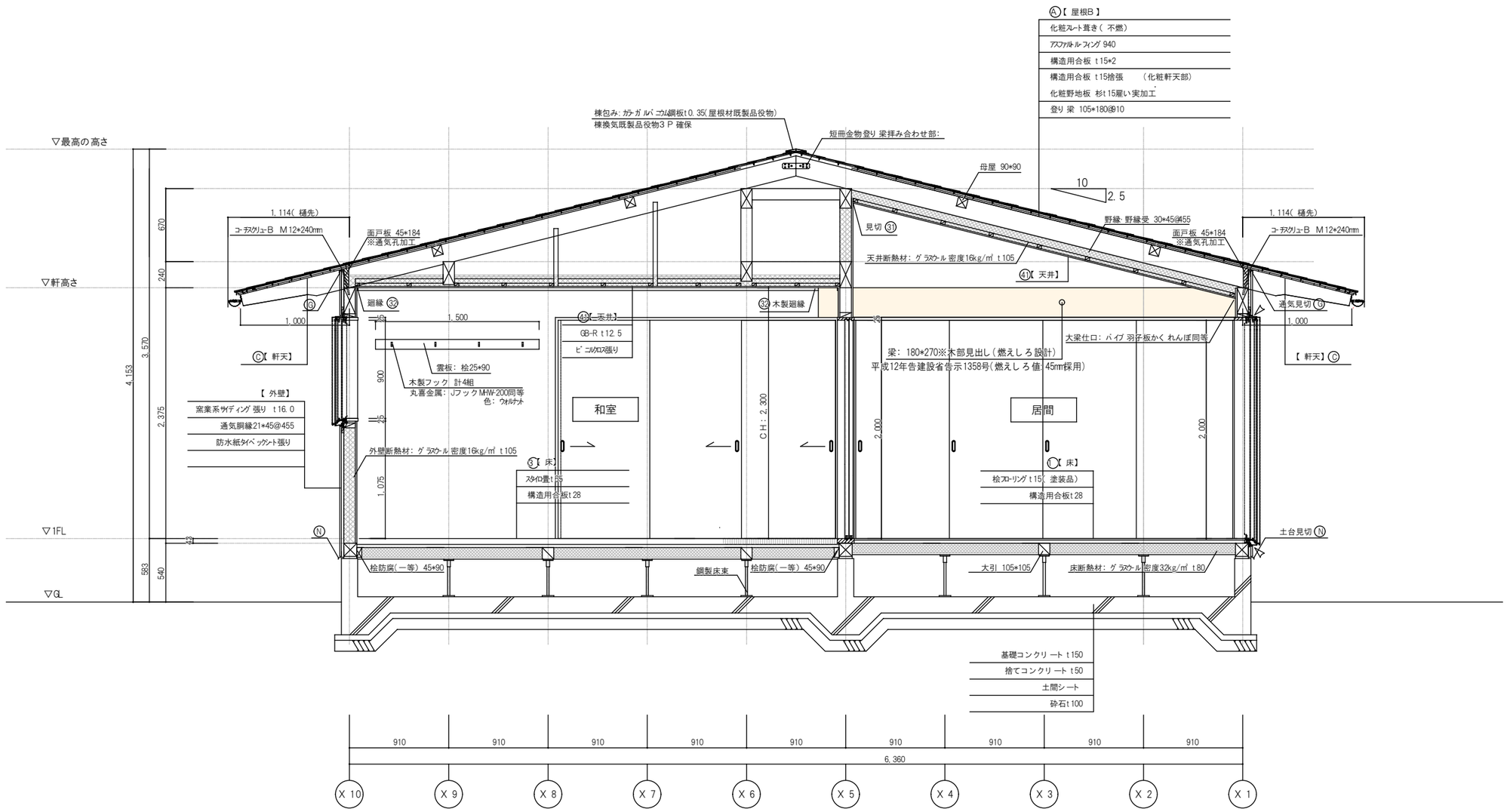
A－15
SHEET NO.



屋根伏図 S: 1/50

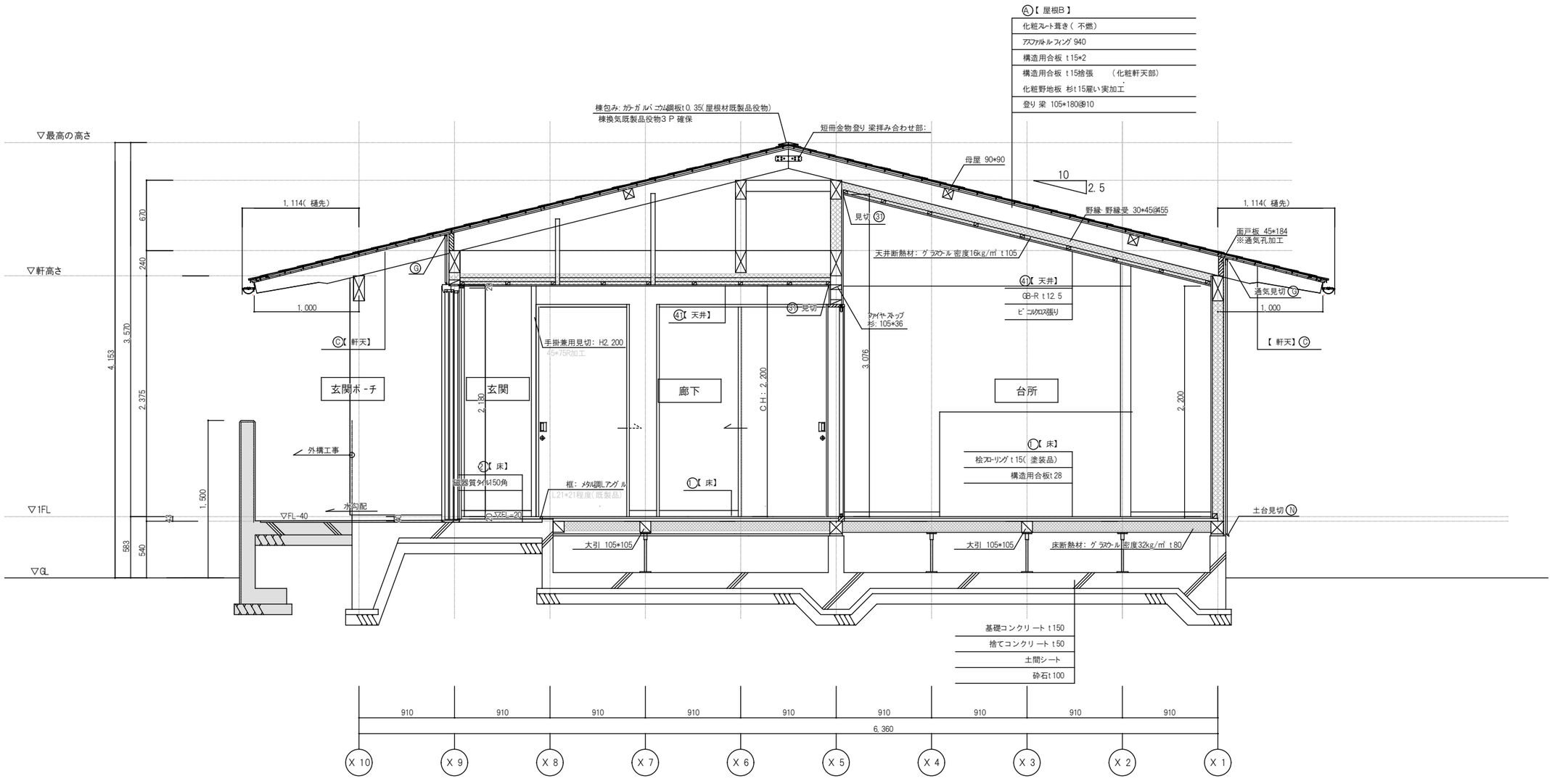
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ	屋根伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE R4. 03.24	A－16
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



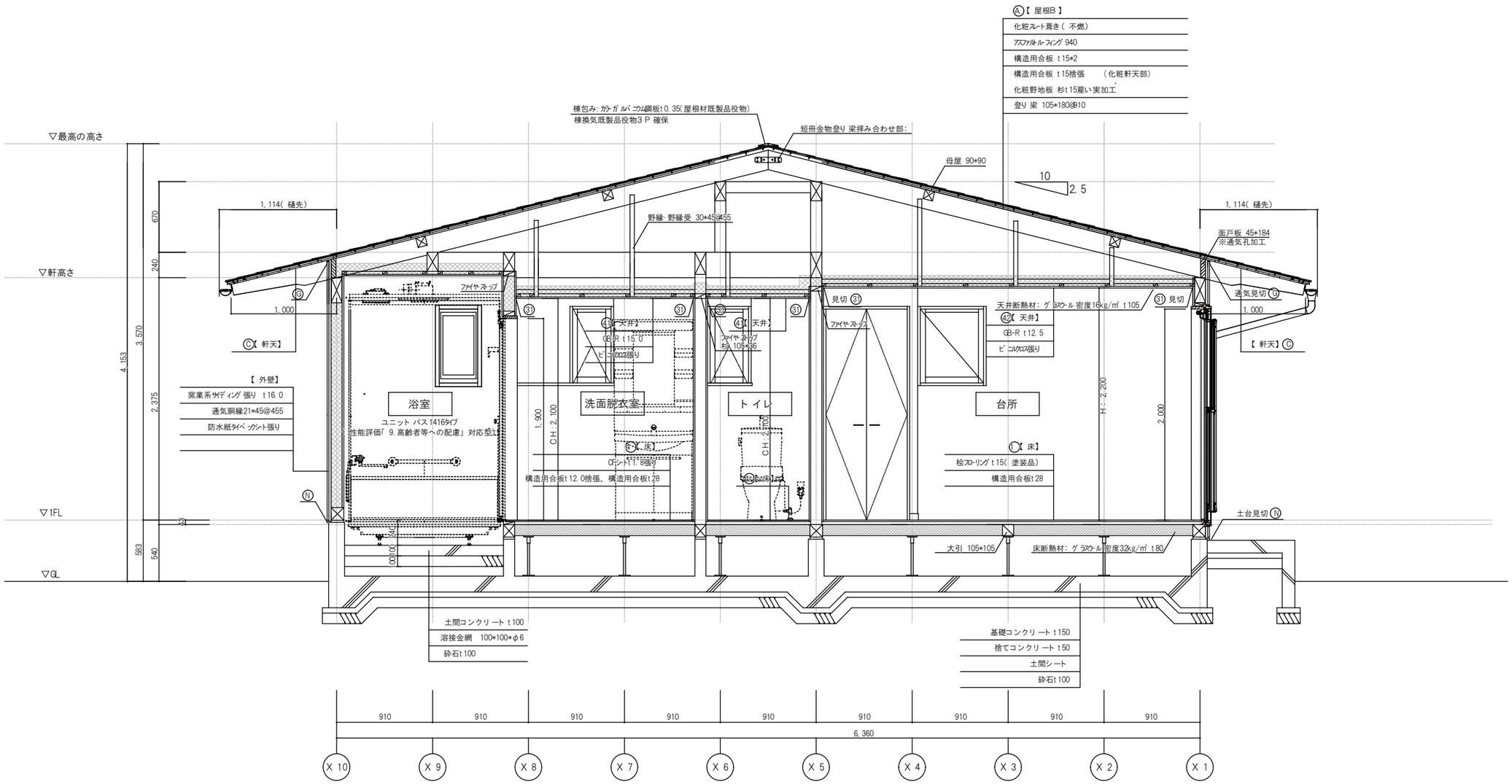
左玄関PLAN（ 右玄関PLANを反転）

平屋建てタイプ	矩計図-1	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所 SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	DATE . .	DATE R4. 03.22	A－17
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C 工区			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.



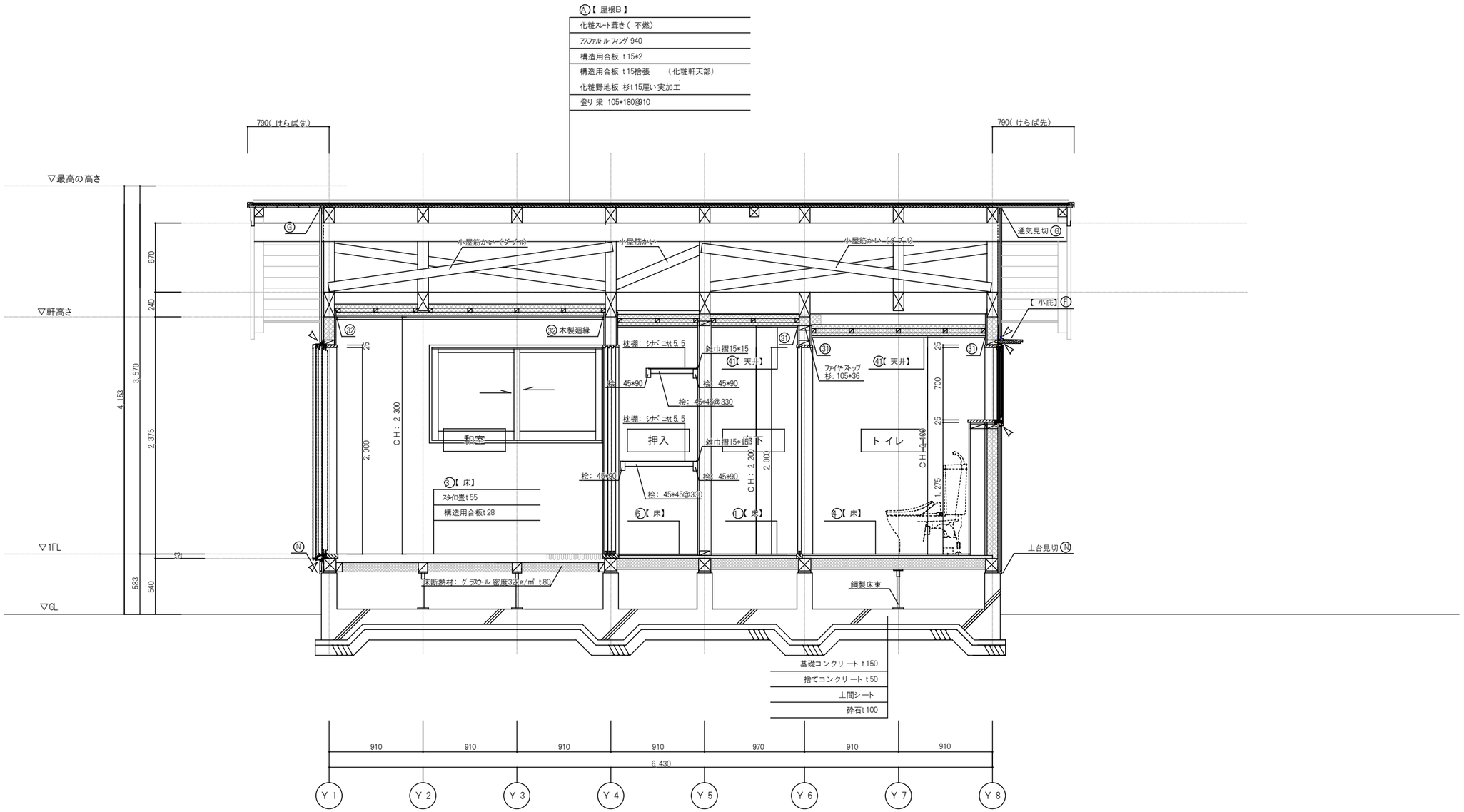
左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

平屋建てタイプ	矩計図-2	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4. 03.22	A－18
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



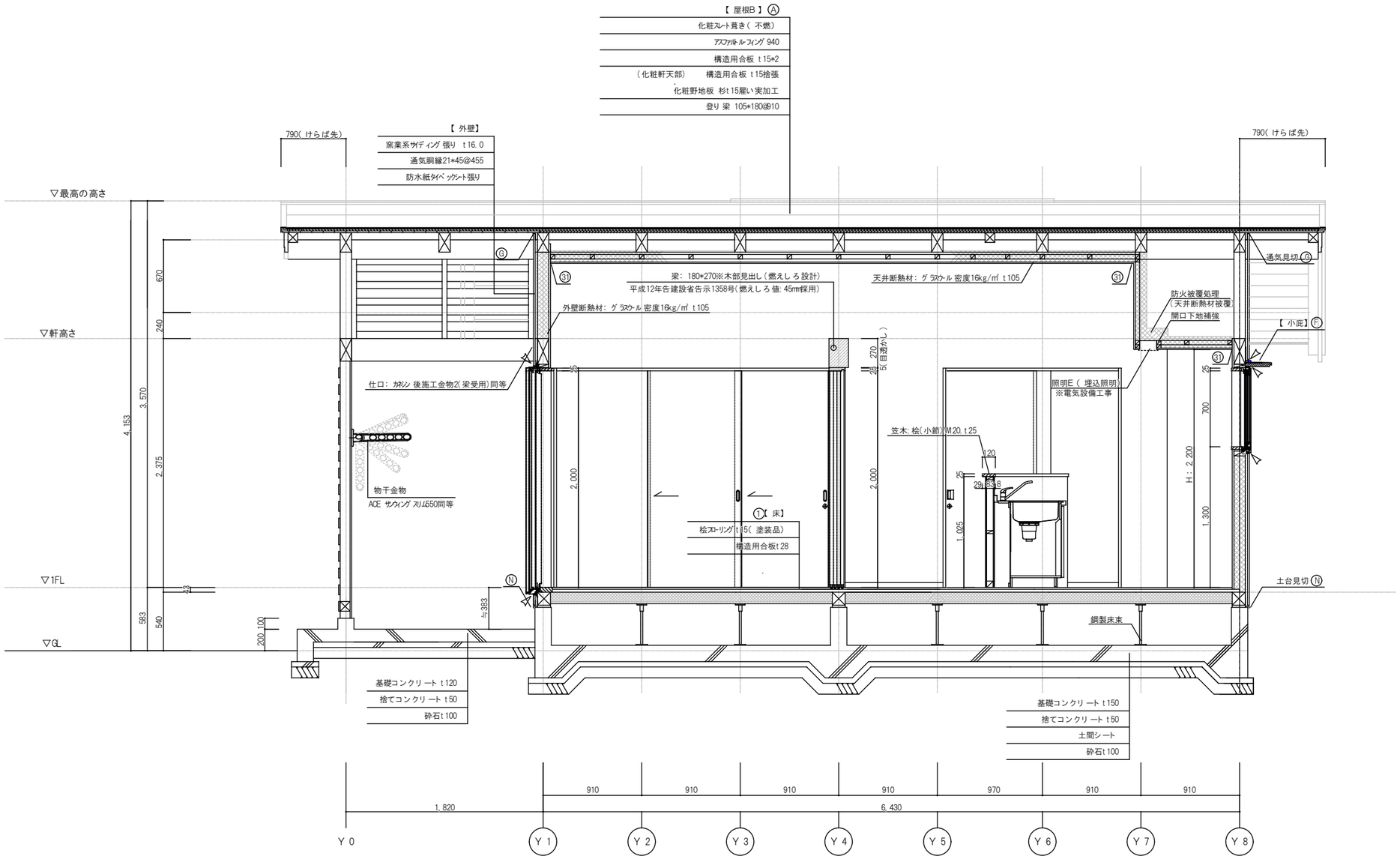
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ	矩計図-3	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE R4 03 22	A－19
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



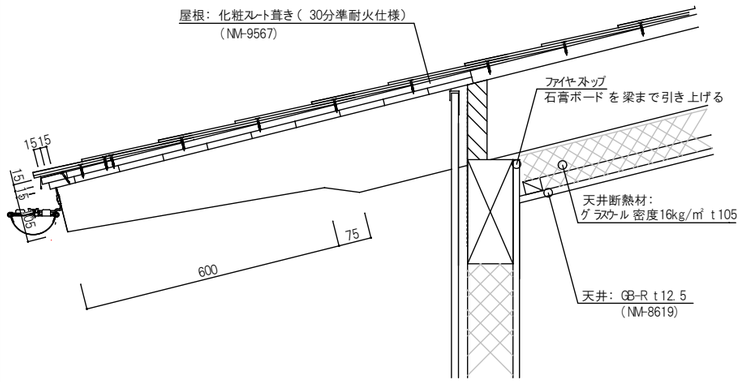
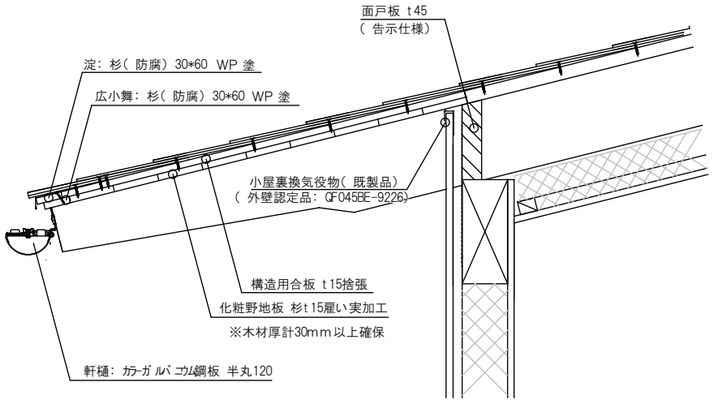
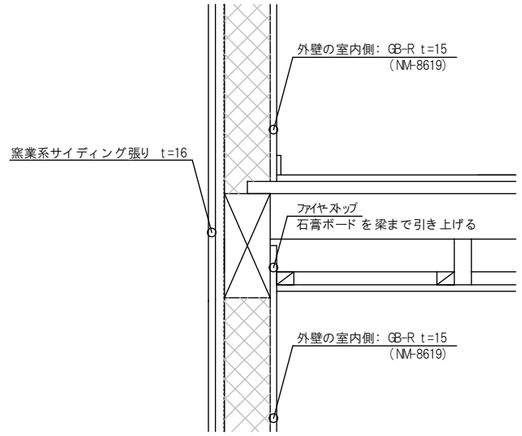
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ	矩計図-4	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE R4. 03.22	A－20
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

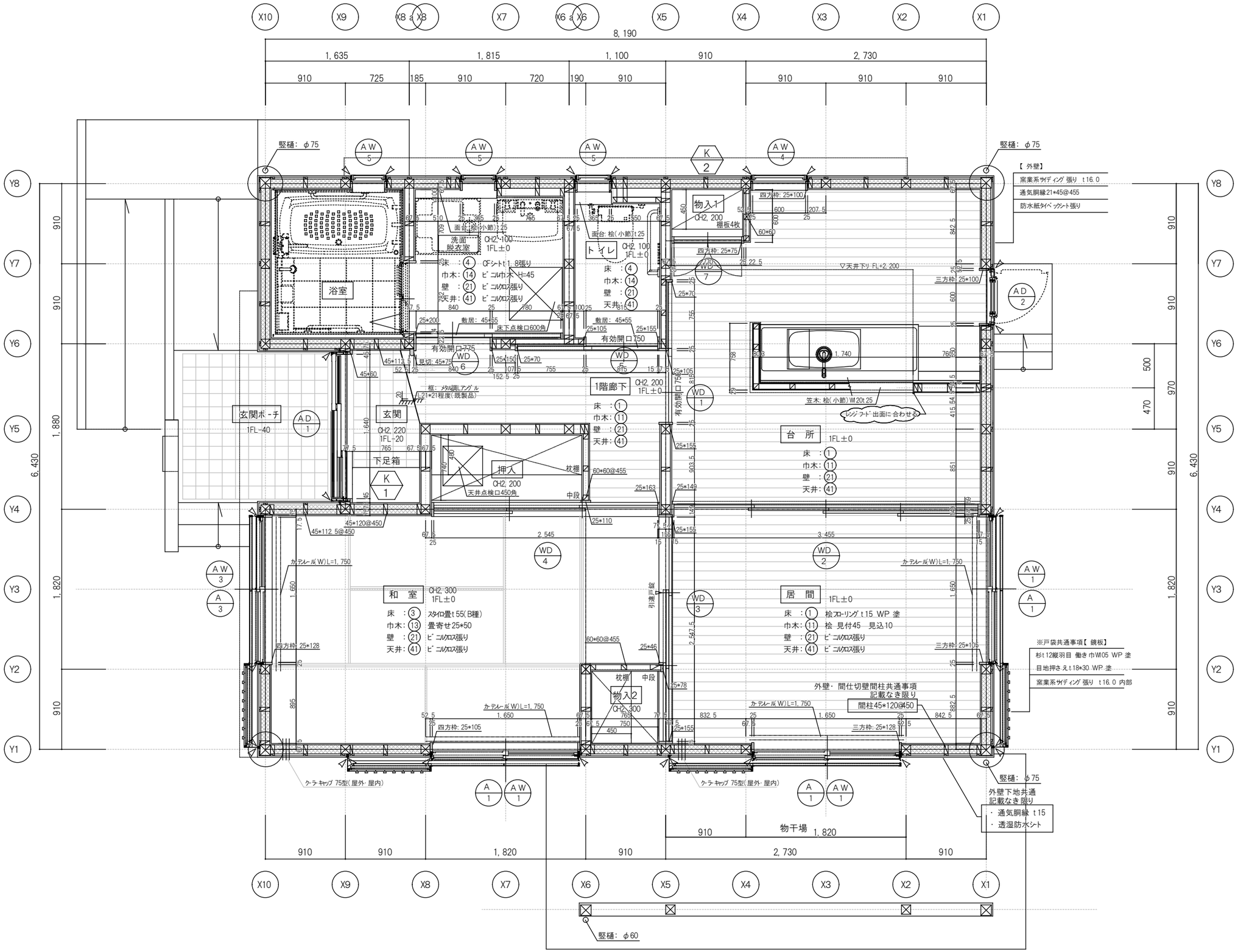


左玄関PLAN（ 右玄関PLANを反転）

平屋建てタイプ	矩計図-5	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . .	DATE R4. 03.22	A－21
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.

部　位	屋　根		軒　裏		外　壁	
認定番号又は告示	30分準耐火	告示第1358号　第5第1号-ロ（ 1）	45分準耐火	告示第1358号、 H16告示789号　準耐火構造45分 仕様（ ホ）	45分準耐火	QF045BE-9226
形状・ 寸法					
部　位						
認定番号又は告示						
形状・ 寸法						
部　位						
認定番号又は告示						
形状・ 寸法						

平屋建てﾀｲﾌﾟ	準耐火リスト・ 詳細図	SCALE A2 1:10 A3 1:14	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE . .	DATE R4. 03.22	A －22
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区		株式会社　上　田　建　築　事　務　所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史			



1階 平面詳細図 S: 1/30

左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

2階建てタイプ

注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP塗とする

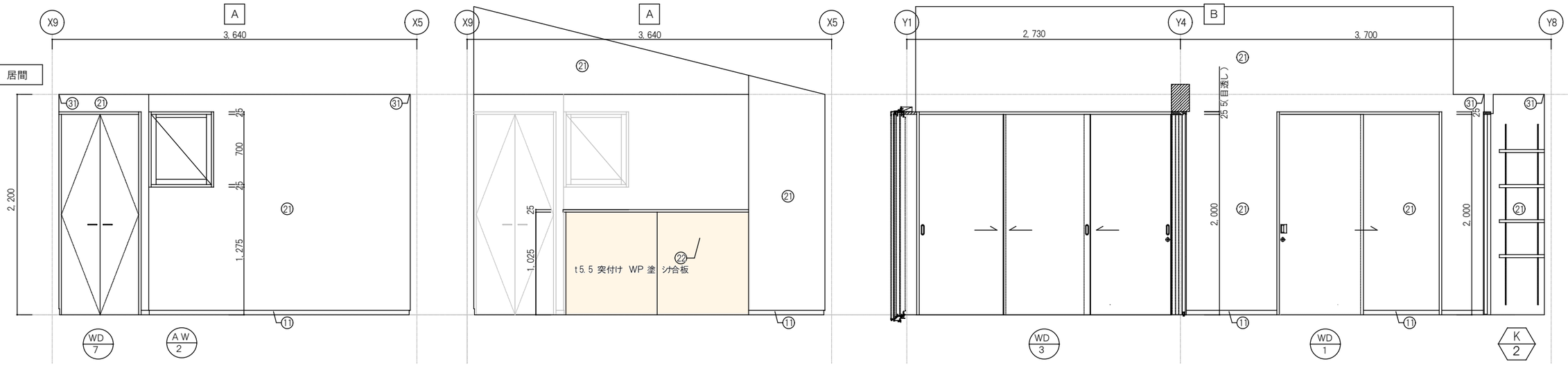
平面詳細図	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE R4. 03. 31
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY / DRAWN BY

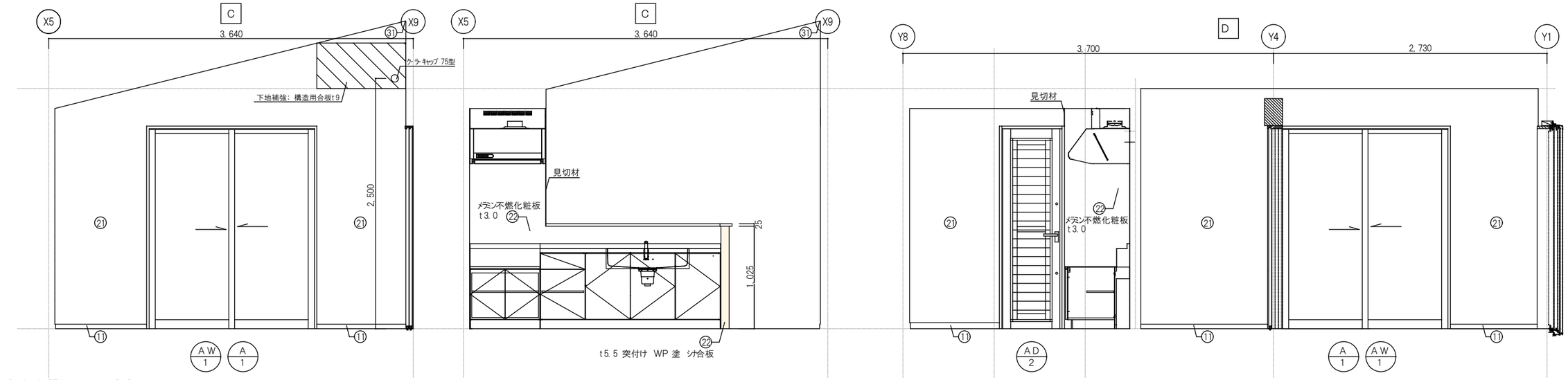
A－23

SHEET NO.

玄関・1階廊下

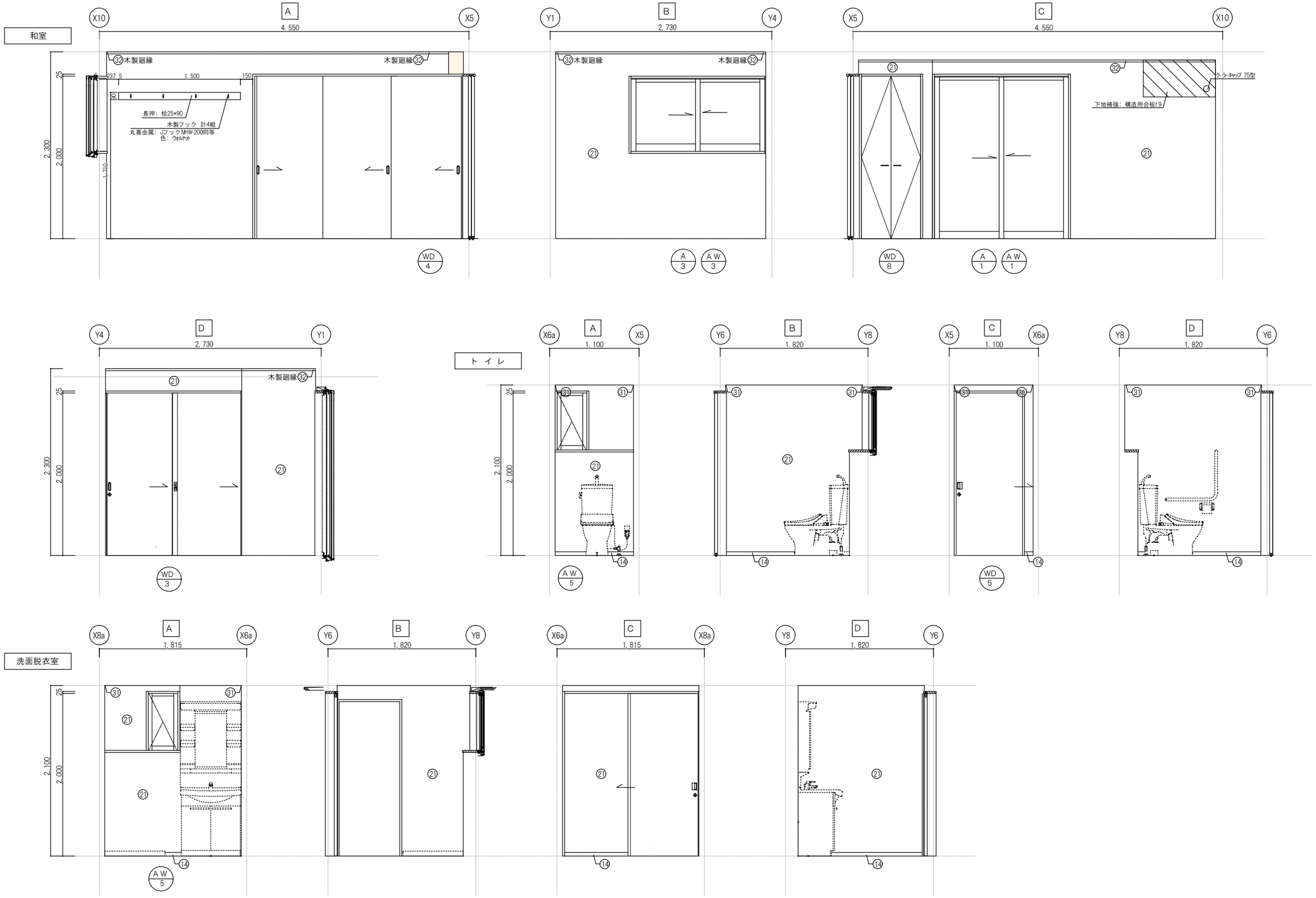
台所・居間





左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ	展開図-1	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE	A－24
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

平屋建てタイプ

展開図-2	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE	DATE	A－25
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.

小屋裏換気口判定表

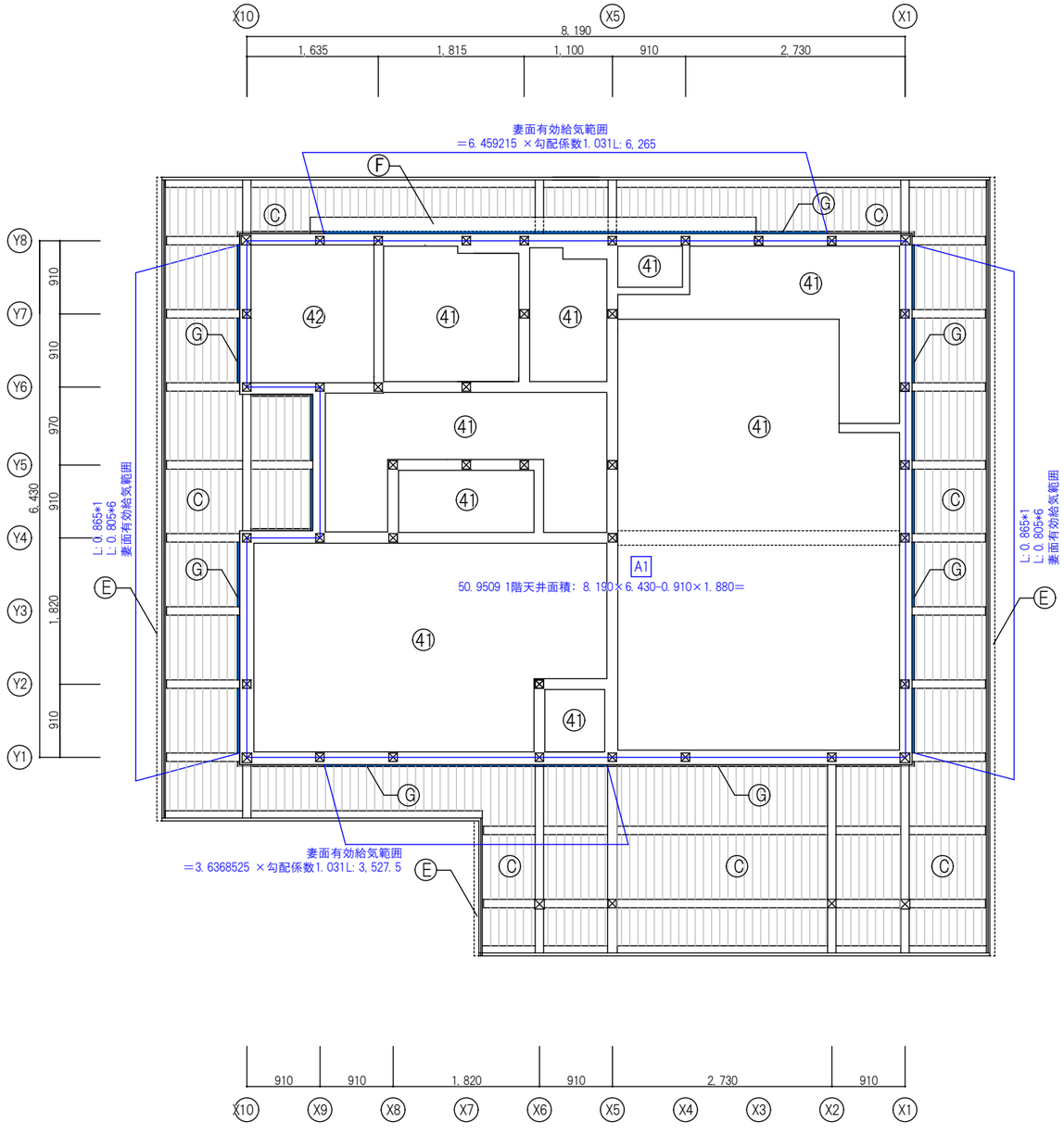
		換気種類	面積（cm2）	長さ（m）	単位開口面積（cm2/m）	数量	有効面積（cm2）	天井面積（cm2）	有効面積合計/天井面積	判定
A1	Ⓖ	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	12	315.8820	509509	702.59440725/509509 ＝0.00137896368	≧0.001111＝1/900 ＊OK
	Ⓖ	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	2	56.5710			
	Ⓖ	給気：壁通気見切り縁（妻面）	3.6368525		32.7	1	118.92507675			
	Ⓖ	給気：壁通気見切り縁（妻面）	6.459215		32.7	1	211.2163305			
		排気：棟換気口	2.988		120.0	1	358.56		358.56/509509 ＝0.000703	≧0.000625＝1/1600 ＊OK

外部仕上表

軒天	Ⓒ	化粧野地板 杉t15雇い実加工、構造用合板 t15捨張
樋	Ⓔ	カラーガルバニウム鋼板 半丸105程度・竪樋φ75
小庇（D=240）	Ⓕ	ガルバニウム鋼板t0.35 平葺き（色：銀黒つや消し）
		野地板 桧t35 WP塗
通気	Ⓖ	アルミ製通気見切り縁 21mm厚用（色：黒）

内部仕上表

天井	㊶	ビニルクロス張り
		下地：GB-R t12.5
	㊷	GB-R t12.5素地



1階　天井伏図　S: 1/50

左玄関PLAN（右玄関PLANを反転）

平屋建てタイプ	屋根伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所	DATE . .	DATE . .
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	CHECKED BY	DRAWN BY

A－26
SHEET NO.

建具工事特記仕様書

共通事項

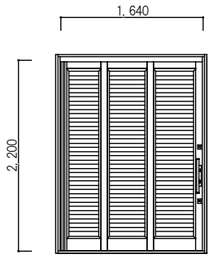
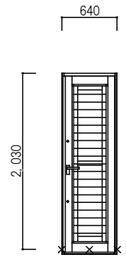
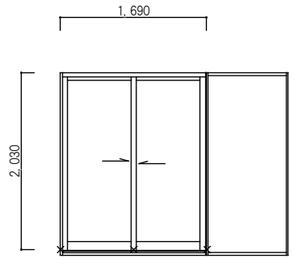
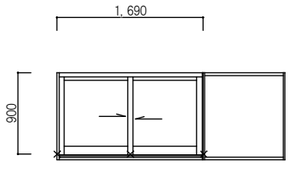
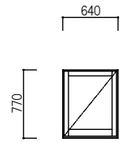
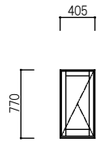
1） 制作に当たっては、前もって、担当者と打合わせの上行う事。
2） ガラス押えシールは外部建具をポリサルファイド系、
内部建具をシリコン系とする。
3） 金物は見本品提出の上決定する。
（程度については指定金物同等品以上とする。）
4） 網戸は特記なき限りＳＵＳ網張りとする。
5） アルミサッシと額縁等のチリ寸法については打ち合せを行う事。
6） 表面仕上材はF -★★★★認定品又は同等品を使用する事。
7） 表面仕上材の塗装はF -★★★★認定品を使用する事。
8） 上記以外の表面仕上材も含む。
（桧材等無垢材は高知県内産を優先して使用する事。合法木材にて）

木製建具

1） 木材の等級・含水率及び樹種
イ） 雨がかり部分の建具の框は柾目を使用すること。
ロ） 建具が雨がかりでなければ、12.1.7 による集成材を使用することができる。
ハ） 等級は一般共通事項16.7.1の表のC種とする。
但し、見付面が50mmを越える材では、建具材の日本農林規格第3条の節については、生節である限り見付面の1／3以下のもので互いに150mm以上隔ったものについてはその材全面についてないものと見なす。

2） 木製引違い扉の敷居溝には堅木（サクラ材厚6mm）を埋め込む事。

キープラン

符号	場所	数量	AD 1 玄関	1	AD 2 台所	1	AW 1 A 1 居間・和室	3	AW 3 A 3 和室	1	AW 4 台所	1	AW 5 トイレ・洗面脱衣室・浴室	3
			 熱貫流率：2.66W/(㎡・K)		 熱貫流率：2.91W/(㎡・K)		 熱貫流率：2.17W/(㎡・K)		 熱貫流率：2.17W/(㎡・K)		 熱貫流率：2.00W/(㎡・K)		 熱貫流率：2.00W/(㎡・K)	
呼称			16522		06020		16520		16509		06007		03607	
塗装														
硝子			型板複層ガラス LowE3+A12+FL4		型板複層ガラス LowE3+A12+FL4		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3		型板複層ガラス LowE3+A16+FL3		型板複層ガラス LowE3+A16+FL3	
構造形式			アルミ製　玄関引違戸（2枚連動）		アルミ樹脂複合サッシ 採風勝手口ドア		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違窓（鏡板無戸袋）		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違窓（鏡板無戸袋）		アルミ樹脂複合サッシ 辷り出し窓		アルミ樹脂複合サッシ 縦すべり出し窓	
金物			付属金物一式・バーハンドル（内外共）・アコーディオン網戸付		付属金物一式・横格子 シリンダー・サムターン錠　網戸付		付属金物一式 換気框（2か所）		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

左玄関PLAN（右玄関PLANを反転）
注）姿図は右玄関PLANにて作成

建具表-1

SCALE A2 1:50 A3 1:71

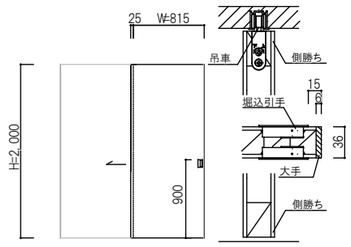
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号
株式会社　上田建築事務所
SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史

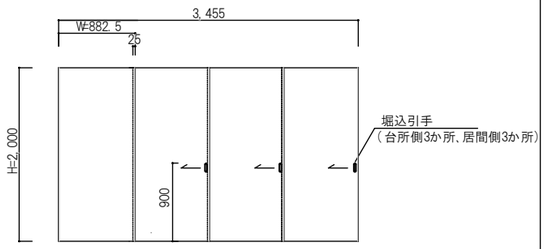
DATE　.　.　DATE　.　.
CHECKED BY　DRAWN BY

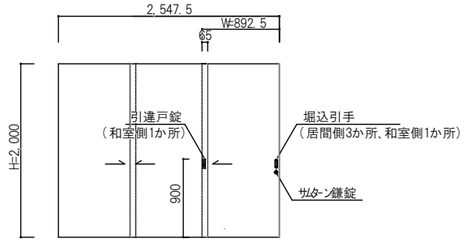
A－
SHEET NO.

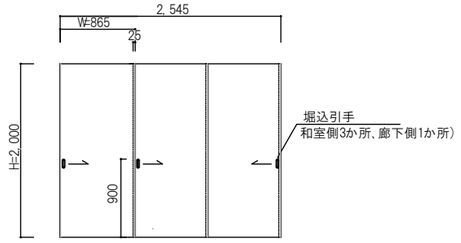
符号	場所	数量	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4
			台所⇔1階廊下	台所⇔居間	居間⇔和室	和室⇔1階廊下
			1	1	1	1



※収納時、引き残し 65

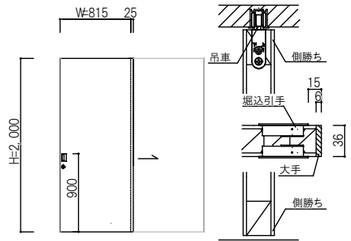




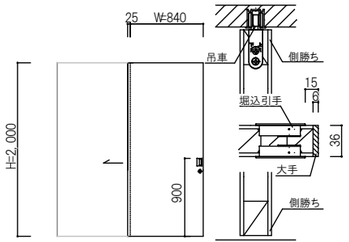


見込	36	30	30	30
塗装	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ
構造形式	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　片引き戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　4枚引違い戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　2枚引込み戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　片引き戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0
金物	堀込引手（参考： KAWAJUN PC-209） ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ（参考： ATOM AFD-130） 上部吊車（参考： ATOM AFD-770-B） 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： ATOM CD-1600） 下部ｶﾞｲﾄﾞ（参考： ATOM SD-400）	堀込引手（参考： KAWAJUN PK-900） 埋込Vﾚｰﾙ： 9mm 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： 丸喜金属ｽｰﾊﾟｰ-ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ-S-204） 戸車	引違戸錠： 堀込角引手付捻締（ 参考： BEST#500N-105） 堀込引手（参考： KAWAJUN PK-900） ｻﾑﾀｰﾝ鎌錠（参考： KAWAJUN KM-19 ） 埋込Vﾚｰﾙ： 9mm 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： 丸喜金属ｽｰﾊﾟｰ-ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ-S-204） 戸車	堀込引手（参考： KAWAJUN PK-900） 埋込Vﾚｰﾙ： 9mm 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： 丸喜金属ｽｰﾊﾟｰ-ﾌﾘｰｽﾄｯﾊﾟｰ-S-204） 戸車

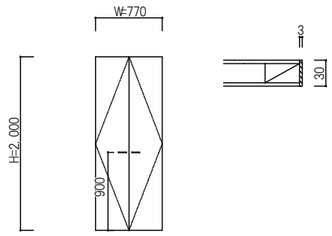
符号	場所	数量	WD 5	WD 6	WD 7
			1階廊下⇔トイレ	1階廊下⇔洗面脱衣室	物入1
			1	1	1



※収納時、引き残し 65



※収納時、引き残し 65



見込	36	36	30
塗装	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ
構造形式	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　片引き戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　片引き戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り t=6.0	木製ﾌﾗｯｼｭ戸　両開き戸 ﾎﾟﾘ合板（ 白）小口： 大手貼り
金物	堀込引手（参考： KAWAJUN PC-209） ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ（参考： ATOM AFD-130） 上部吊車（参考： ATOM AFD-770-B） 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： ATOM CD-1600） 下部ｶﾞｲﾄﾞ（参考： ATOM SD-400） ｻﾑﾀｰﾝ鎌錠（参考： KAWAJUN KM-19 表示錠） 明かり窓（参考：BI DOOR VP-15）	堀込引手（参考： KAWAJUN PC-209） ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ（参考： ATOM AFD-130） 上部吊車（参考： ATOM AFD-770-B） 上部ｽﾄｯﾊﾟｰ（参考： ATOM CD-1600） 下部ｶﾞｲﾄﾞ（参考： ATOM SD-400） ｻﾑﾀｰﾝ鎌錠（参考： KAWAJUN KM-19 ）	木製把手（参考： 丸喜金属 ﾀﾓ丸棒ﾊﾝﾄﾞﾙW-327ｻｲｽﾞ100） 吊元：ｽﾗｲﾄﾞ丁番

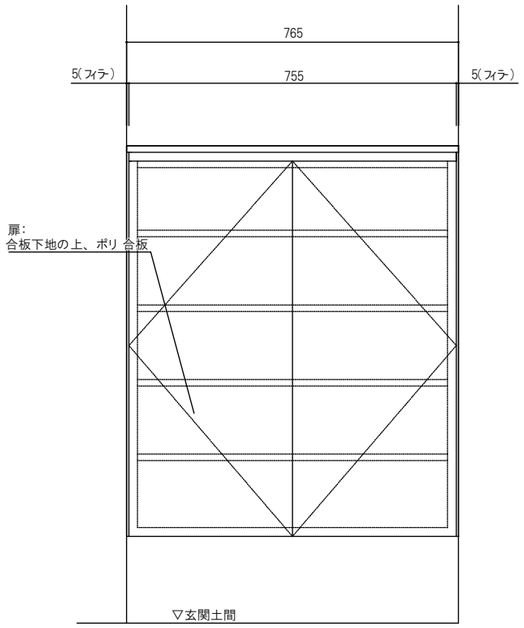
左玄関PLAN（ 右玄関PLANを反転）

注）姿図は右玄関PLANにて作成

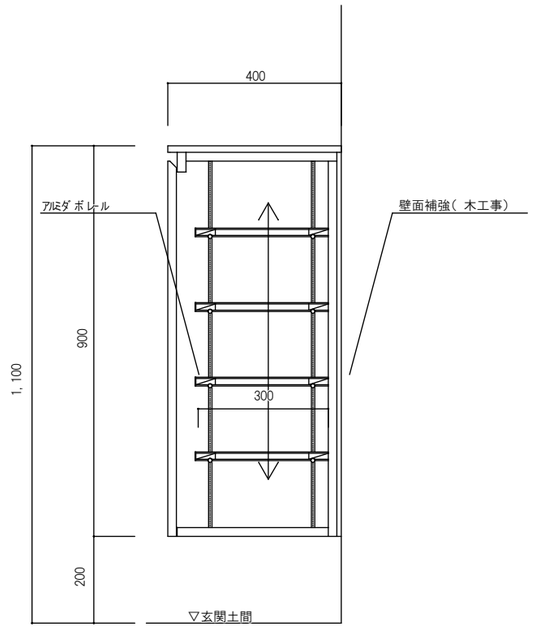
建具表-2	SCALE	A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所	DATE . .	DATE . .
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区			SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	CHECKED BY	DRAWN BY

A－
SHEET NO.

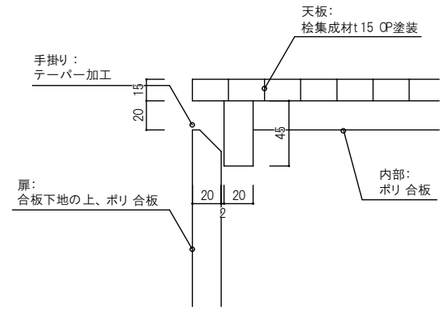
符号	場所	数量		
K-1			下足箱	1



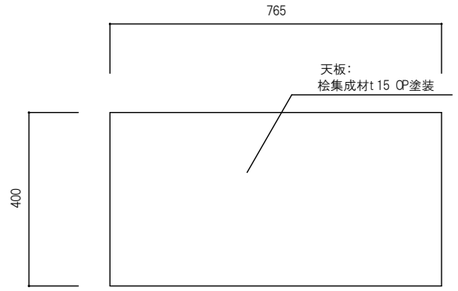
正　面　図



側　面　図



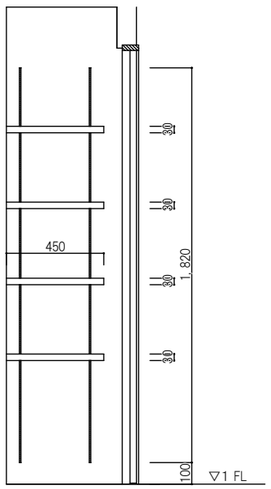
断面詳細図 S:1/3



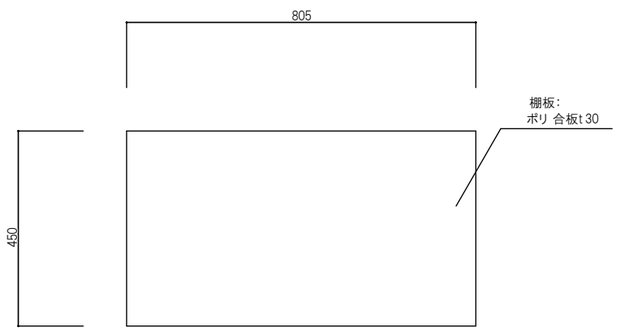
平　面　図

金物	吊元:ｽﾗｲﾄﾞ丁番 可動棚:ｱﾙﾐﾀﾞ ﾎﾟﾚｰﾙ

符号	場所	数量		
K-2			可動棚	1



側　面　図



平　面　図

金物	棚板材質: ﾎﾟﾘﾌﾗｯｼｭ合板t=4.0 棚柱:L1,820×4本 棚受共 ACE棚柱SP-1820WT同等

左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

注) 姿図は右玄関PLANにて作成

家具図	SCALE A2 1:10 A3 1:14	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE . .	DATE R4. 03. 24	A－29
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.

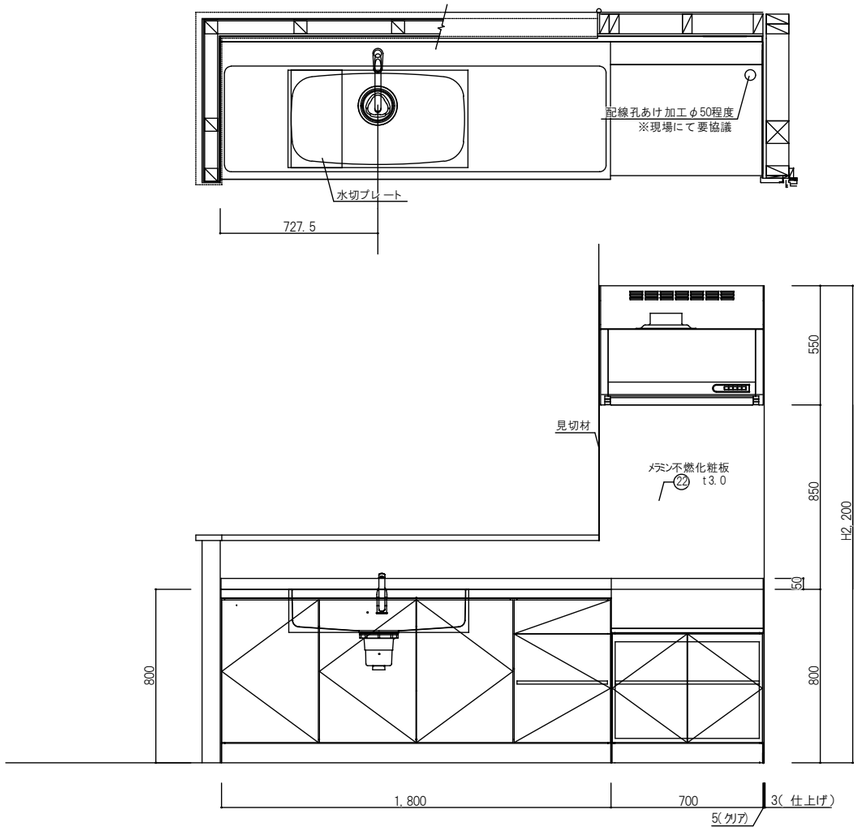
<M型-BL>【 参考】

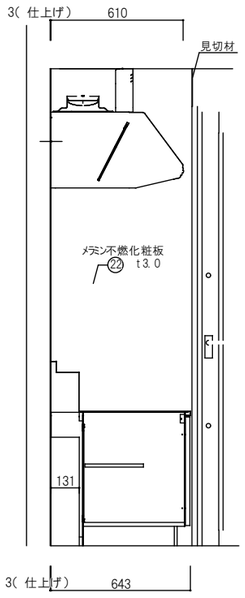
品名	仕様	F ☆☆☆☆ 仕様
天板	材質	SUS430
ワークトップ	シンク種類	Yシンク SUS443J1
下台	扉	特殊化粧シート 貼パーティクルボード 扉
	丁番	スライド 丁番(標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート 巻材
	底板	化粧板(本体同色)
	部品	1 段引出(木製)
	包丁差し	ＤＸＮ包丁差し
	側面板	SUS430
レンジフード	機種	VUS-BL
	風量	標準¥U+FF80¥U+FF72¥U+FF8C¥U+FF9F
	排気仕様	排気風圧
	プラグ形状	2極接地型
加熱機器	加熱機器	(別途)
水栓	水栓種類	ＫＸＳ８７１Ｊ－１－Ｔ (逆止弁は付属していません)
シーリング		(建築工事)
仕様確認項目	扉の色	未定
	扉種類	M型扉
	本体の色	ホワイト　ＴＷ色
	本体の前木口色	※見え掛かり部本体同色
	巾木の色	ダークブラウン(Ｎｏ．５３色)
	引手	GN 引手
	フード 前面パネルの色	未定
シンク小物		水切りプレート SF

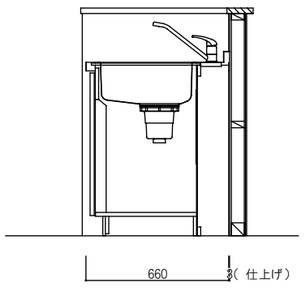
設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事(止水栓別途)
	排水配管及び排水トラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット点検口蓋取付(復旧) 工事
	ガス配管及びガス管用コック取付工事(コックは付属していません)
	ダクト工事及びレンジフード接続工事(最終エルボはフード施工後に取り付けて下さい)
	最終まで固定されますとアタッチメントが取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	コンロ台天板孔あけ加工工事
	レンジフード取付用下地の造作取付工事
	建築との取り合い工事
電気工事	レンジフード用電源及びコンセント取付工事

コンセント(電気工事)

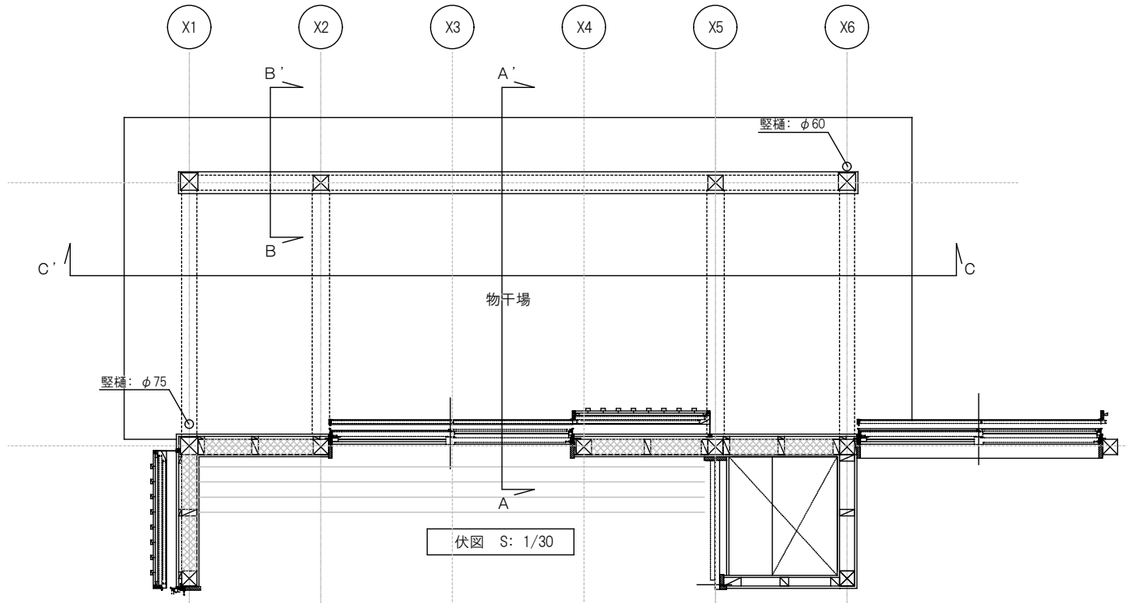
レンジフード	Ⓤ 2 極接地型コンセント



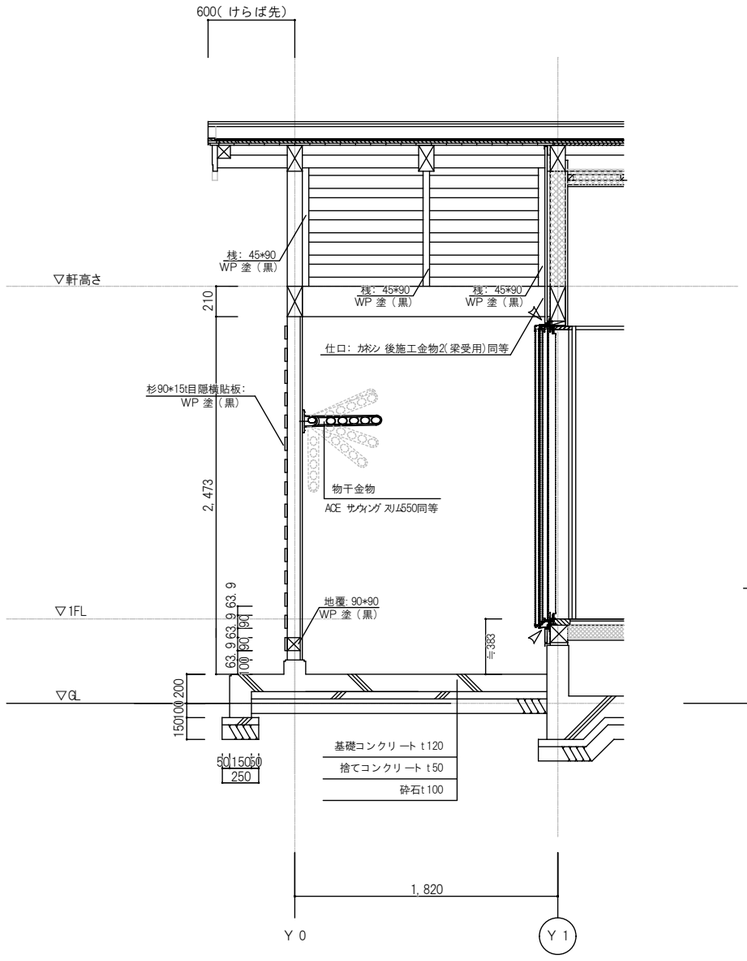




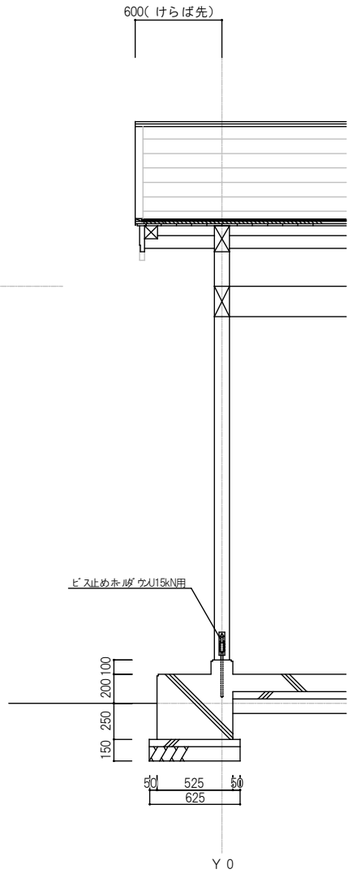
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転) 注) 姿図は右玄関PLANにて作成	キッチン詳細図	SCALE A2 1:10 A3 1:14	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . .	DATE . .	A－30
	SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 B 工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.



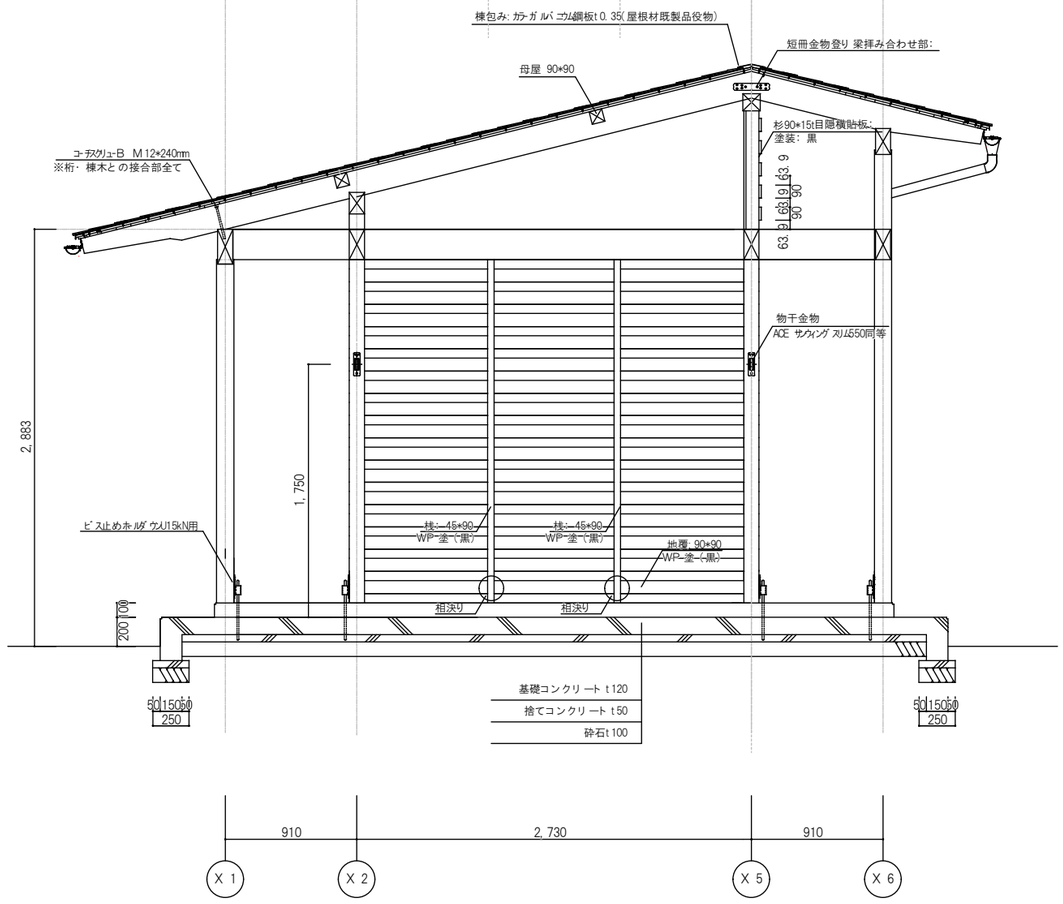
伏図 S: 1/30



A-A'断面図 S: 1/30



B-B'断面図 S: 1/30



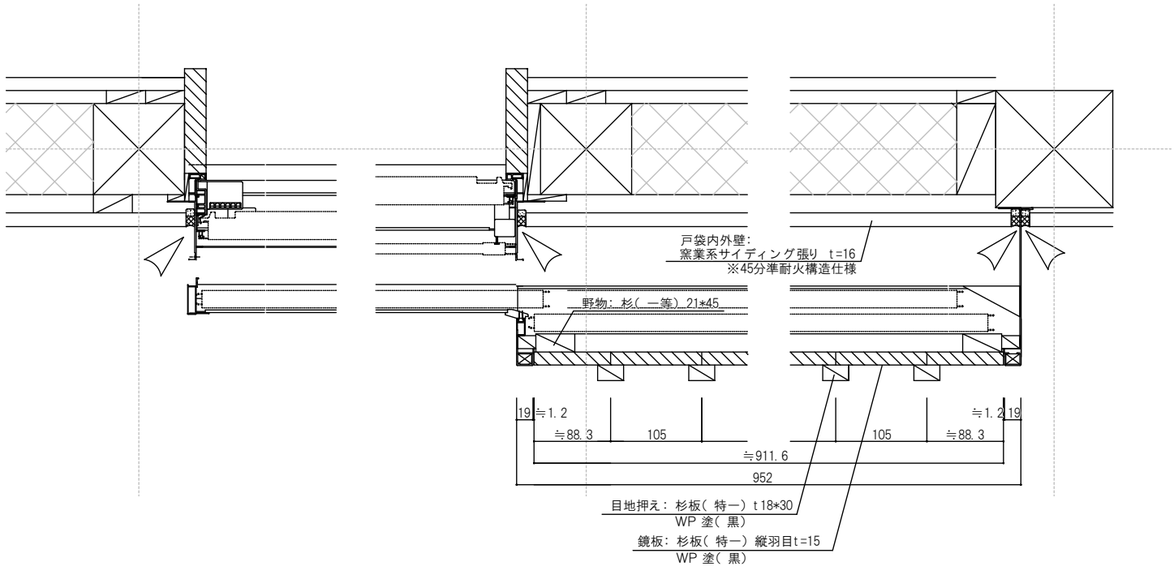
C-C'断面図 S: 1/30

左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

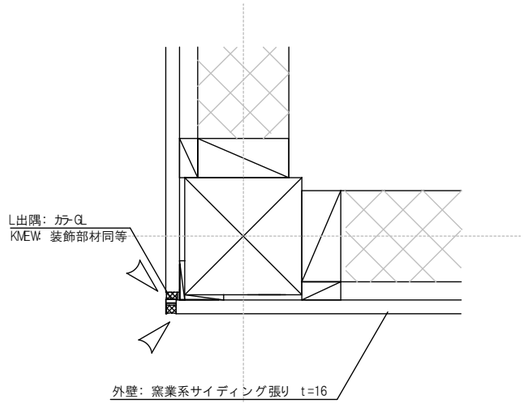
平屋建てタイプ	物干場詳細図	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . .	DATE . .
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 B工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY

A-31
SHEET NO.

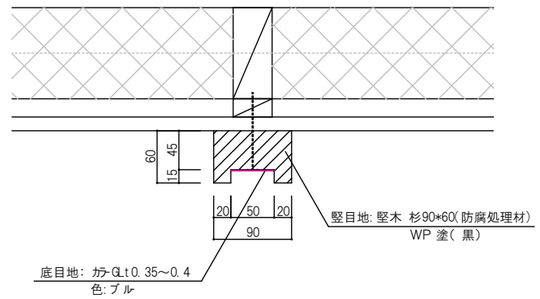
アルミサッシ 雨戸戸袋詳細図　S=1/5



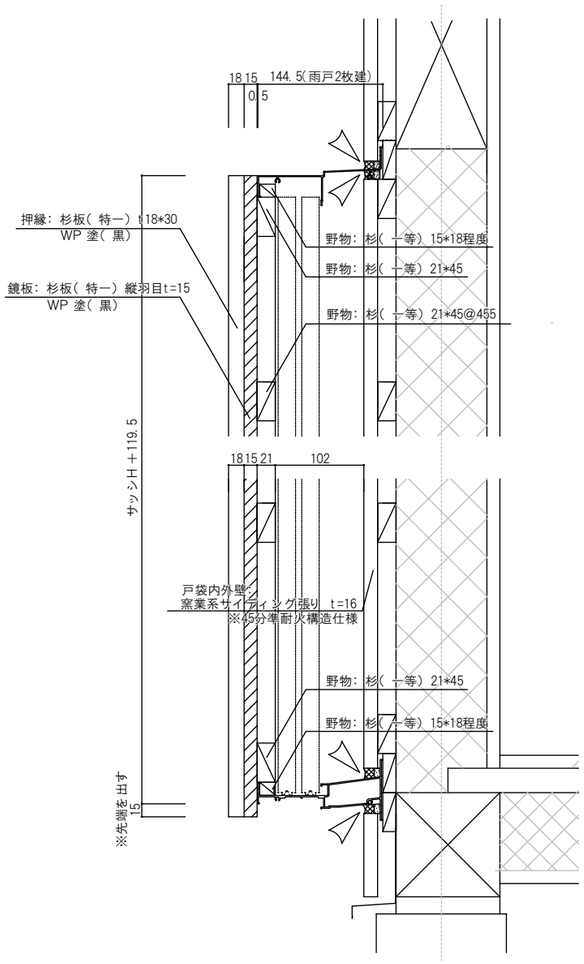
外壁出隅詳細図　S=1/5



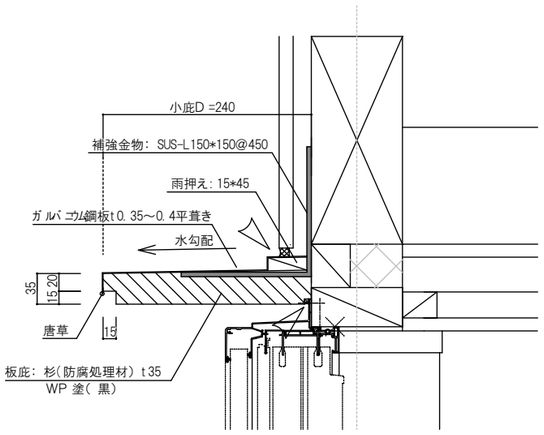
竪目地詳細図　S=1/5



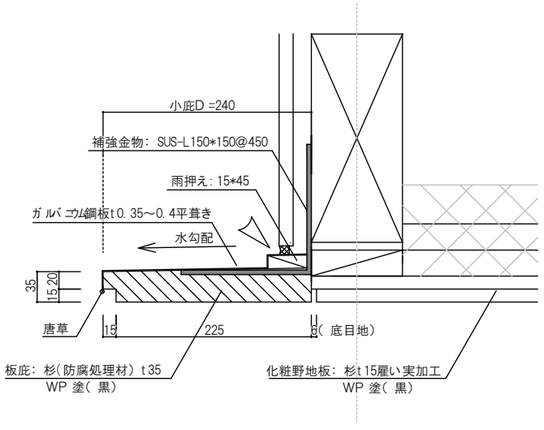
アルミサッシ 雨戸戸袋断面詳細図　S=1/5

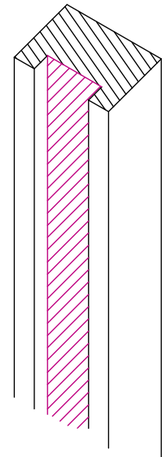


小庇断面詳細図　S=1/5



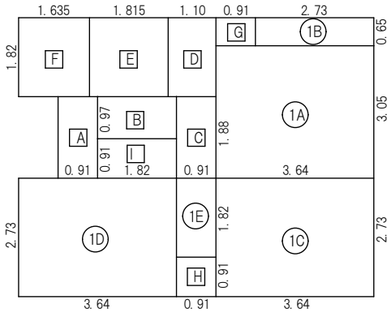
小庇(玄関ポーチ) 断面詳細図　S=1/5





イメージ図

2階建てタイプ	部分詳細図	SCALE A2 1:5 A3 1:7	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . .	DATE . .	A－32
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.



1 階			
室 名	居 室	記 号	計 算 式
台所	○	1A 1B 計	3.05×3.64＝11.102 0.65×2.73＝1.7745 ＝12.8765…①
居間	○	1C	2.73×3.64＝9.9372…②
和室 (特定寝室)	○	1D 1E 計	2.73×3.64＝9.9372 1.82×0.91＝1.6562 ＝11.5934…③
玄関･廊下		A B C 計	1.88×0.91＝1.7108 0.97×1.82＝1.7654 1.88×0.91＝1.7108 ＝5.187
ﾄｲﾚ		D	1.82×1.10＝2.002
洗面･脱衣室		E	1.82×1.815＝3.3033
浴室		F	1.82×1.635＝2.9757
物入1		G	0.65×0.91＝0.5915
物入2		H	0.91×0.91＝0.8281
押入		I	0.91×1.82＝1.6562
延床面積			50.9509㎡ 50.95 ㎡
居室床面積 ①+②+③			34.4071㎡ 34.40 ㎡

1階

室名	床面積		必要面積(㎡)	有効面積(㎡)	判定
台所･居間	22.81㎡	採光	22.81×1/7＝3.25	(2.03×0.64)+(0.77×0.64) +(2.03×1.69)×2 ＝8.65	OK
		換気	22.81×1/20＝1.14	(2.03×0.64)×1/1 +(0.77×0.64)×1/1 {(2.03×1.69)×2}×1/2 ＝5.22	OK
和室	11.59㎡	採光	11.59×1/7＝1.65	(2.03×1.69)+(1.10×1.69) ＝5.28	OK
		換気	11.59×1/20＝0.57	(2.03×1.69)×1/2 +(1.10×1.69)×1/2 ＝2.64	OK

採光計算一覧表

用途地域	α	β	D(m)
商業地域・用途無指定区域	10	1	

(仮称)浜松改良住宅R4-1

室名	床面積(㎡) ①	割合 ②	建具 記号	W(m)	H(m)	開口面積(㎡) ③	中心高(m) ④(GL+)	遮蔽物 名称	高さ(m) ⑤(GL+)	垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅(m)	採光補正係数 A=d/h×α-β 計算値	縁側	天窓	採用値 A	採光有効 面積(㎡) ③×A	採光有効 面積(㎡) 合計		必要面積 (㎡) ①×②	判定
台所･居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.686	—	5.299570	—	—	3.00	1.03	23.98	＞	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	0.110	—	0.806845	—	—	0.80	2.37				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.686	—	5.299570	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	3.477	—	17.984482	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.565	1.967	5.434	—	24.863243	—	—	3.00	10.29	14.85	＞	1.65	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	1.933	1階屋根	2.763	0.830	1.811	—	19.637349	—	—	3.00	4.56				

特 記 仕 様 書　（ 木 工 事 ）　軸 組 工 法

一般事項

本工事における構造の骨組（ 架構体）, 下地骨組, 造作, 仕上げの木工事に適用する。

特記事項は　 卿の付いたものを適用する。

木材の品質

1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格（ ＪＡＳ ）の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとする。

2. 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のＪＡＳに適合したものまたは製材のＪＡＳで定める１等以上とする。

3. 見掛かり の造作用柱, 板用製材の品質は、製材のＪＡＳで定める上小節以上のものとし, 心持材の場合は背割り を行ったものと する。

4. 目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りＪＡＳによる。

甲種構造材（ 構造用Ⅰ）	甲種構造材（ 構造用Ⅱ）	乙種構造材
（ 短辺が9cm未満の横物）	（ 短辺が9cm以上の横物）	（ 柱材など）
□ 一級　□ 二級　□ 三級	□ 一級　□ 二級　□ 三級	□ 一級　□ 二級　□ 三級

５． 仕口を固める楔, 栓は堅木とする。又雇い材は骨組材と同材以上または堅木と する。

６． 構造用に用いる集成材は、構造用集成材のＪＡＳに適合若しは化粧ばり 集成材のＪＡＳに適合するもの

又はこれらと 同等以上の性能を有するものとする。

□ 構造部材は一部、集成材を 使用する。梁（ E105-F300）　　梁（ E120-F330）

７． 各種ボード 類

（１）合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のＪＡＳに適合するもの又はこ れらと 同等以上の性能を有するものとする。

（２）構造用パネルの品質は、構造用パネルのＪＡＳに適合するもの又はこれらと 同等以上の性能を有するものとする。

（３）ハード ボード 、硬質木片セメント 板、シージングボード 、石膏ボード 、及びラスシート の品質は

それぞれの日本工業規格（ ＪＩ Ｓ ）に適合するもの又はこれらと 同等以上の性能を有するものと する。

（４）パーティクルボード 、ＭＤＦ（ ミディアム・ デンシティ・ ファイバーボード ）の品質は

それぞれの日本工業規格（ ＪＩ Ｓ ）に適合するもの又はこれらと 同等以上の性能を有するものとする。

乾 燥

１． 木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。

２． 針葉樹材についてはＪＡＳ 区分に準じ 、以下の通り とする。

□ 乾燥材 Ｄ２５　　■ 乾燥材 Ｄ２０　　□ 乾燥材 Ｄ１５

※ 特記なき 場合は乾燥材Ｄ２５（ 含水率２５％以下）とする。

３． 天然乾燥材については、乾燥材Ｄ２５（ 含水率２５％）を目標とし 、係員の承諾を 得る。

指定寸法

１． 木材の寸法については、ＪＡＳに準じ て、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。

	ＪＡＳによる乾燥材		未乾燥材		
材の短辺及び長辺	９０㎜以上	９０㎜未満	９０㎜以上	３６㎜以上９０㎜未満	３６㎜未満
表示寸法と 許容誤差	±１．５㎜	±１．０㎜	＋３．０～０㎜	＋２．０～０㎜	＋１．０～０㎜

材料検査

１． 構造材については、係員の検査を受けた後施工するものとする。

２． その他の材についてはその都度係員の承諾を 得るものとする。

諸金物

土台と 基礎や軸組相互の端部などの構造耐力上主要な部分である継手・ 仕口などは接合金物等を使用し 効率よく 緊結する。

接合金物は品質及び耐力等の性能が明ら かで良質なものを選択する。（ Ｚマーク 表示金物）及びＺ マーク 表示金物同等認定品以上と する。

防腐、防虫処理

１． 防腐剤は、ＪＩ ＳＫ２４３９（ クレ オソート 油、加工タール・ タールピッチ）によるクレ オソート 油と する。

２． 外部下地板等の面は地盤面より 高さ１．０ｍまでと 、台所、浴室等、湿気のある 場所の軸組

及び下地材が木質の場合も 防腐剤塗と する。

３． <u>辺材が含まれる木材は、どの樹種においても、防腐・ 防蟻措置を行うこと が望ましい。</u>

４. <u>土台に接する外壁の下端には水切り を設ける。</u>

防蟻処理

□ 行わない　　■ 行なう（　　）

部　位

土　台

材　種

■ ひのき　□ ひば　□ くり　□ べいひば　□ こうやまき

□ 保存処理製材　□ 土台用加圧式防腐処理木材　□その他（米ト ガ　　）

工　法１，断面寸法は柱と 同じ 寸法以上とし１０５㎜×１０５㎜を 標準と する。

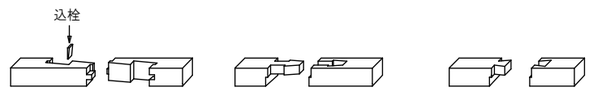
ただし、多雪区域内（「 建築基準法施行令第８６ 条第2 項ただし 書の規定より 特定行政庁が指定する 区域」以下同じ ）においては

１０５㎜×１０５㎜以上とする。

２，継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。

仕　口　□ 襟輪小根柄差し　□ 片蟻掛け　■ 大入れ蟻掛け　□ 大入れ柄差し　□ その他（　　）

継　手　□ 金輪継ぎ　■ 腰掛鎌継ぎ　□ 腰掛あり 継ぎ　□ その他（　　）



火打土台

材 種

□ ひのき　□ べいまつ　□ ひば　□ べいひば　□ べいつが

□ 火打金物　□ すぎ

工　法 火打土台は次のいずれかによる。

1. 木材の火打土台と する 場合は、次による。

イ. 断面寸法は45mm× 90mm以上と する。

2. 鋼製火打と する 場合は、特記による。

3. 火打土台を省略する 場合は、下記による。

イ. 床下地板の品質は、構造用合板のＪＡＳに適合するもので種類は1類とし 厚さ 12mm以上、パーティクルボード の

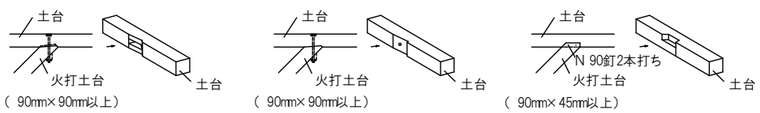
ＪＩ Ｓに適合するもので種類は13P または13M 以上とし 厚さ 15mm以上、又は構造用パネルのＪＡＳに適合するものとする。

ロ. 床下地板の張り 方は、床下地板の長手方向を 根太と 直交さ せ、且つ千鳥張りと し 土台及び大引に20mm以上のせて釘打ちと する。

床下地板は根太等の受け 材上で突付継ぎと する。

ハ. 床下地材の釘打ちは床下地材の4周辺をＮ 50釘を 用い 釘打ち 間隔150mm以下で、根太、大引、土台及び受け 材に 平打ちし て固定する。

仕　口　□ 傾ぎ大入れほぞ差し（ 90mm× 90mm以上）　□ 傾ぎ胴付きホルト 締め（ 90mm× 90mm以上）　□ 傾ぎ入れ（ 90mm× 45mm以上）



木造特記仕様書-1	SCALE　-	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE　.　.	DATE　.　.	B －01
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区		株 式 会 社　上　田　建　築　事　務　所	CHECKED　BY	DRAWN　BY	SHEET　NO.
		SUBM TTED　BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史			

特記仕様書　（木工事）　軸組工法

部位	

床組

大引

材　種

■ ひのき　□ ひば　□ べいまつ　□ べいつが　□ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　□ からまつ

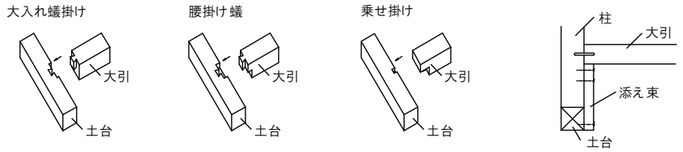
□ その他（　集成材　）

工　法　1，断面寸法は105mm×105mmを標準とする。

2，継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N 75釘2本打ちとする。

仕　口　□　□　□　□　□　□

大入れ蟻掛け　腰掛け蟻　乗せ掛け　その他



註 上記仕口はいずれもN 75釘2本斜め打ちとする。

継　手　□　□　□

腰掛あり継ぎ　相欠き継ぎ　その他

床束

材　種

□ ひのき　□ ひば　□ べいまつ　□ べいつが　□ すぎ　□ あかまつ　□ からまつ　□ べいつが

■ 鋼製束　□ 合成樹脂製束

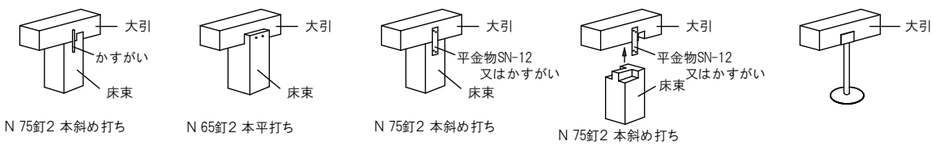
工　法　1，断面寸法は90mm×90mmを標準とする。

2，継手は、上部仕口は、補強金物にて緊結する。

3．鋼製・合成樹脂製等の束とする場合は、各製造所の仕様による。

仕　口　□　□　□　□　■

道切りほぞ差し　びんた延ばし　突付け　目違いほぞ差し　鋼製束



N 75釘2 本斜め打ち　N 65釘2 本平打ち　N 75釘2 本斜め打ち　N 75釘2 本斜め打ち

根太

材　種

□ ひのき　□ べいまつ　□ べいつが　□ あかまつ　□ くろまつ　□ アピトン　□ その他（　集成材　）

□ すぎ

工　法　1，断面寸法は45mm×55mmを標準とする。

ただし、2階床の床梁間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2階梁間隔又は1階大引間隔がそれぞれ1.800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を標準とする。

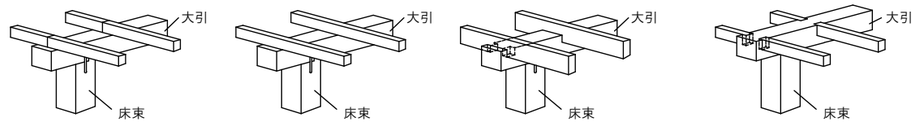
2，根太間隔は、畳床の場合は450mm内外とし、その他の場合は300mm内外とする。

部位	

根太掛け

継　手　□　□　□　□

突付け継ぎ　置き渡し　渡あご掛け　大入れ落しこみ



N 90釘2 本平打ち　N 75釘2 本斜め打ち　N 75釘2 本斜め打ち　N 75釘2 本斜め打ち

□

根太受け金物

材　種

□ ひのき　□ べいまつ　□ べいつが　□ あかまつ　□ くろまつ　□ からまつ　□ その他（　　）

工　法　1，断面寸法は30mm×90mmを標準とする。

2，継手は、柱芯で突付け継ぎとし、N 75釘2本を平打ちとする。

3，留めつけは、柱，間柱当たりにN 75釘2 本を平打ちする。

柱

材　種（見えがかり）

□ ひのき　□ すぎ　□ べいつが　□ 化粧貼構造用集成材　□

（見え隠れ）

■ ひのき　□ べいつが　□ すぎ　□ 構造用積層材　通柱（E120. F375）強度等級　管柱（E95. F315）強度等級　ほぞ寸法は、（35mm×85mm）とする。

工　法　1，柱の断面寸法は105mm×105mmを標準とする。

2，通し柱の断面寸法は、120mm×120mmを標準とする。

3，階数が2以上の住宅における通し柱の断面寸法は、135mm×135mmとする。

4，隅柱（出隅、入隅）の断面寸法は、105mm×105mmとする。

5，横架材との仕口は、特記なき限り上下とも長柄差し込み栓打ちとする。

6，隅柱の下部は、特記なき限り短ほぞ差しとし、かど金物（CP・L）当て釘打ちとする。

7，筋かいの下端部が取り付く柱と横架材との仕口は柱の上下とも長ほぞ差しとし、込み栓打ちとする。

8，隅柱と土台との仕口は特記による。ただし、筋かいの取付隅柱については別に特記する。

9，上記5～8は、プレカット標準加工とする。

間柱

材　種

■ すぎ　□ ひのき　□ べいまつ　□ べいつが　□ くろまつ　□ からまつ　□ あかまつ　□ その他（　WWKD　）

工　法　1，横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN 75釘2本を斜め打ちする。

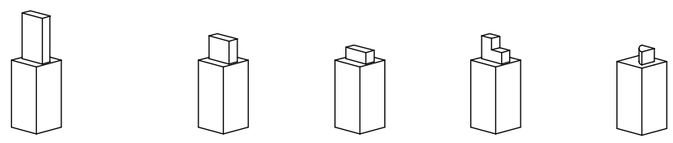
上下とも大入れ、N 75釘を斜め打ちする。

2，筋かい当たりは、間柱を欠き、N 75釘2本を平打ちする。

3，通し貫当たりは、添付てN 65釘2本を平打ちする。

仕　口

□　■　□　□　□　□



認定仕口金物

長ほぞ　平ほぞ　短ほぞ　小根ほぞ　扇ほぞ

木造特記仕様書-2	SCALE　-	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE　.　.	DATE　.　.	B－02
SUBJECT　令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区		株式会社　上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史			

特 記 仕 様 書　（ 木 工 事 ）　軸 組 工 法

部 位	

2階床梁　胴 差　け た

材 種

☐ べいまつ　☐ べいつが　☐ くろまつ　☐ からまつ　☐ くろまつ　☐ あかまつ　☐ つが

☐対称異等級構成集成材(E105F300.)強度等級　▣ ひのき　☐すぎ

工 法

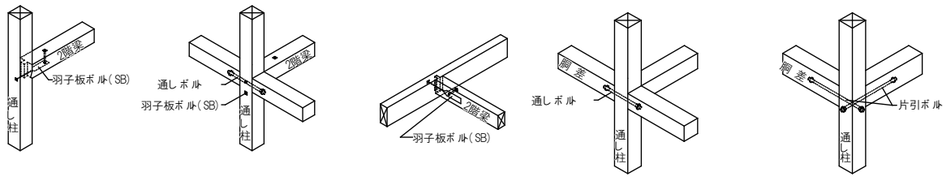
1, 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なもの特記する。

2, 継手は梁及び筋違いを受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。

3, 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。

4, 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。

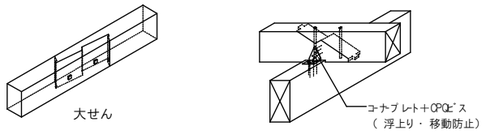
仕 口



T 字 仕 口　（A）　（B）

（かたぎ大入れ短ほぞ差し）

継 手



（追掛大せん継ぎ）　2階ばり 継手(台持継ぎ)

（洋　風）

火打梁

材 種

☐ べいまつ　☐ べいつが　☐ くろまつ　☐ すぎ　☐ あかまつ　☐ ひのき

▣ 火打金物

工　法　火打梁は次のいずれかによる。

1. 木材の火打梁とする場合は、次による。

イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。

ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。

但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし

いずれも六角ボルト締めとする。

2. 鋼製火打とする場合は、特記による。

3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。

筋かい　耐力壁

材　種

▣ ひのき　☐ すぎ　構造用合板9.0mm以上　☐ 構造用パネル　☐ パーティクルボード 12mm以上　☐ ハード ボード 5mm以上

☐ その他 （ 石膏ボード ）

筋かいによる耐力壁

木造筋かい　1. 断面寸法は45mm× 90mm以上とする。

2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示１４６０号に適合した方法とする。

3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。

部　位	

大壁造の面材耐力壁

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。

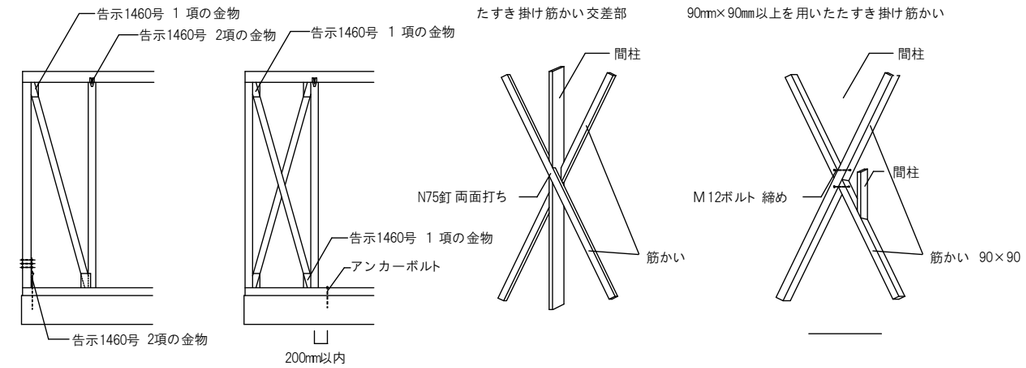
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り　告示１４６０号による金物等により補強する。

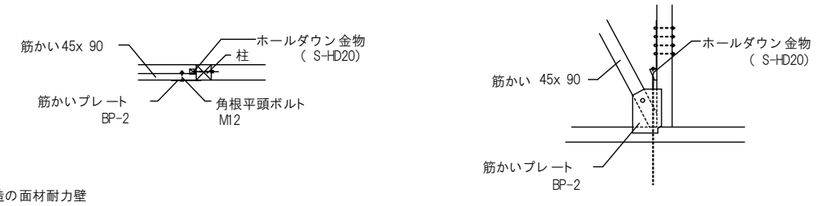
3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁，柱等以外で継ぐ場合は、断面は４５mm× １００mm以上とする。

4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、　「１類」は室内に使用する。

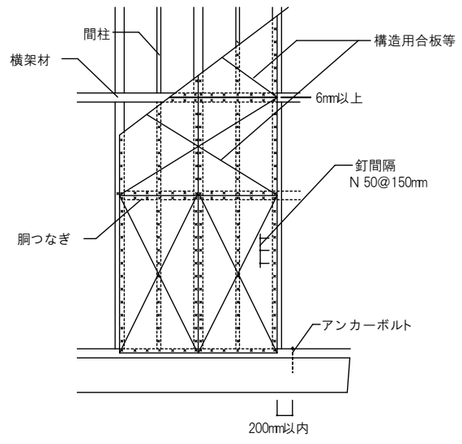
5. 1 階及び2 階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、６mm以上のあきを設ける。

筋かいによる耐力壁





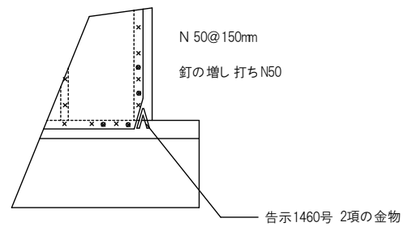
大壁造の面材耐力壁



大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて

山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は

下図のように近傍に釘の増し打ちをする。



木造特記仕様書-3	SCALE -	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE . .	DATE . .	B －03
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C 工区		株 式 会 社　上 田 建 築 事 務 所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBM TTED BY　一級建築士登録 第 312929号　上田 博史			

特 記 仕 様 書　（ 木 工 事 ）　軸 組 工 法

部　位		部　位	

耐力壁

真壁造の面材耐力壁

1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1897号に適合していることを確認する。
2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り　告示１４６０号による金物等により補強する。
3. 構造用面材のホルムアルデヒト゛の発散量に関する品質については、特記による。

（ 受材タイプ）

1. 受材は30mm× 40mm以上とする。
2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30c m以下の間隔で平打ちとする。
3. 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。
4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mm× 65mm以上とする。

（ 貫タイプ）

1. 貫は15mm× 90mm以上とする。
2. 貫は5本以上設ける。
3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、その他の貫の間隔は61cm以下とする。
4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。
5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。
6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。
7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。
8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。

接合金物

筋かい端部の接合 （告示　１４６０号1 項）

イ. 径9 mmの鉄筋　　柱又は、横架材（ 柱や土台）貫通し、三角座金を介してナット締め、　　鋼板添え板を用い柱又は横架材にＪＩＳ規定鉄丸釘ＣＮ９０を8 本以上打ち付けたもの。

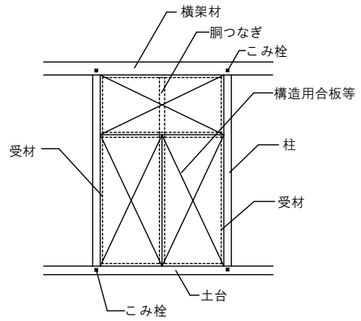
ロ. 1. 5 cm×9 cmの木材の筋かい　　柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にＪＩＳ規定鉄丸釘Ｎ６５を5 本以上平打ちしたもの。

ハ. 3 cm×9 cmの木材の筋かい　　厚さ１．６mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径１２mm以上のボルト及び釘3 本平打ち、柱に対して釘3 本平打ち、横架材に対して釘4 本平打ちしたもの。

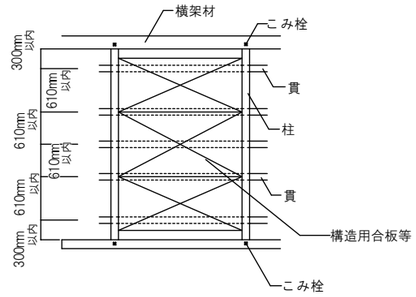
㊁ 4. 5 cm×9 cmの木材の筋かい　　厚さ２. 3 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径１２mm以上のボルト及び長さ５０mm以上のスクリュー釘7 本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ５０mm径４５mm以上のスクリュー釘5 本平打ちしたもの。

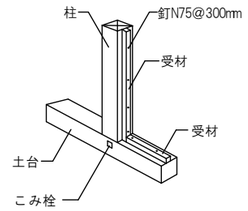
ホ. 9 cm×9 cmの木材の筋かい　　柱又は横架材に、ＪＩＳ強度区分4. 6の径１２mmのボルトを用いて一面せん断接合とすること。

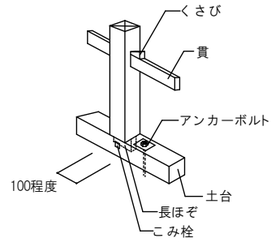
（ 受材タイプ）

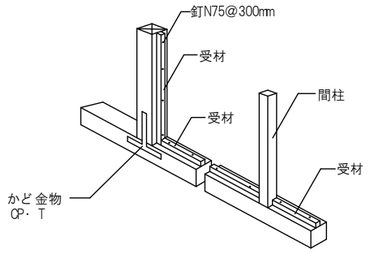


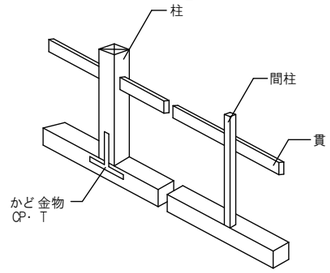
（ 貫タイプ）

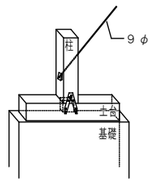




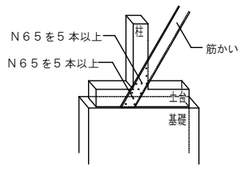




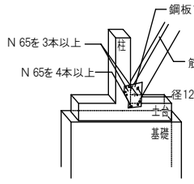




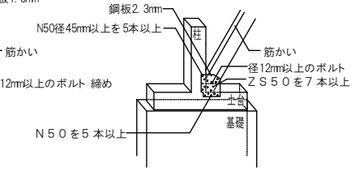
㋑



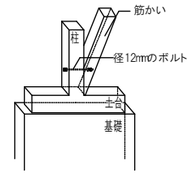
㋺



㋩



㋥



㋭

特 記 仕 様 書　（ 木 工 事 ）　軸 組 工 法

部　位

接合金物

接合金物使用条件

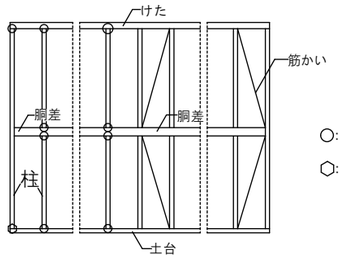
接合金物の取付・施工は、平成１２年建設省告示代１４６０号を順守し施工する。

接合金物は、Ｚマーク表示金物、又はＺマーク表示金物同等認定品とする。

筋かい接合金物は、建設省告示１４６０号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し最良のものを使用する。

柱と横架材

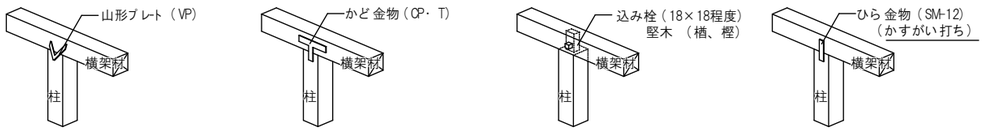
仕口の分類（筋かいが取り付かない柱の場合）



○: 筋かいの取り付かない柱と横架材の仕口位置

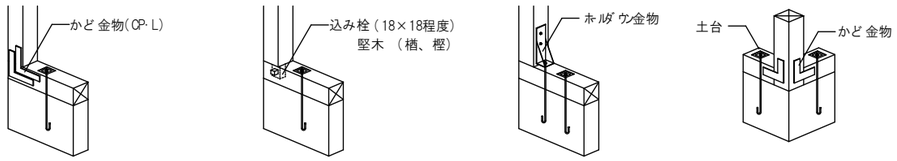
⬡: 筋かいの取り付かない隅柱と横架材の仕口位置

柱の端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）



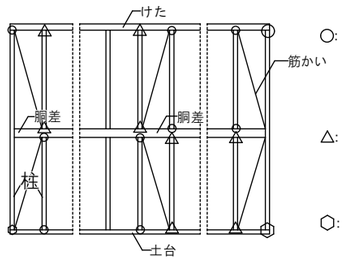
イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち　ロ．短柱ほぞ差しかど金物　当て釘打ち　ハ．長ほぞ差し込みせん打ち　ニ．短柱ほぞ差しひら金物　当て釘打ち

隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）



イ．短ほぞ差しかど金物　２枚当て釘打ち　ロ．長ほぞ差し込み　せん釘打ち　ハ．ホールダウン金物による緊結　ニ．落としありかど金物２枚　当て釘打ち

仕口の分類（筋かいが取り付く柱の場合）



○: 筋かいの上端部が取り付く柱と横架材の仕口位置

△: 筋かいの下端部が取り付く柱と横架材の仕口位置

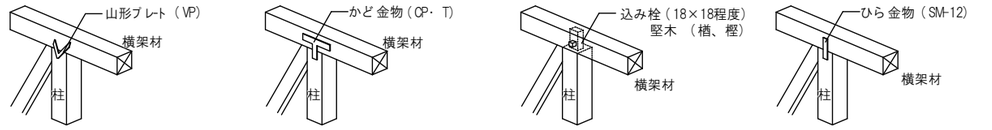
⬡: 筋かいの取り付く隅柱と土台の仕口位置

１階管柱と２階の柱の緊結

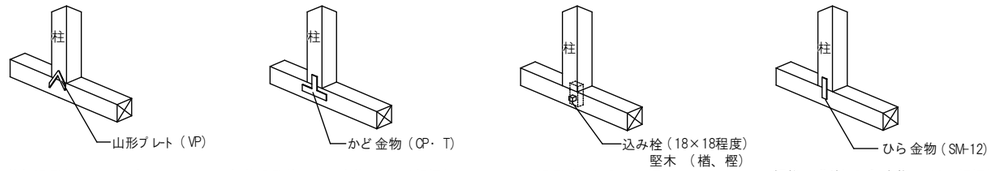
外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力が大きい２階の柱は、１階の管柱と接合金物（ホールドダウン金物）で緊結する。

部　位

柱の両端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）

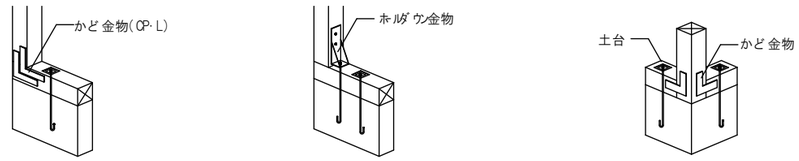


イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち　ロ．短柱ほぞ差しかど金物　当て釘打ち　ハ．長ほぞ差し込みせん打ち　ニ．短柱ほぞ差しひら金物　当て釘打ち



イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち　ロ．短柱ほぞ差しかど金物　当て釘打ち　ハ．長ほぞ差し込みせん打ち　ニ．短柱ほぞ差しひら金物　当て釘打ち

隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）

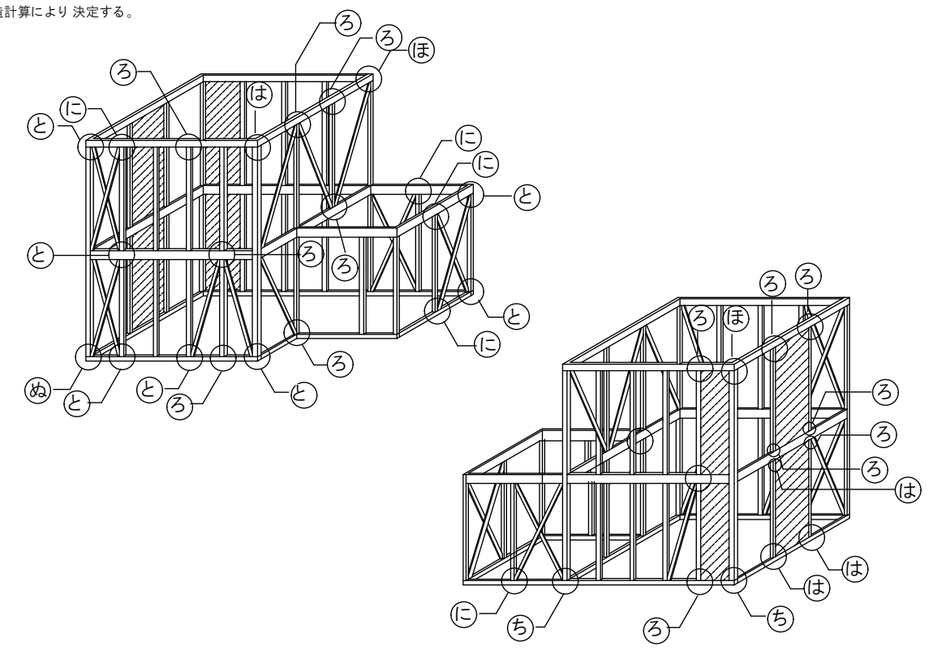


イ．短ほぞ差しかど金物　２枚当て釘打ち　ロ．ホールダウン金物による緊結　ハ．落としありかど金物２枚　当て釘打ち

接合金物

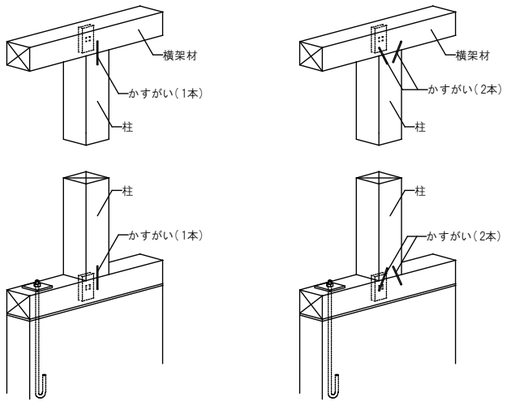
柱頭・柱脚の仕口の接合（告示１４６０号２項）

■　構造計算により決定する。

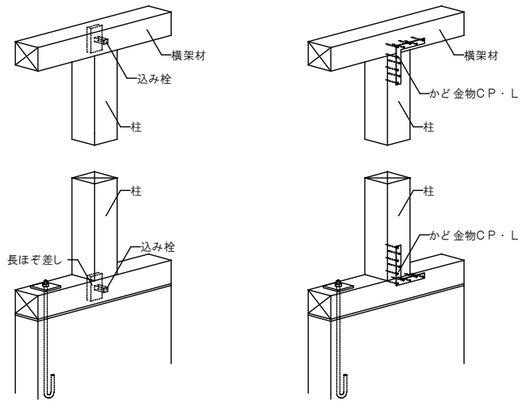


木造特記仕様書-5	SCALE -	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号	DATE . .	DATE . .	B－05
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区		株式会社　上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史			

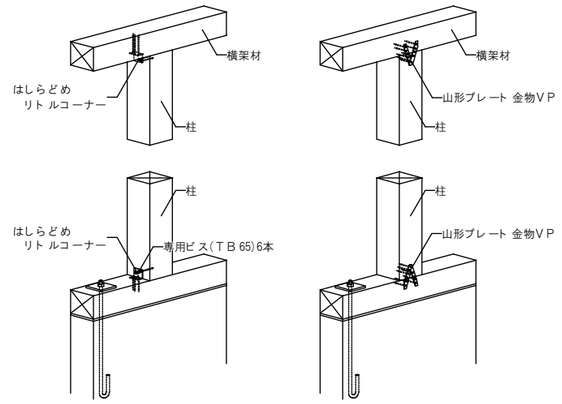
（い） 短ほぞ差し かすがい打ち （0.0k N）



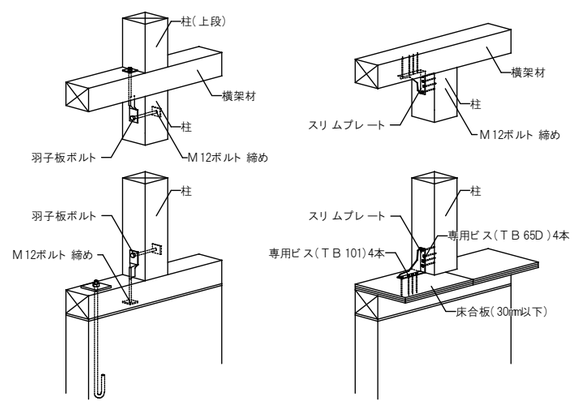
（ろ） 長ほぞ差し込み栓打ち かど金物ＣＰ・Ｌ（ZN65-5） （3.4k N）



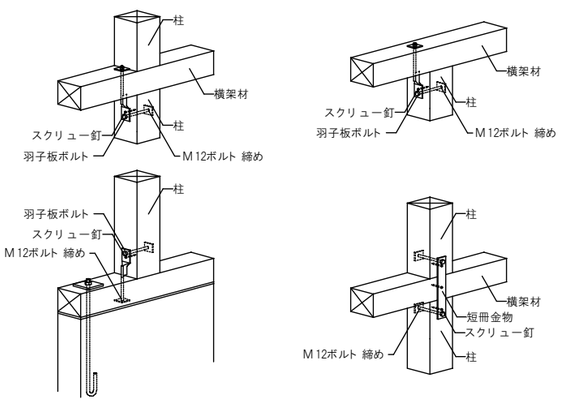
（は） はしらどめリトルコーナー（TB65-6） 山形プレート金物ＶＰ（ZN90-8） （5.1k N）



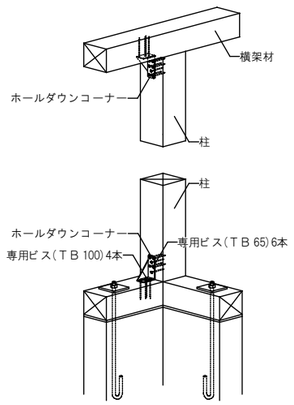
（に） 羽子板ボルト（M12） スリムプレート（TB65D-4・TB100-4） （7.5k N）



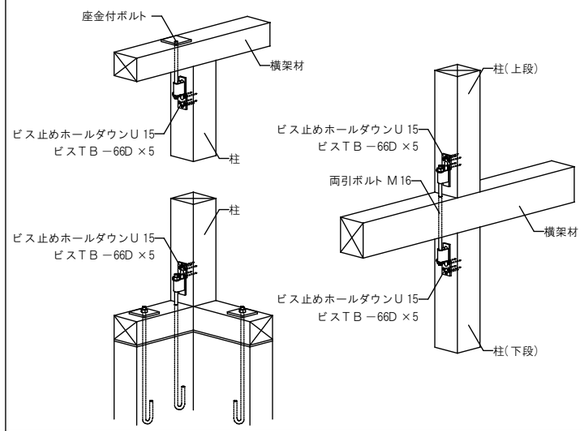
（ほ） 羽子板ボルト（M12＋ZS50） 短ざく金物（M12＋ZS50） （8.5k N）



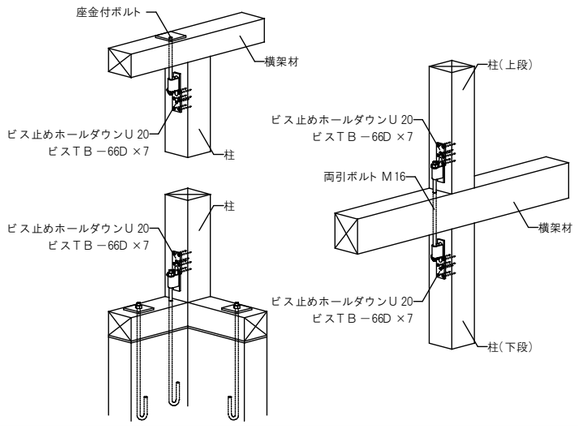
（へ） ホールダウンコーナー（TB65-6・TB100-4） （10.0k N）



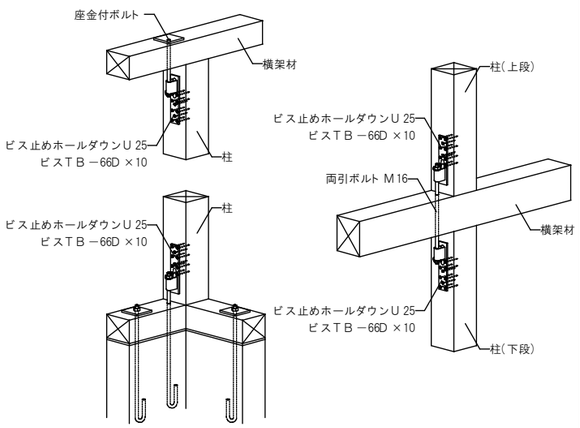
（と） ビス止めホールダウンＵ金物 U15 （15.0k N）



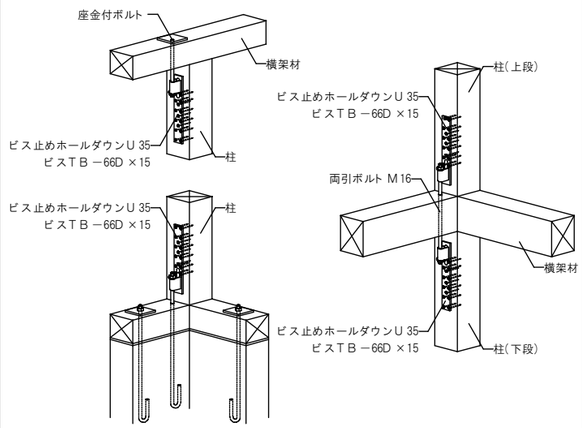
（ち） ビス止めホールダウンＵ金物 U20 （20.0k N）



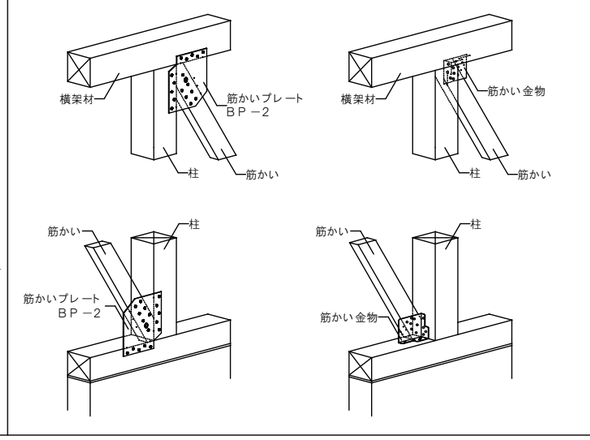
（り） ビス止めホールダウンＵ金物 U25 （25.0k N）



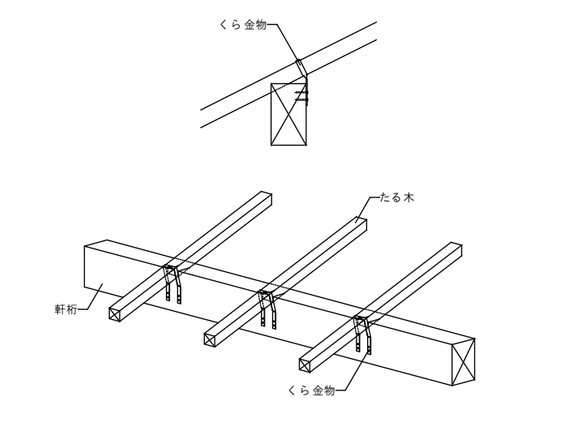
（ぬ） ビス止めホールダウンＵ金物 U35 （35.0k N）



筋かいプレート



タル木どめ金物



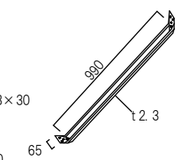
※Ｚマーク表示金物以外にも、Ｚマーク表示金物と同等以上の必要耐力（ｋＮ）の同等認定金物を使用することができる。
※接合金物の選択は引張耐力計算（Ｎ値計算）による。

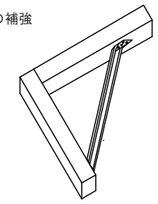
木造特記仕様書-6	SCALE -	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . . / DATE . .
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 Ｃ工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY / DRAWN BY

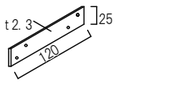
B－06
SHEET NO.

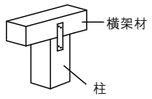
特記仕様書　（木工事）　軸組工法

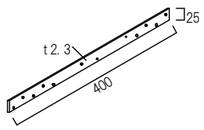
部位	接合金物		
金物	種類・記号	形状・寸法（単位mm） 使用接合具	用途・使い方
	火打金物 ＨＢ	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金W2.3×30 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金W4.5×40	◎用途　床組及び小屋組の隅角部の補強
	ひら金物 ＳＭ-12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途　かすがいと同様の用途
	ひら金物 ＳＭ-40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途　管柱の連結等
	筋かいプレート ＢＰ	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルト M12 小型角座金W2.3×30 六角ナット M12 太めくぎZN65	◎用途　筋かいを柱と横架材に 同時に接合角根平頭ボルト M12
	羽子板ボルト SB・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金W4.5×40 スクリューくぎZS50	L=280・310・340 370・400・430
	かね折り金物 ＳＡ	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金W4.5×40 スクリューくぎZS50	L=210・240・270 300・345

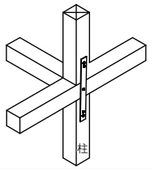


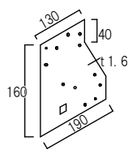


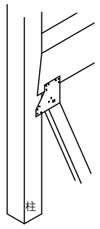


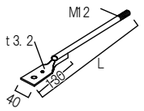


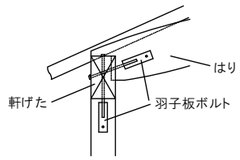


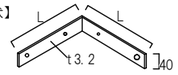


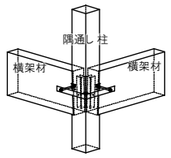




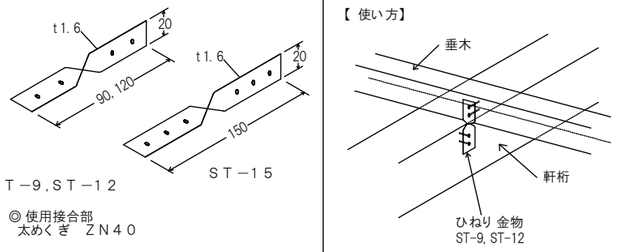


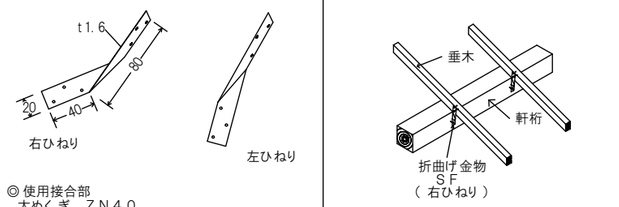


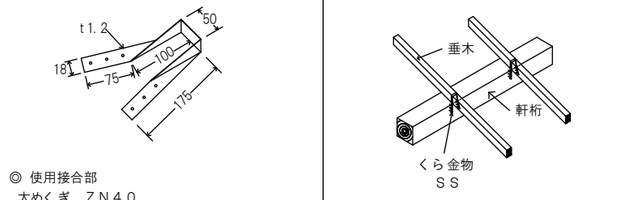


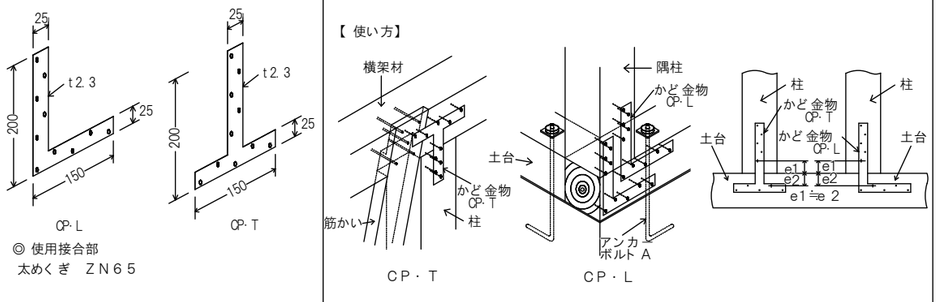


部位	接合金物		
金物	種類・記号	形状・寸法（単位mm） 使用接合具	用途・使い方
	ひねり金物 ＳＴ （右ひねりのみ）	【寸法・形状】 ＳＴ－９，ＳＴ－１２ ◎使用接合部 太めくぎ　ＺＮ４０ ＳＴ－１５	【用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】
	折曲げ金物 ＳＦ （右ひねり及び左ひねり）	【寸法・形状】 右ひねり　左ひねり ◎使用接合部 太めくぎ　ＺＮ４０	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】 ＳＦ（右ひねり）　ＳＦ（左ひねり）
	くら金物 ＳＳ	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ　ＺＮ４０	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】 ＳＳ　軒先側の取付け例　ＳＳ　棟側の取付け例
	かど金物 ＣＰ・Ｌ ＣＰ・Ｔ	【寸法・形状】 ＣＰ・Ｌ　ＣＰ・Ｔ ◎使用接合部 太めくぎ　ＺＮ６５	【用途】引張りをうける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 ＣＰ・Ｔ　ＣＰ・Ｌ







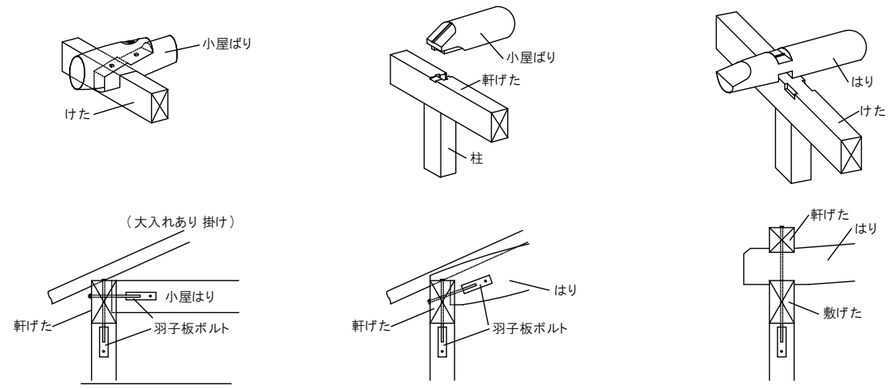


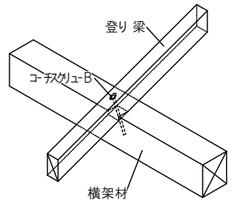
木造特記仕様書-7	SCALE　-	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所 SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	DATE　.　.　DATE　.　. CHECKED BY　DRAWN BY
SUBJECT　令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区			B－07 SHEET NO.

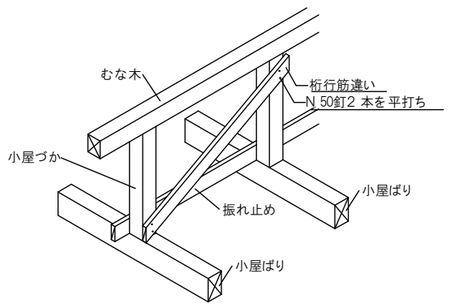
特記仕様書　（木工事）　軸組工法

部位	
小屋梁	材　種 はり（丸太）　□ べいまつ　□ くろまつ　□ あかまつ　□ その他（　　） はり（その他）　□ 構造用集成材　□ くろまつ　□ あかまつ　□ からまつ　▣ その他（すぎ） 工　法 1，末口150mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を植え込み、 2，六角ボルト（M12）2本締めとする。受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 3，末口150mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト（M12）2本締めとする。 4，受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 5，軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと蟻掛け又は渡りあごとし、羽子板ボルト締めとする。
小屋束	材　種 ▣ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　□ べいまつ　□ からまつ　□ べいつが　□ その他（ひのき） 工　法 上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。
棟木・母屋	材　種 □ べいまつ　□ べいつが　□ くろまつ　□ あかまつ　□ からまつ　▣ すぎ　□ その他（ひのき） 工　法 垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し 腰掛け鎌継ぎとする。
桁行すじかい・振れ止め	材　種 ▣ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　□ べいまつ　□ からまつ　□ べいつが　□ その他（　　） 工　法 束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は貫程度とする。
登り梁	材　種 □ ひのき　□べいまつ　□べいつが　▣すぎ　□ くろまつ　□ あかまつ　□ からまつ　□ その他（　　） 工　法 1，継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、ボルト打ちとする。

部位	
小屋組	継手及び仕口の参考例 小屋ばりの継手（台持継ぎ） 小屋ばりと軒げたとの仕口（かぶとあり） 小屋ばりと軒げたとの仕口（渡りあご） （大入れあり掛け） （注）羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。
登り梁	登り梁とコーチスクリューボルトの施工例 【登り梁：105*180】コーチスクリューボルト M12*240mm留め 【登り梁：105*150】コーチスクリューボルト M12*210mm留めとする
棟木・母屋	振れ止めの断面寸法は30×90程度とする。

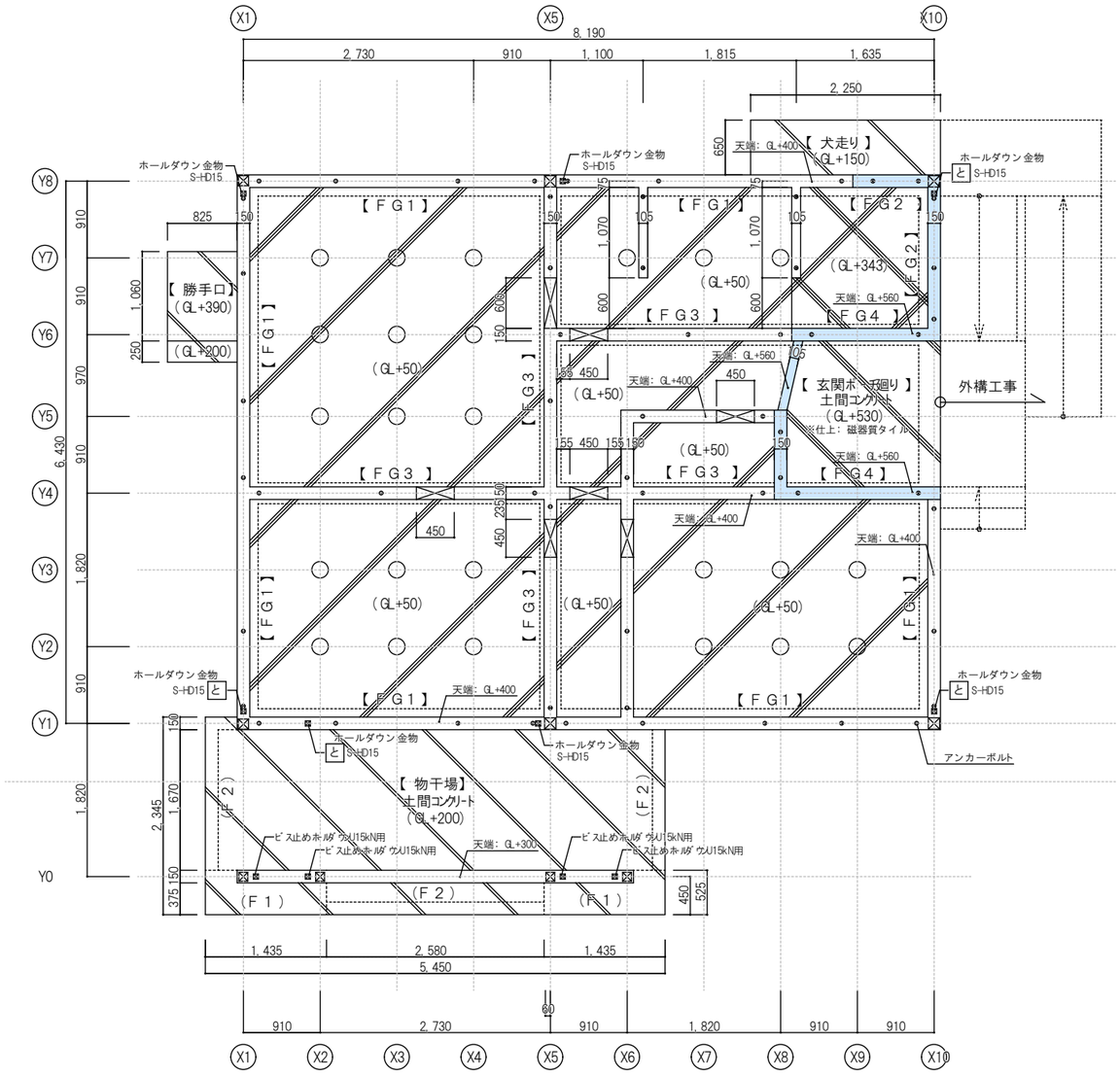






木造特記仕様書-8	SCALE -	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所 SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	DATE　.　.　. CHECKED BY
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区			DATE　.　.　. DRAWN BY

B－08
SHEET NO.

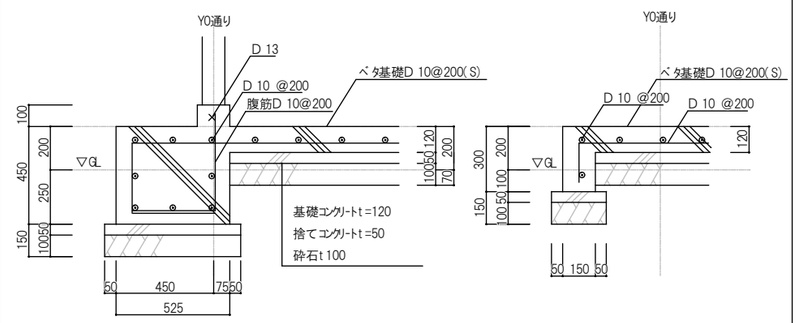


基礎伏図 S: 1/50

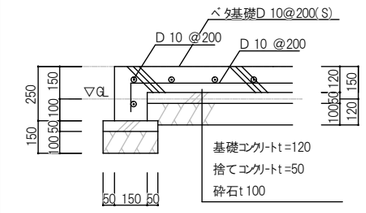
基礎伏図 凡例	
	本体 べた基礎 厚さ 150 ベタスラブ 配筋 D13@200 シングルクロス
	付帯 べた基礎 厚さ 120 ベタスラブ 配筋 D10@200 シングルクロス
	浴室部分 べた基礎 厚さ 150の上 べた基礎嵩上げ 厚さ 100 溶接金網 150*150*φ6
	フーチング
○	鋼製床束 記載なき床束@900以内
	高基礎範囲を示す FG2 参照
•	アンカーボルト M12 L=400
⊠	ホールダウン金物

特記事項		
1.	捨コンクリート	Fc=18N/mm2 SL=15cm以下
2.	基礎コンクリート	Fc=21N/mm2 SL=18cm以下
3.	土間コンクリート	Fc=21N/mm2 SL=15cm以下
4.	鉄筋	SD295A D10～D13
5.	アンカーボルト	M12 L=450(亜鉛メッキ製品)、スクリューワッシャー使用 図示なき場合: 筋違下部、土台継手より 120寄り、ボルト間@900以下
6.	基礎パッキン	キソパッキングW=120 一部気密パッキング(玄関・浴室廻り)
7.	防湿	内部ベタ基礎全域 ポリエチレンフィルム t0.15 敷き込み
8.	防蟻処理	土壌/木部床組薬剤処理 GL+1.0m迄

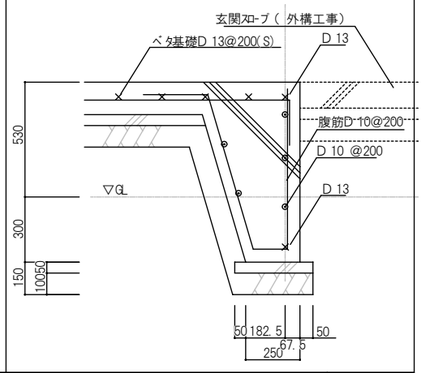
【 物干場 】 断面詳細 S=1/20



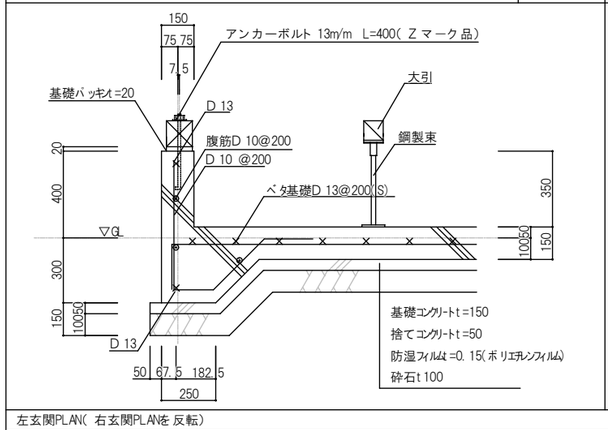
【 犬走り 】【 勝手口 】 S=1/20



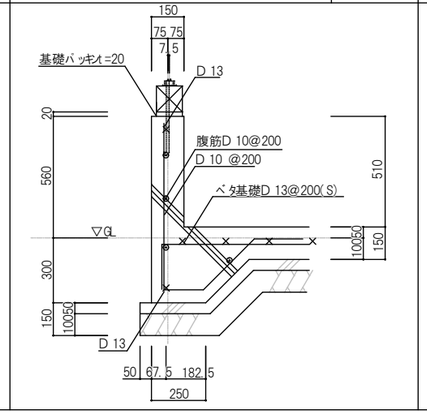
【 玄関ポーチ廻り 】 断面詳細 S=1/20



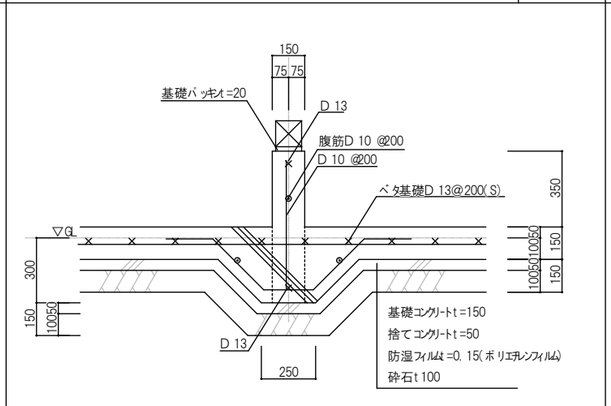
【 FG1 】 S=1/20



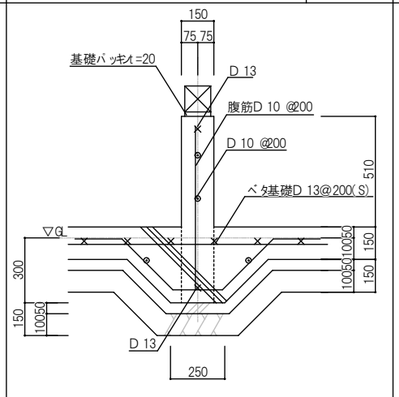
【 FG2 】 S=1/20



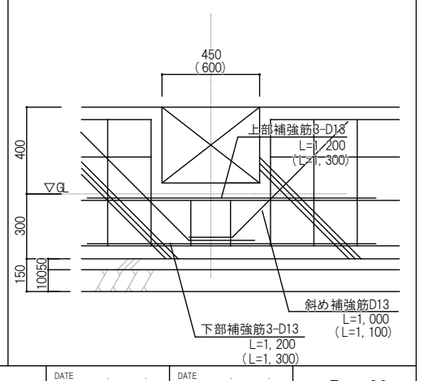
【 FG3 】 S=1/20



【 FG4 】 S=1/20



人通口 断面詳細 S=1/20

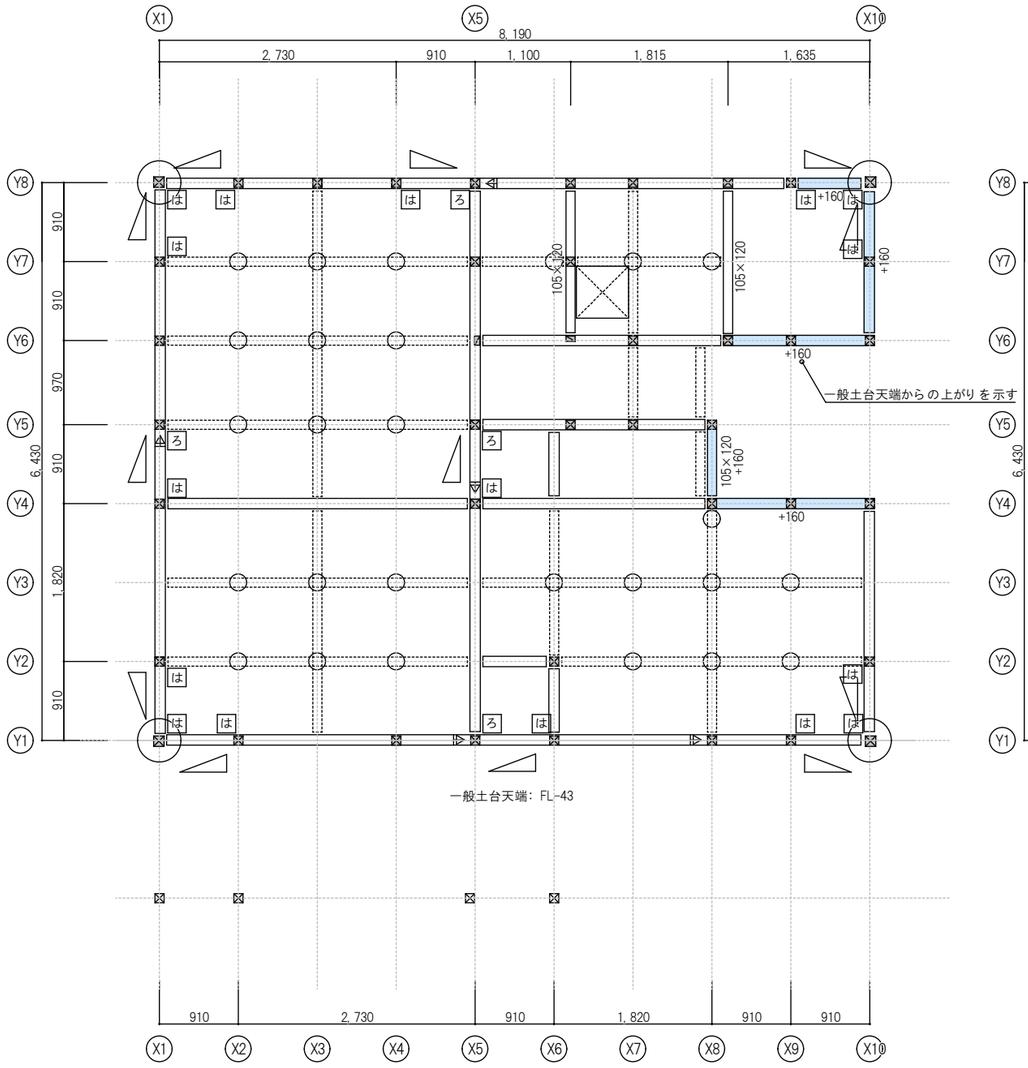


左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

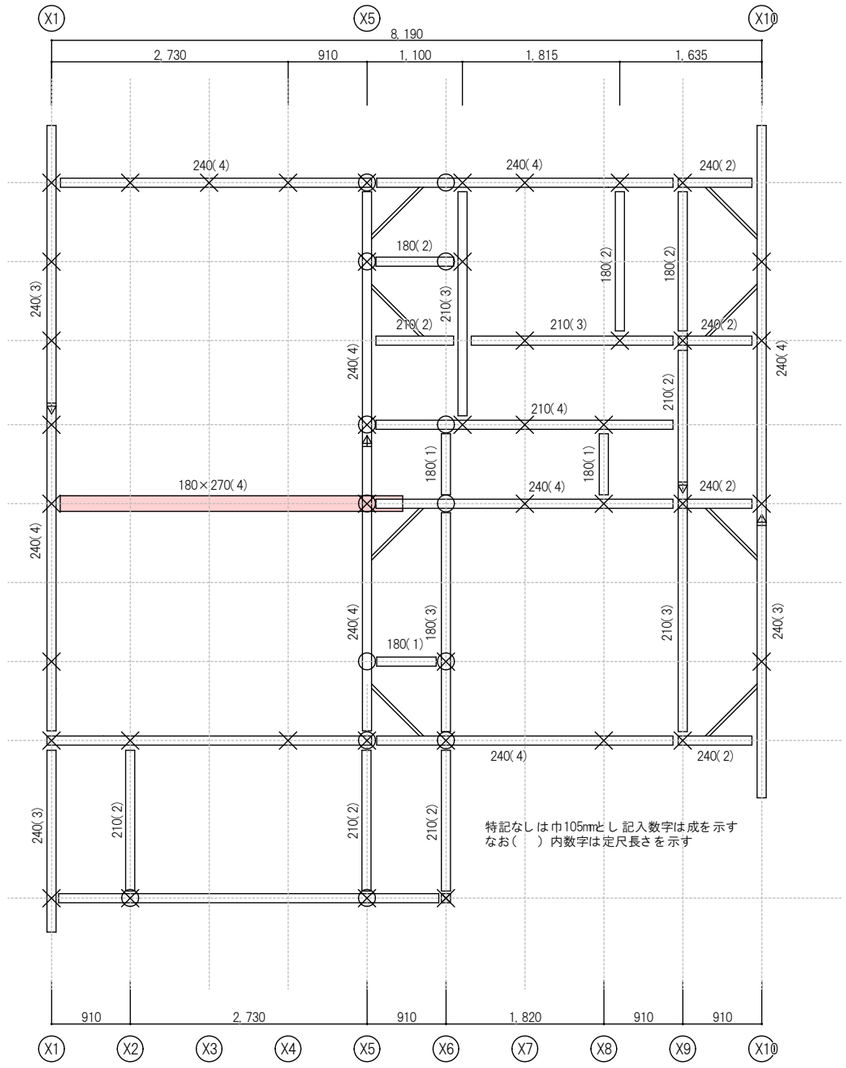
基礎伏図	SCALE	A2 1:50 A3 1:71
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号
株式会社 上田建築事務所
SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE	DATE	B－09
CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.



土台伏図 S: 1/50



桁伏図 S: 1/50

凡例

⊠ ⊠	柱	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*105 120*120
▬	半柱	桧 特一等 (黒潮町産材)	120*60 120*70
⊗	通し柱を示す		
×	下階柱位置を示す		
	土台	桧一等 防腐防蟻K3 (黒潮町産材)	105*120 120*120(特記以外)
	大引	桧 一等 (黒潮町産材)	105*105
	筋交い(シングル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	筋交い(ダブル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	高基礎範囲を示す 土台天端: FL+120		
	梁・桁	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*180~240 105*105(特記以外)
	梁(燃えしろ設計)	桧 特一等 (黒潮町産材)	180*270 (燃えしろ値: 45mm)
	平成12年告建設省告示1358号(準耐火構造45分)		
	合板受け	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*105
	火打	火打金物(Zマーク)ボルトタイプ	

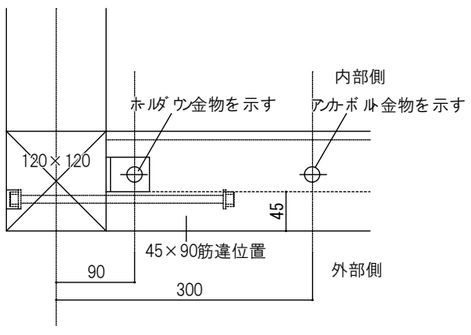
「黒潮町産材」使用について

構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料(産地証明等)を提示すること。
ただし、5m以上の長尺構造材(通し柱、登り梁)及び内部造作材は例外とする。

柱脚・柱頭の仕口の仕様

※ い ～ ぬ は、建築基準法 告示第1460号による

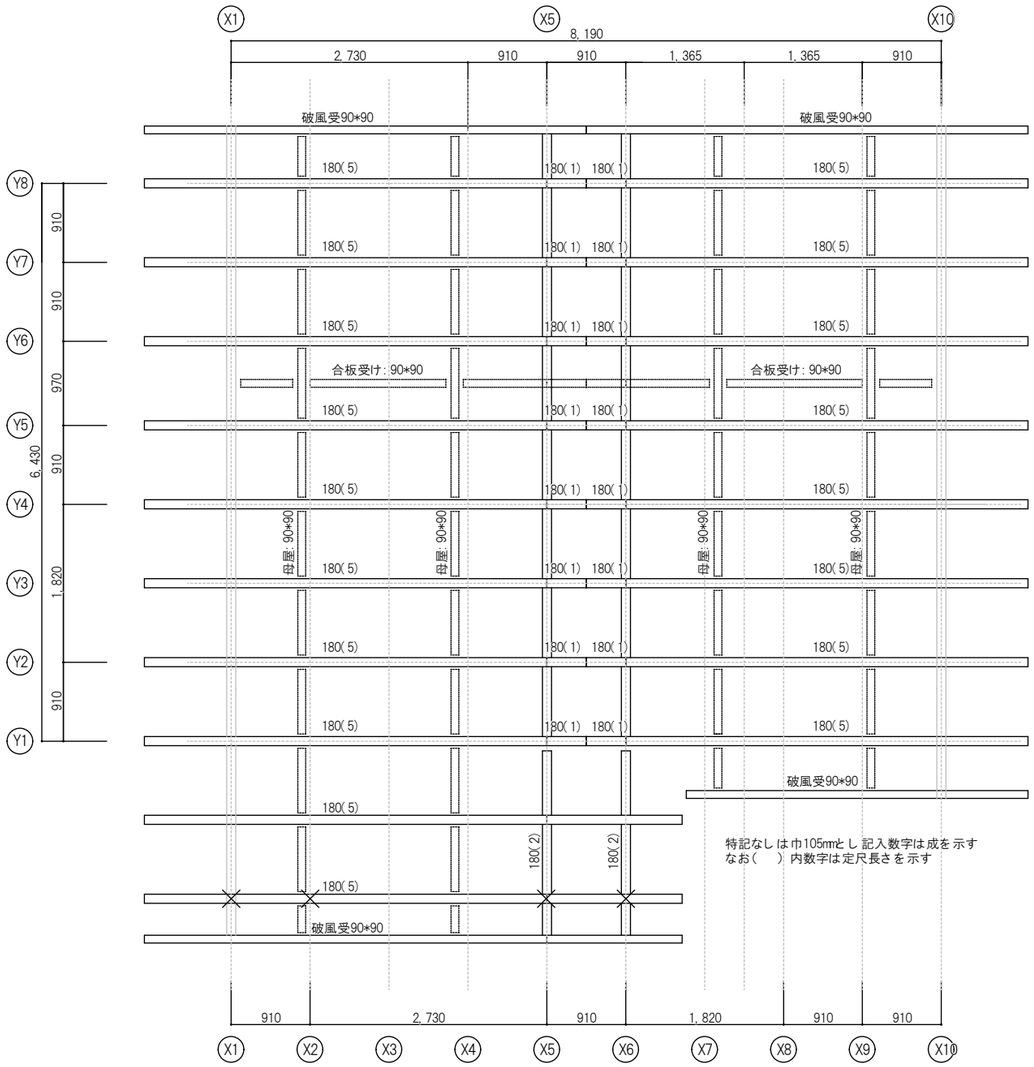
柱梁接合部は原則、短ほぞ差し、かすがい打ちとする



左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)

土台伏図・桁伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE . . / DATE . .
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY / DRAWN BY

B－10
SHEET NO.



小屋伏図 S: 1/50

1階柱・梁伏図 凡例

○	小屋束		
×	下階柱位置を示す		
	筋交い(シングル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	筋交い(ダブル)	桧 特一等 (黒潮町産材)	45*90
	梁・桁	桧 特一等 (黒潮町産材)	105*180~240 105*105(特記以外)
	登り梁	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*180
	母屋	杉 特一等 (黒潮町産材)	90*90
	合板受け	杉 特一等 (黒潮町産材)	90*90
	2階小屋筋かい (ダブル)	杉 特一等 (黒潮町産材)	30*90 桁行小屋束通り
	2階小屋梁	杉 特一等 (黒潮町産材)	105*105 梁間小屋束通り
	火打	火打金物(Zマーク)ボルトタイプ	

「黒潮町産材」使用について

構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料(産地証明等)を提示すること。
ただし、5m以上の長尺構造材(通し柱、登り梁)及び内部造作材は例外とする。

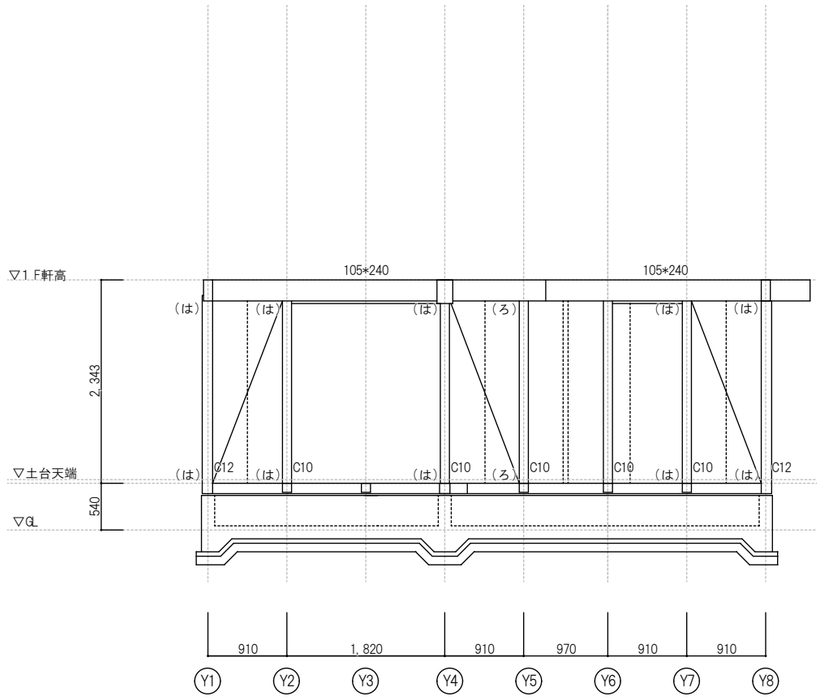
柱脚・柱頭の仕口の仕様

※ い ～ ぬ は、建築基準法 告示第1460号による

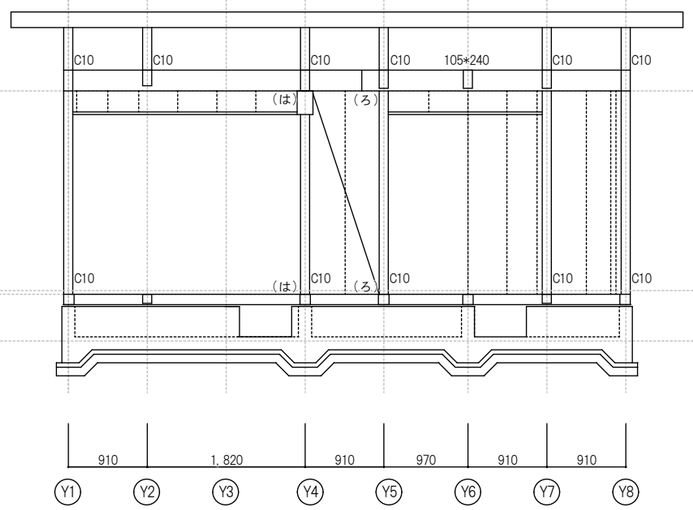
柱梁接合部は原則、短ほぞ差し、かすがい打ちとする

登り梁の接合方法は、特記なき場合
【登り梁: 105*180】コーチスクリュー ボルト M12*240mm留めとする

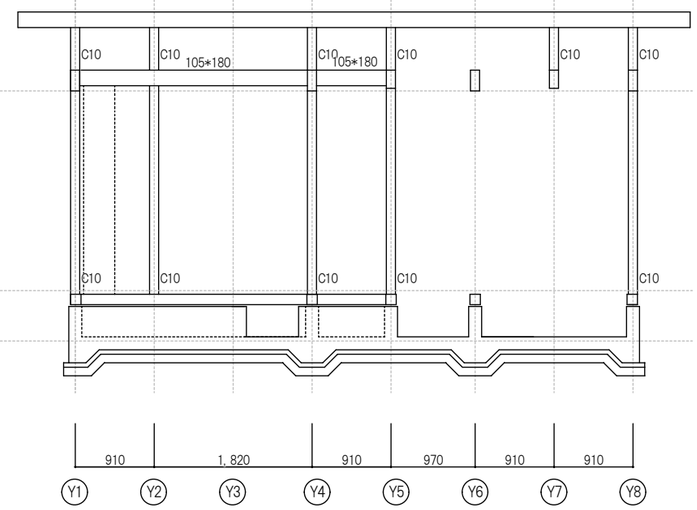
左玄関PLAN(右玄関PLANを反転)	小屋伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE . .	DATE . .	B－11
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.



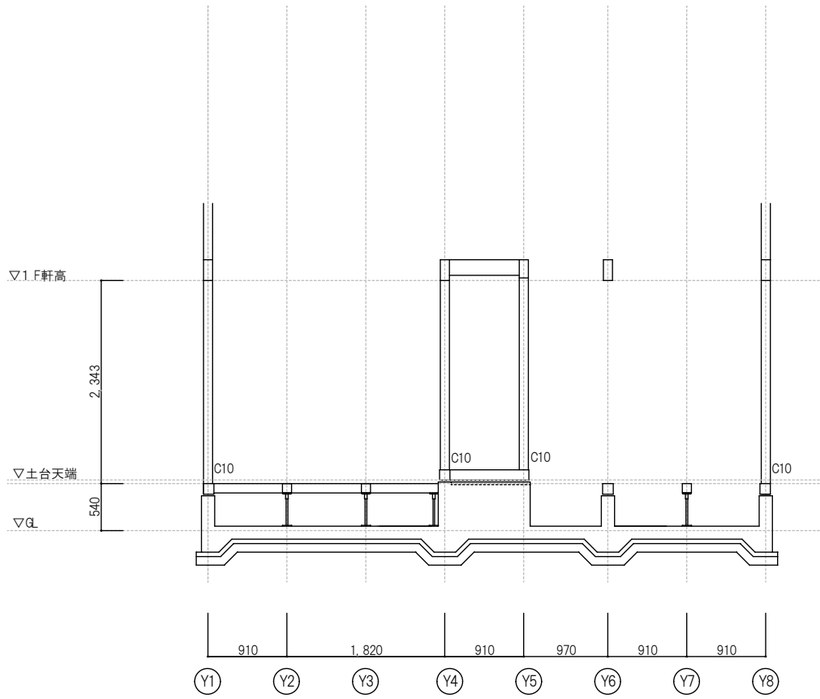
X1 通り 軸組図



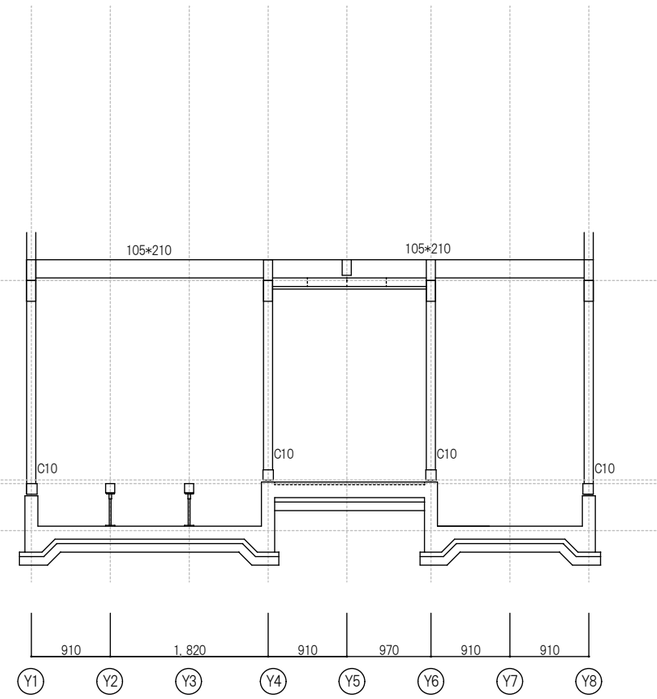
X 5 通り 軸組図



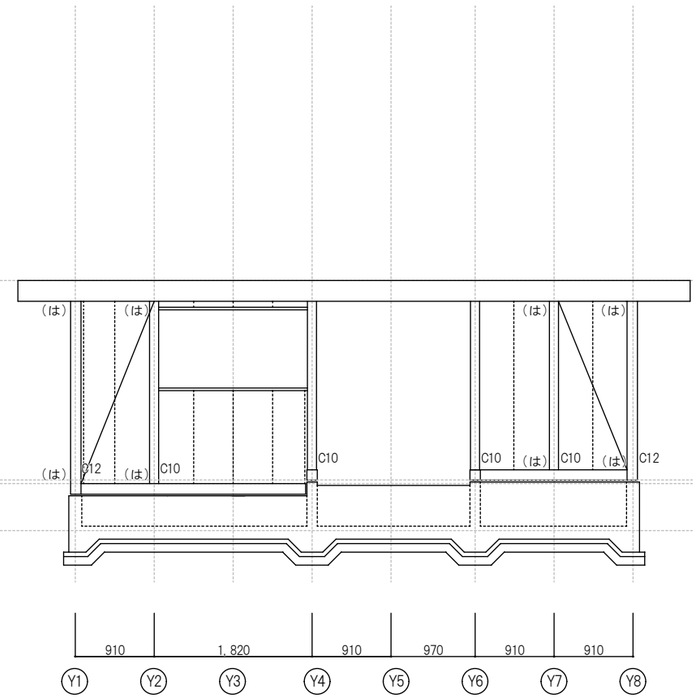
X 6 通り 軸組図



X 8 通り 軸組図



X 9 通り 軸組図



X 10通り 軸組図

(い)～(ぬ) はX 軸・ Y 軸それぞれの柱接合部判定表(N値計算表) に基づく

左玄関PLAN(右玄関PLANを 反転)

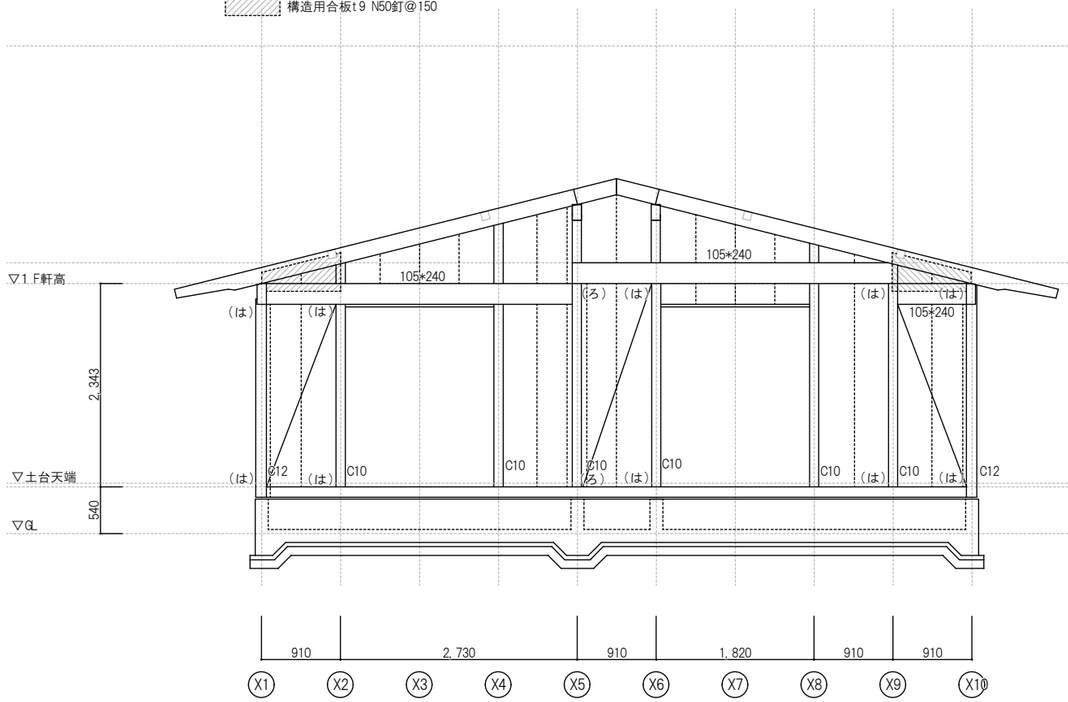
注) 姿図は右玄関PLANにて作成

軸組図-1	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE / DATE
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 C 工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY / DRAWN BY

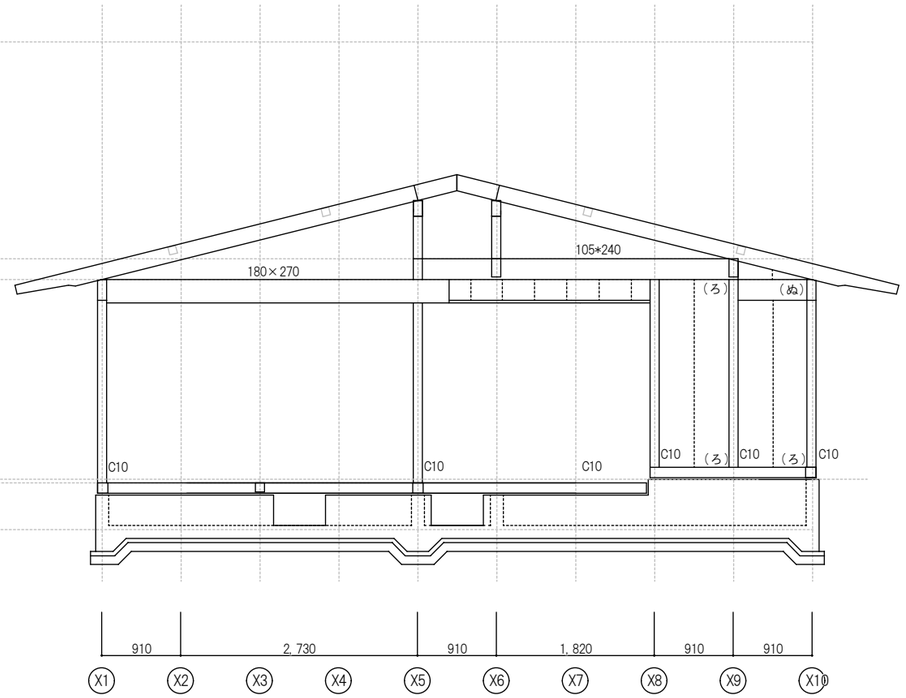
B －12

SHEET NO.

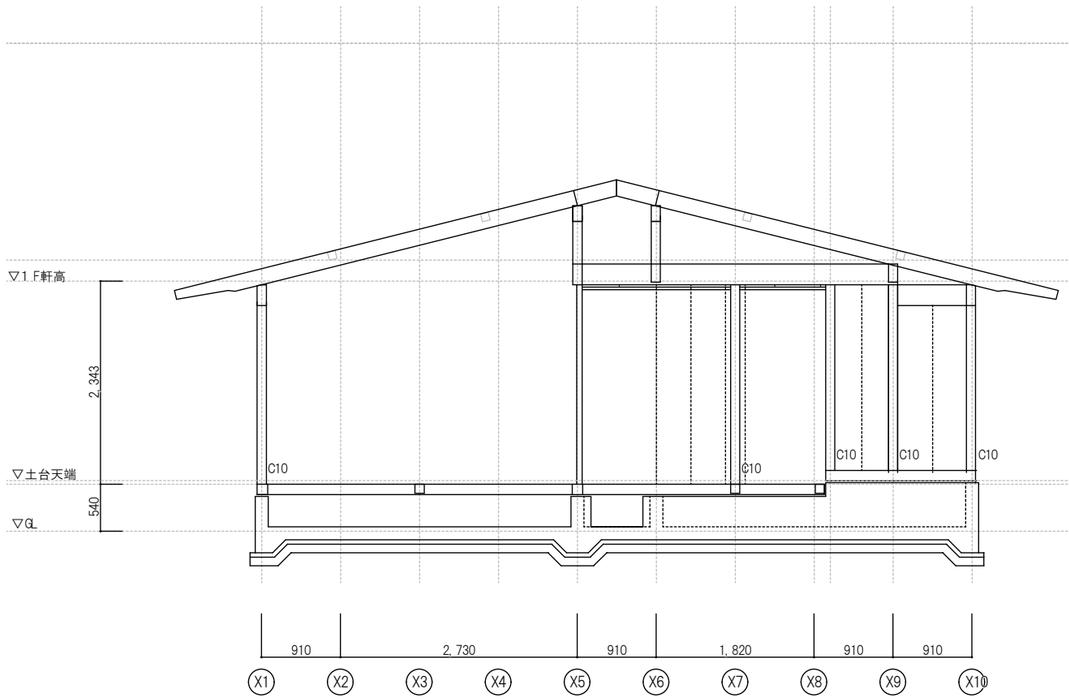
小屋裏補強材
構造用合板t9 N50釘@150



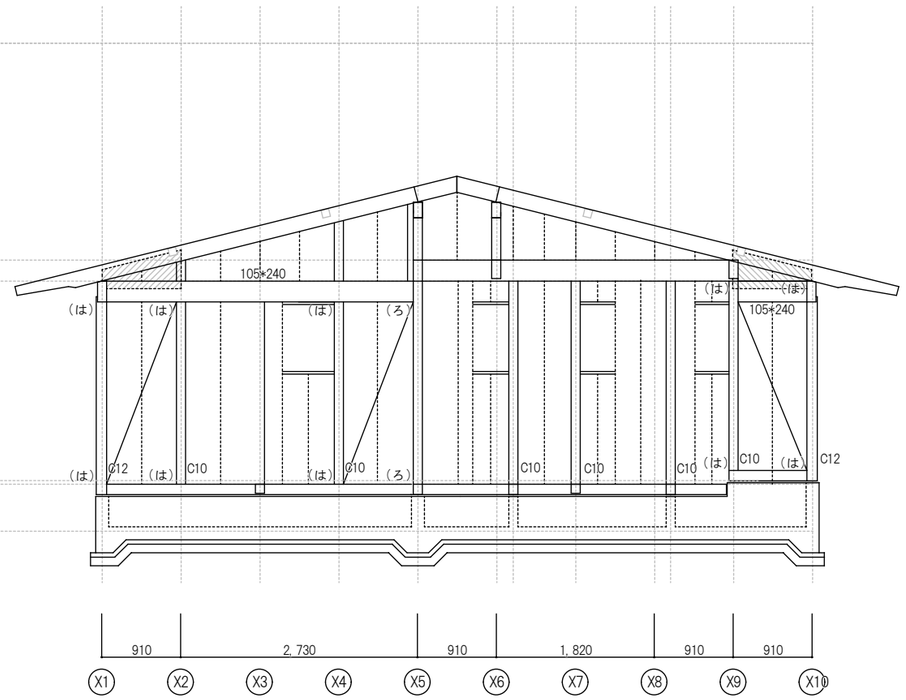
Ｙ１ 通り 軸組図



Ｙ４ 通り 軸組図



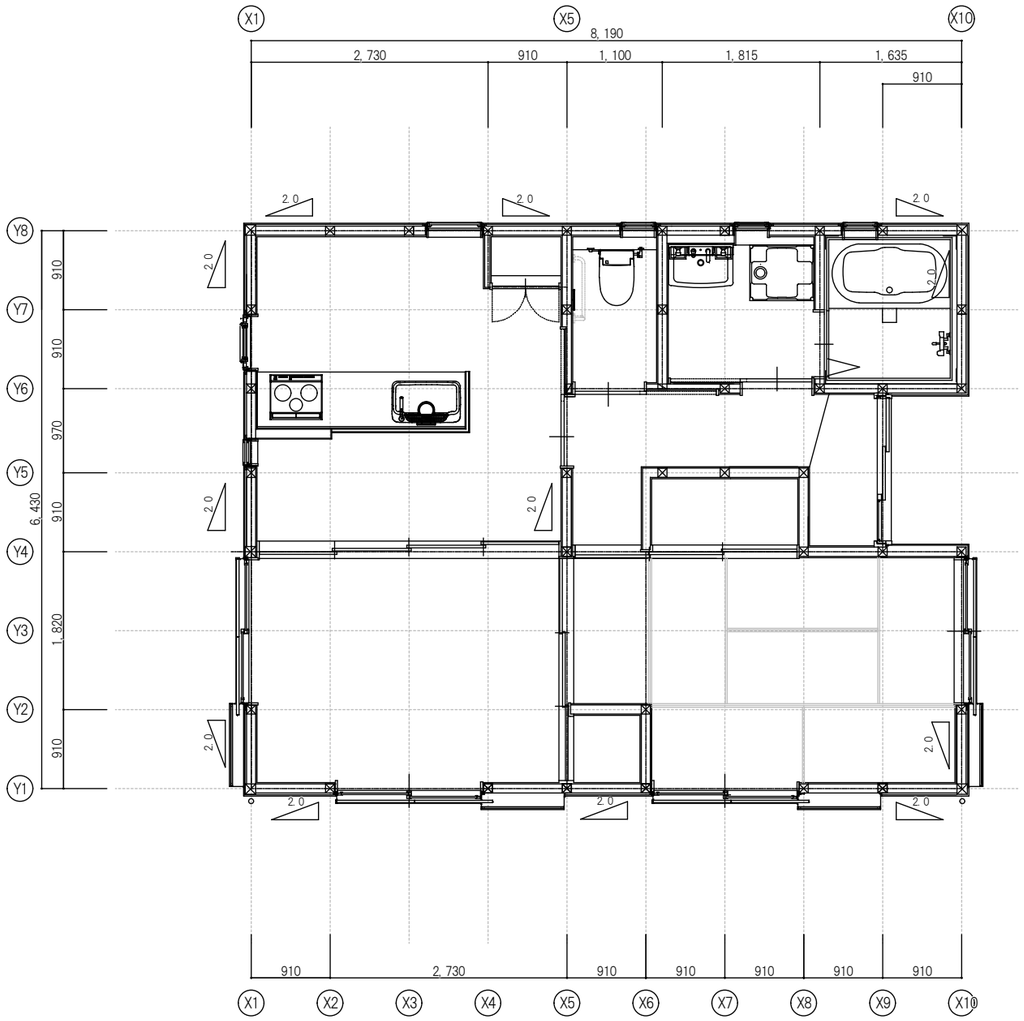
Ｙ６ 通り 軸組図



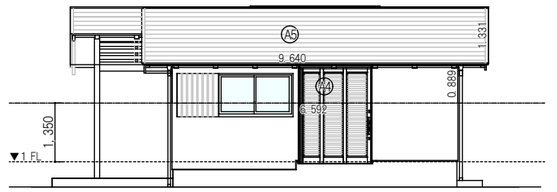
Ｙ８ 通り 軸組図

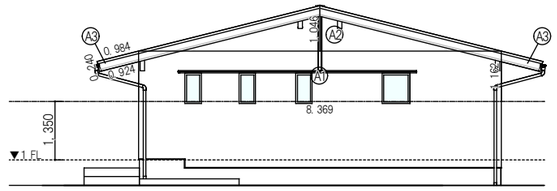
（い）～（ぬ）はＸ軸・Ｙ軸それぞれの柱接合部判定表（Ｎ値計算表）に基づく

左玄関PLAN（右玄関PLANを反転）	軸組図-2	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE . .	B－13
注）姿図は右玄関PLANにて作成	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 Ｃ工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			



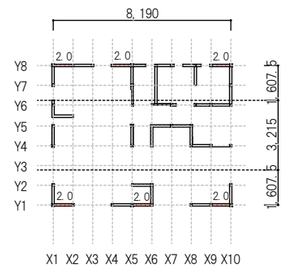
筋違い位置図



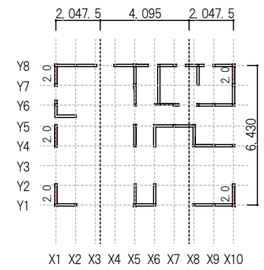


方向	階		面積		計	累計
Y	1	A1	8. 369×1. 162	9. 724778	14. 56	14. 56
		A2	8. 369×1. 046×1/2	4. 376987		
		A3	(0. 984+0. 924)×0. 240×1/2×2	0. 45792		

方向	階		面積		計	累計
X	1	A4	6. 592×0. 889	5. 860288	18. 70	18. 70
		A5	9. 640×1. 331	12. 83084		



【 1階 X方 向 】



【 1階 Y方 向 】

	階　数	地震力に対する必要壁量（ｃｍ）	風圧力に対する必要壁量（ｃｍ）		必要壁量（ｃｍ）	
		X方向（はり間）、Y方向（けた行）	X方向（けた行方向）	Y方向（はり間方向）	X　方　向	Y　方　向
必要壁量の計算	1階部分	床面積 50. 95×11×1. 25＝700. 5625・・・・・①	見付面積 18. 70×50＝935. 00・・・②	見付面積 14. 56×50＝728. 00・・・③	①、②より 大きい値採用 935. 00c m	①、③より 大きい値採用 728. 00c m

	階　数	耐力壁の種類	倍率	有効壁量（ｃｍ）		判　定	
				X方向（はり間）	Y方向（けた行）	X　方　向	Y　方　向
設計壁量の計算	1階部分	筋交い　45×90（たすき掛け）	4. 0			1092c m ＞ 935. 00c m ∴安全	1092c m ＞ 728. 00c m ∴安全
		筋交い　45×90（片方）	2. 0	91＊6＊2. 0＝1092	91＊6＊2. 0＝1092		
		合　計		1092	1092		
						＞ ∴安全	＞ ∴安全
		合　計					

		X　方　向		Y　方　向	
		側端部分（上）	側端部分（下）	側端部分（左）	側端部分（右）
存在壁量（ｃｍ）	1F	91×2. 0×3＝546	91×2. 0×3＝546	91×2. 0×3＝546	91×2. 0×2＝364
	2F				
床面積（㎡）	1F	8. 19×1. 6075＝13. 165425	8. 19×1. 6075＝13. 165425	6. 43×2. 0475＝13. 165425	6. 43×2. 0475＝13. 165425
	2F				
必要壁量（ｃｍ）	1F	13. 17(床面積)×11＝144. 87	13. 17(床面積)×11＝144. 87	13. 17(床面積)×11＝144. 87	13. 17(床面積)×11＝144. 87
	2F				
壁量充足率	1F	546/144. 87=3. 768	546/144. 87=3. 768	546/144. 87=3. 768	364/144. 87=2. 512
	2F				
壁率比		両方共に1を超えているのでＯＫ		両方共に1を超えているのでＯＫ	

耐震等級2（1. 25倍）適用

左玄関PLAN（右玄関PLANを反転）

注）図は右玄関PLANにて作成

壁量計算表

SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　Ｃ工区

SCALE　A2　1：30　A3　1：42

一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号

株式会社　上田建築事務所

SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史

DATE　.　.　CHECKED BY

DATE　.　.　DRAWN BY

B－14

SHEET NO.

【宅内】工事 仕上凡例

①		単粒度砕石t=60 S-13(6号砕石)程度	42.2㎡
②		駐車スペース コンクリート金鏝押えt=120	39.1㎡
③		アプローチ コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	4.1㎡
④		スロープ・手摺φ32 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑤		階段 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑥		玄関ポーチ 磁器質タイル50角、モルタル下地	

【付帯】工事 仕上凡例

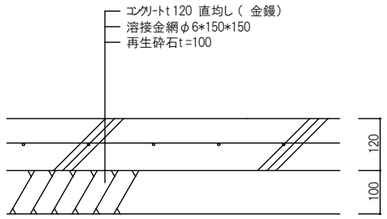
ⓐ		アスファルト舗装t=50 A-5-15	236㎡
ⓑ		ライン引き 溶融式区画線W150	36.0m
ⓒ		落蓋式U字形側溝 1種300A	60.0m
ⓓ		側溝蓋 コンクリート蓋 1種300A W=500	111組
ⓔ		側溝蓋 鋼製グレーチング車道用ゴム付(騒音防止)	6組
ⓕ		メッシュフェンス H=1,000 コンクリート独立基礎(市販品)	74.0m
ⓖ		メッシュフェンス H=900 I型基礎(現場施工) W=150	61.2m

特記事項

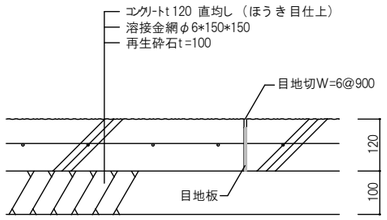
- 住宅本体工事範囲を示す。
- 本工事範囲外を示す。
- 本工事範囲外を示す。

外構配置図	SCALE A2 1:100 A3 1:141	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE	DATE	C－01
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.

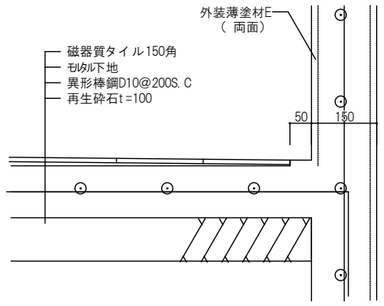
② 駐車スペース
コンクリート金鏝押え t=120　S=1/10

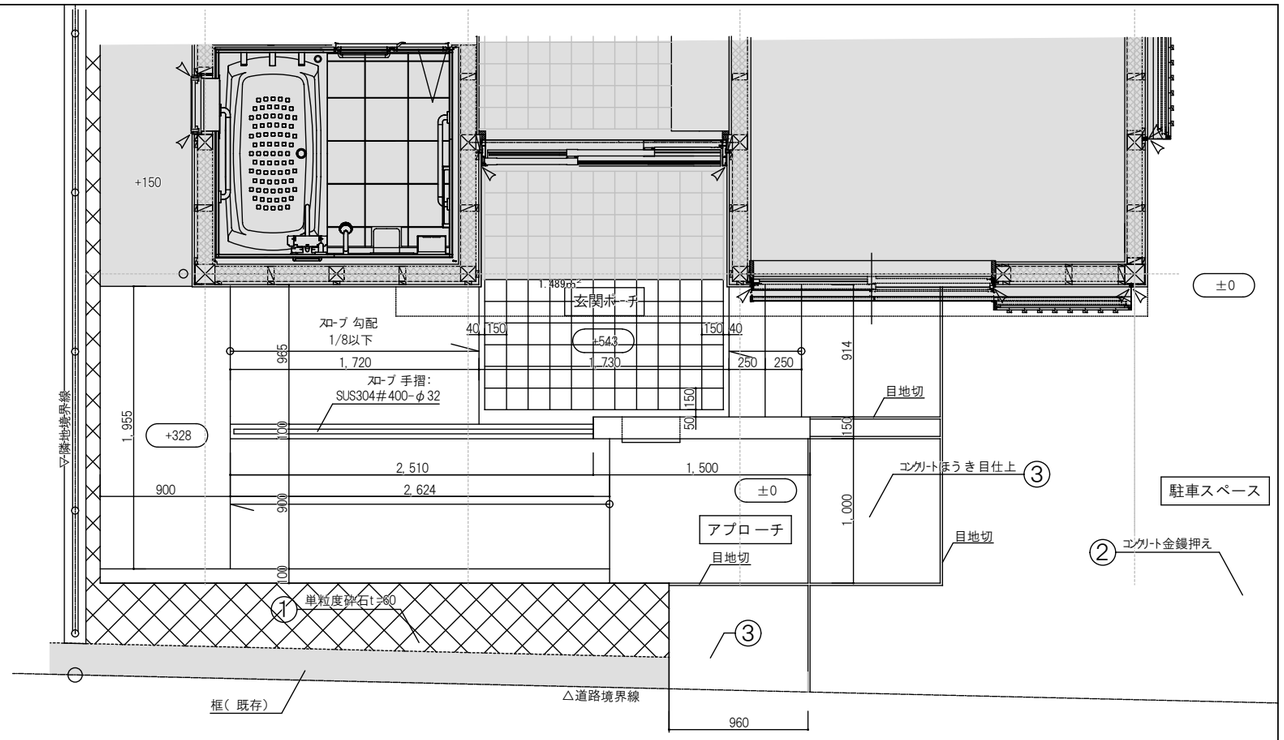


③ アプローチ
アスファルト 舗装t=50(A-5-15)　S=1/10

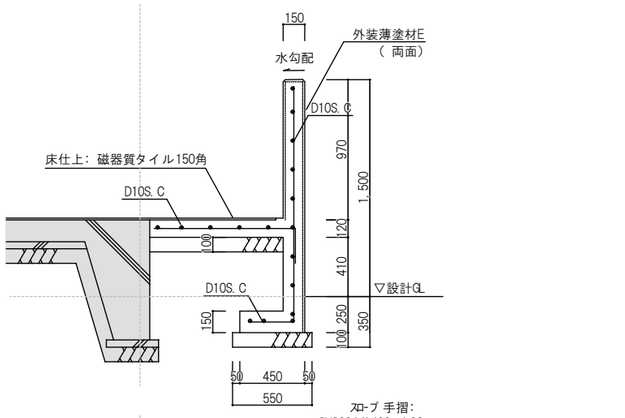


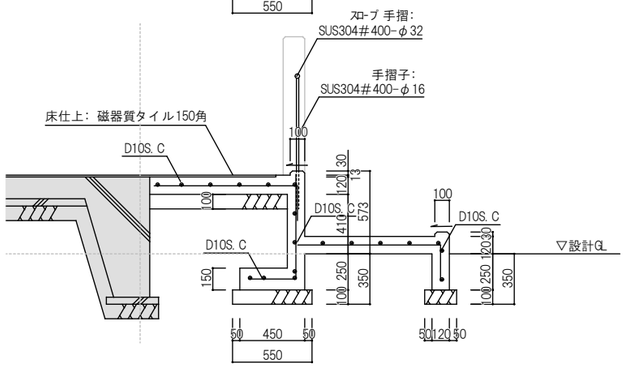
⑥ 玄関ポーチ
磁器質タイル150角、モルタル下地　S=1/10



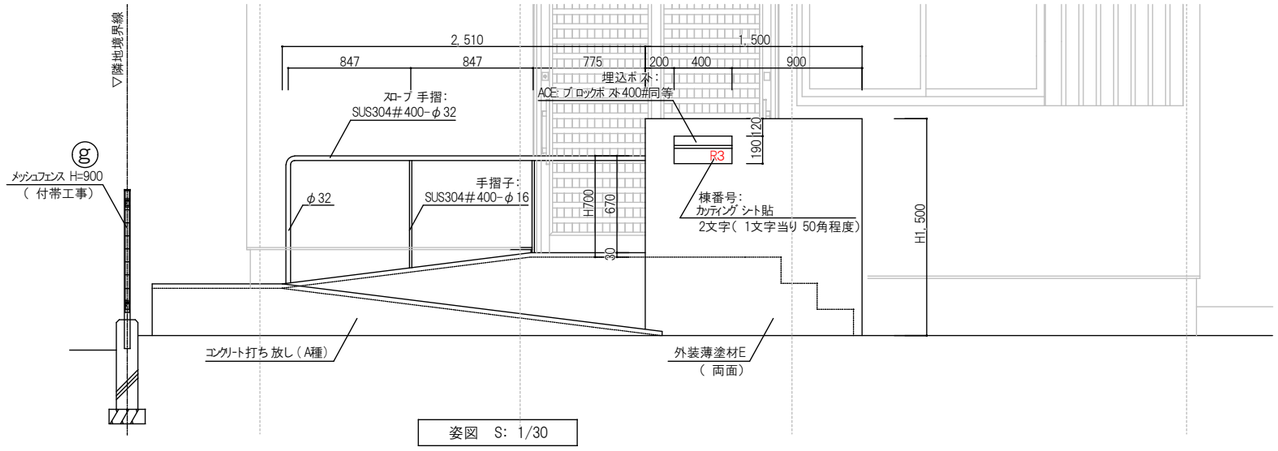


(B-2)詳細図　S: 1/30

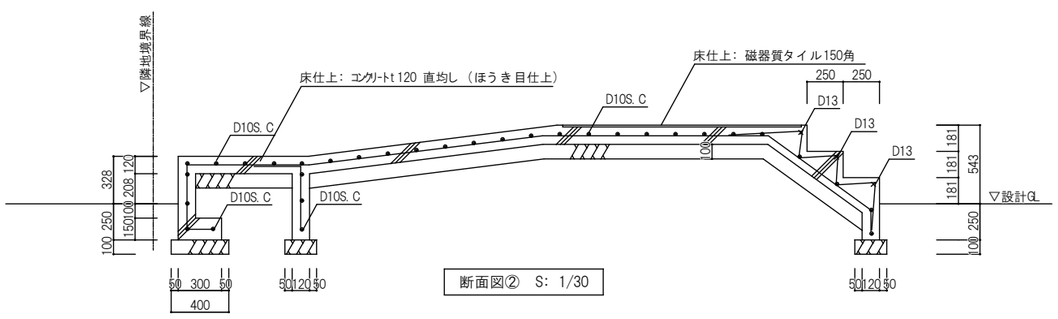




断面図①　S: 1/30



姿図　S: 1/30

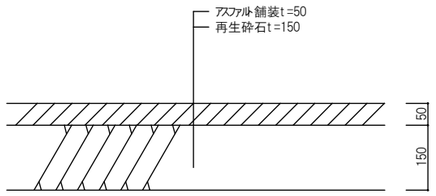


断面図②　S: 1/30

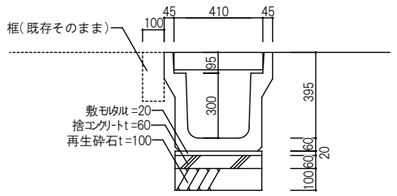
外構【 宅内】詳細図	SCALE A2 1:30 A3 1:42	一級建築士事務所　高知県知事　登録　第19号 株式会社　上田建築事務所 SUBMITTED BY　一級建築士登録　第　312929号　上田　博史	DATE . . / CHECKED BY
SUBJECT　令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事　C工区			DATE R4. 03. 22 / DRAWN BY

C－02
SHEET NO.

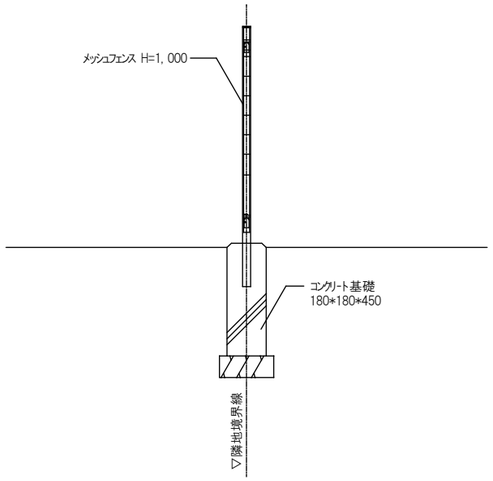
ⓐ アスファルト 舗装t=50(A-5-15)



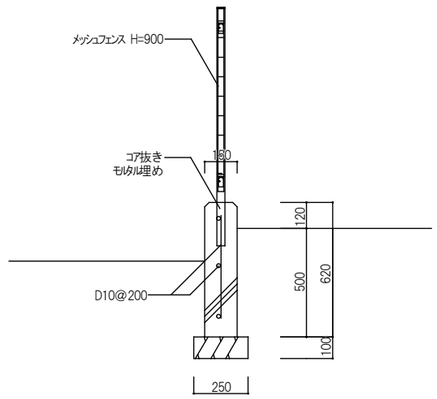
ⓒ 落蓋式U字形側溝 1種300A



ⓕ メッシュフェンス H=1,000+コンクリート基礎(市販品)



ⓓ メッシュフェンス H=900+H 型基礎(現場施工)



○

○

○

○

○

○

○

○

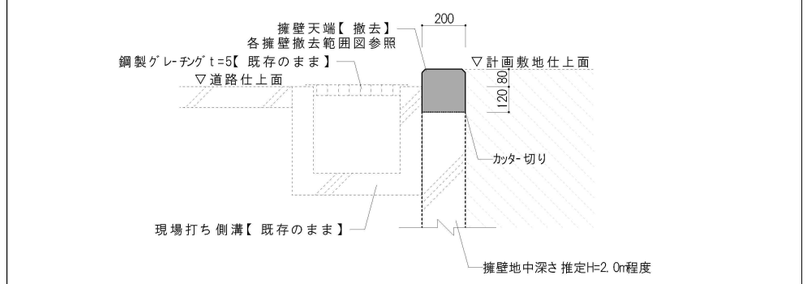
外構【付帯】詳細図	SCALE A2 1:20 A3 1:28.2	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE . .	DATE . .	C −03
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		株式会社 上田建築事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.
		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			

既存側溝参考写真

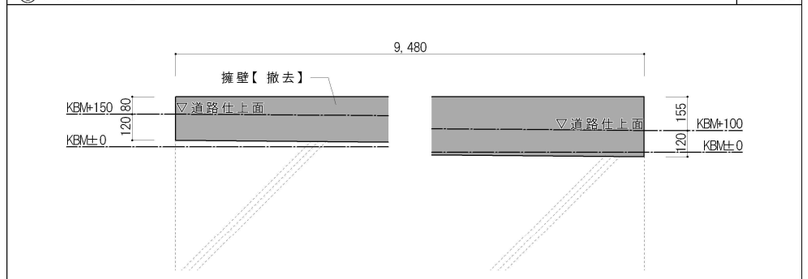
西より計画敷地を見る

南より計画敷地を見る

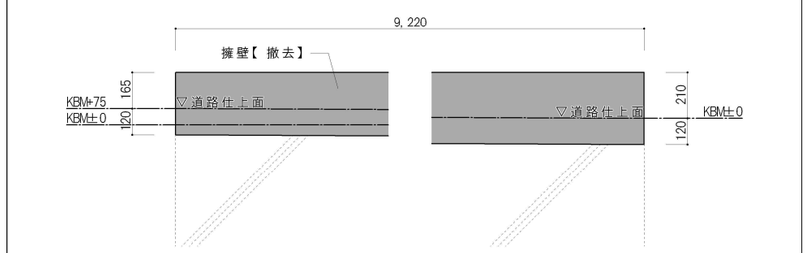
②（擁壁A）参考断面図 S=1/20



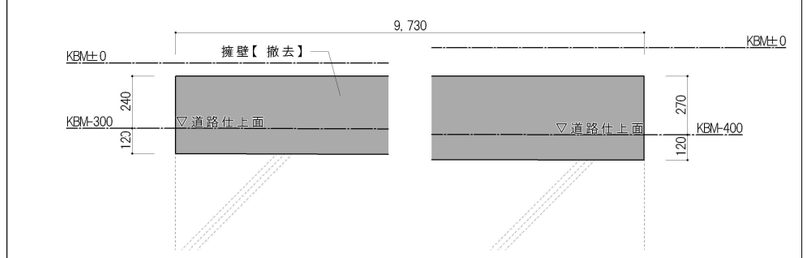
③（擁壁A）撤去範囲図 S=1/20



③（擁壁B）撤去範囲図 S=1/20



③（擁壁C）撤去範囲図 S=1/20

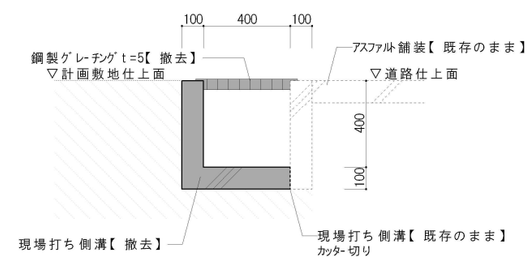


敷地写真

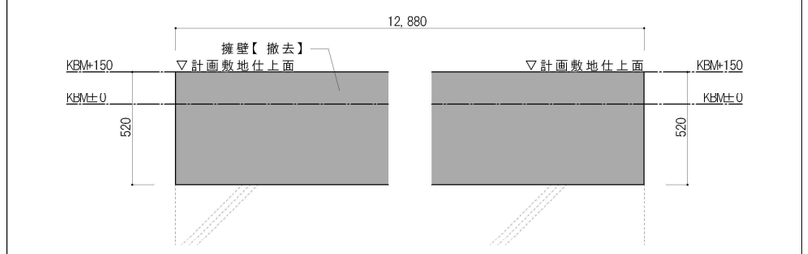
写真①

写真②

①既存側溝撤去断面図 S=1/20



③（擁壁D）撤去範囲図 S=1/20



外構解体図	SCALE A2 1:150 A3 1:211	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所	DATE / DATE / C－04
SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 C工区		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY / DRAWN BY / SHEET NO.